

平成 31 年 2 月 28 日 第 2 回 加西市子ども・子育て会議

「第二期加西市子ども・子育て支援事業計画」策定に関する
アンケート調査報告書（案）

平成 31 年 3 月

加 西 市

目 次

1. 調査の概要	3
(1) 調査の概要	3
2. 調査結果	4
(1) 就学前児童調査結果	4
①居住地について	4
②子どもと家族の状況について	5
③子どもの育ちをめぐる環境について	11
④保護者の就労状況について	20
⑤平日の教育・保育サービスの利用状況	32
⑥土曜日、休日、長期休暇中の教育・保育サービスの利用状況について	46
⑦子どもが病気の際の対応について	51
⑧不定期の教育・保育サービスの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	56
⑨小学校就学後の放課後の過ごし方について	64
⑩職場の両立支援制度について	75
⑪加西市の子育て支援について	83
(2) 小学生調査結果	88
①居住地について	88
②子どもと家族の状況について	89
③子どもの育ちをめぐる環境について	94
④保護者の就労状況について	104
⑤学童保育の利用状況について	116
⑥学童保育の利用希望について	118
⑦障害児通所支援事業の利用状況について	124
⑧加西市の子育て支援について	131

1. 調査の概要

(1) 調査の概要

①調査の目的

幼児期及び就学後の学校教育・保育や子育て支援の需要を踏まえた「第2期子ども・子育て支援事業計画」策定の基礎資料とするため、子育ての実態や幼稚園や保育園、認定こども園の利用意向や本市が実施する様々な子育て支援サービスの利用意向を把握するためアンケート調査を実施しました。

②調査の実施要領

(ア) 調査対象者

- 本市に居住する就学前児童の保護者 1,200人
- 本市に居住する小学生の保護者 800人

(イ) 調査対象者の抽出方法

無作為抽出

(ウ) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(エ) 調査実施期間

平成30年 月 日～平成30年11月30日

③回収数（回収率）

	配布数	回収数（回収率）
就学前児童	1,200	753（62.8%）
小学生	800	571（71.3%）

④調査結果の表示方法

- 設問ごとの集計母数はグラフ中に「N=***」、各項目ごとの回答数は「n=***」と表記しています。
- 集計結果の百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入した値を表記しています。このため、単数回答設問の選択肢ごとの構成比の見かけ上の合計が100.0%にならない場合があります。また、2つ以上の選択肢を集約した項目の割合が、選択肢ごとの割合の合計と一致しない場合があります。
- 複数回答設問では、当該設問に回答すべき回答者数を母数として選択肢ごとにそれぞれ構成比を求めています。そのため、構成比の合計は通常100.0%にはなりません。
- クロス集計のグラフ・数表では、集計区分ごとの集計母数を「N=***」と表記しています。

2. 調査結果

(1) 就学前児童調査結果

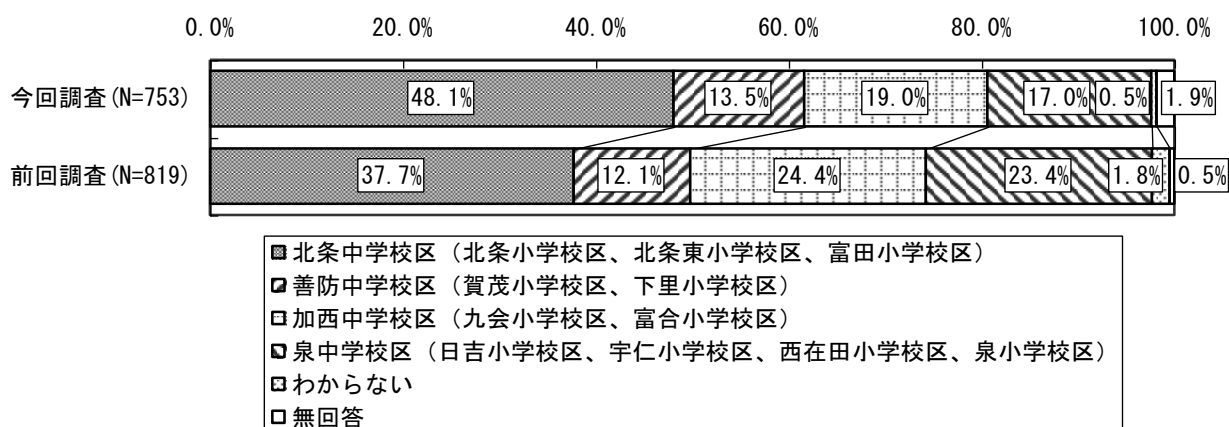
① 居住地域について

【居住地域】

問1 あなたのお住まいの地域をお答えください。(○は1つ)

居住地域をみると、「北条中学校区」(48.1%)が最も多く、次いで「加西中学校区」(19.0%)、「泉中学校区」(17.0%)となっています。

図 居住地域



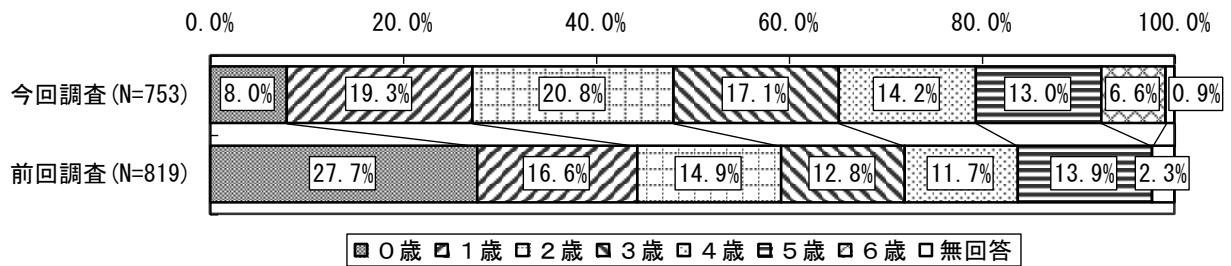
②子どもと家族の状況について

【子どもの年齢】

問2 宛名のお子さんの生年月を口で数字でご記入ください。

宛名の子どもの生年月から年齢を算出したところ、「2歳」(20.8%)が最も多く、次いで「1歳」(19.3%)、「3歳」(17.1%)となっています。

図 子どもの年齢



【子どもの人数及び末子の年齢】

問3 お子さんは何人いますか。2人以上いる場合は、いちばん下のお子さんの生年月を口にご記入ください。

子どもの人数をみると、「2人」(45.0%)が最も多く、次いで「1人」(29.6%)、「3人」(20.6%)となっています。また、末子の生年月から末子の年齢を算出したところ、「2歳」(17.6%)が最も多く、次いで「3歳」(17.2%)、「1歳」(15.2%)となっています。

図 子どもの人数

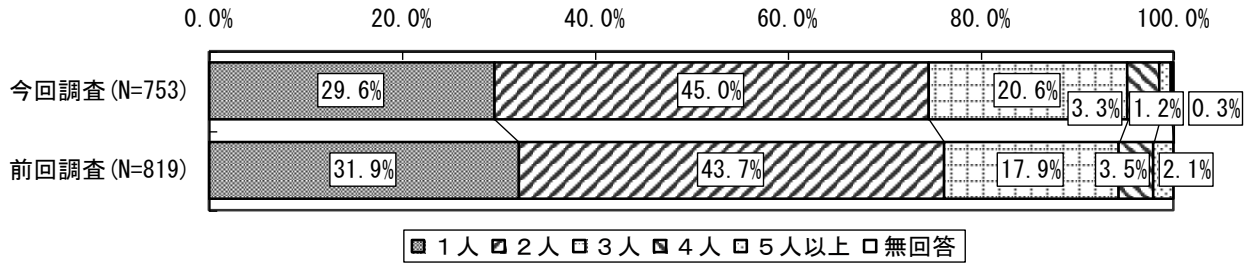
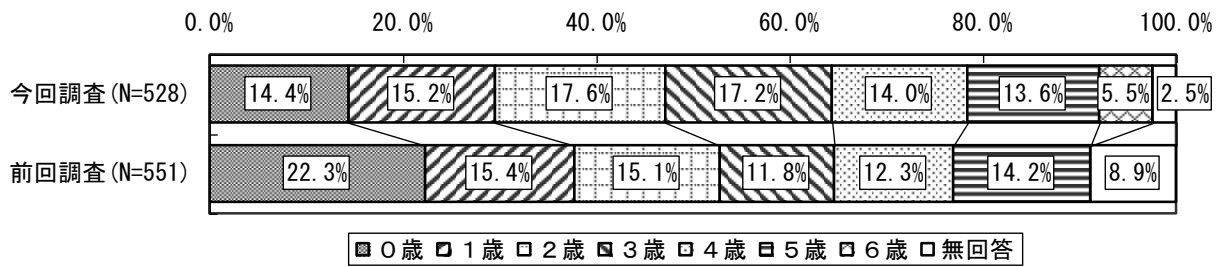


図 末子の年齢

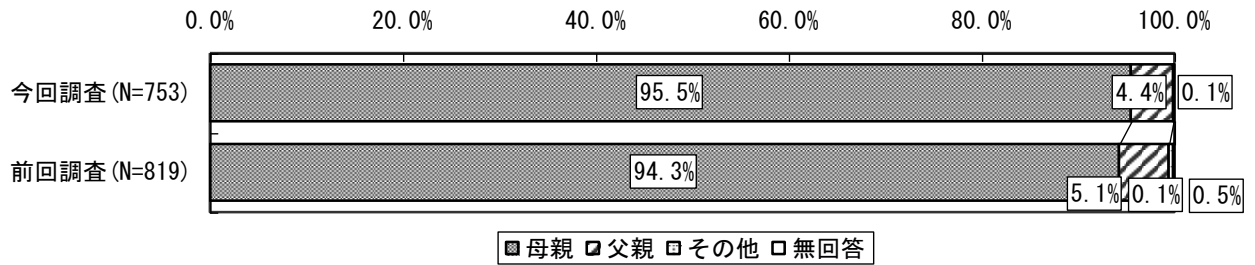


【回答者】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(○は1つ)

回答者をみると、「母親」が95.5%、「父親」が4.4%となっています。

図 回答者

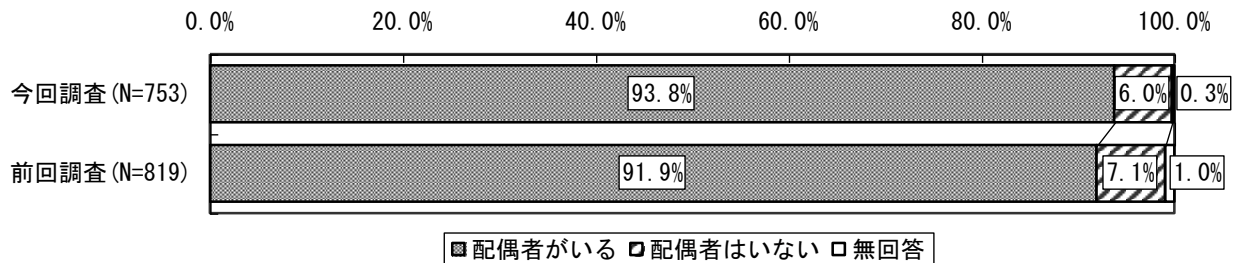


【回答者の配偶関係】

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」は93.8%、「配偶者はいない」は6.0%となっています。

図 回答者の配偶関係



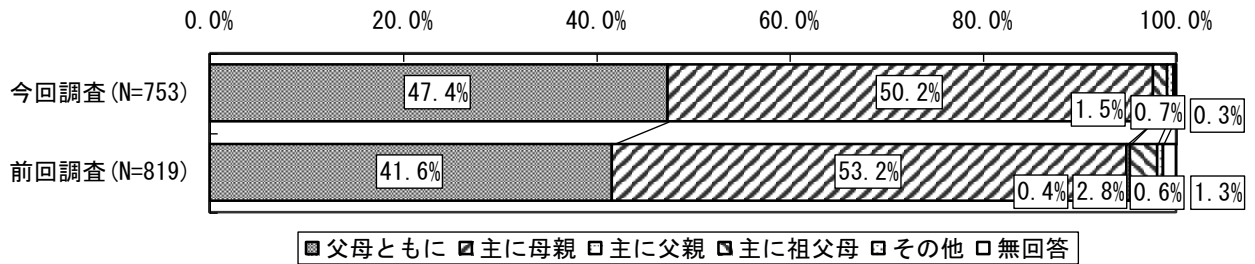
【主たる育児者】

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。(〇は1つ)

子どもの主たる育児者をみると、「主に母親」(50.2%)が最も多く、次いで「父母ともに」(47.4%)となっています。

前回調査より、「父母ともに」が5.8ポイント増加しています。

図 主たる育児者



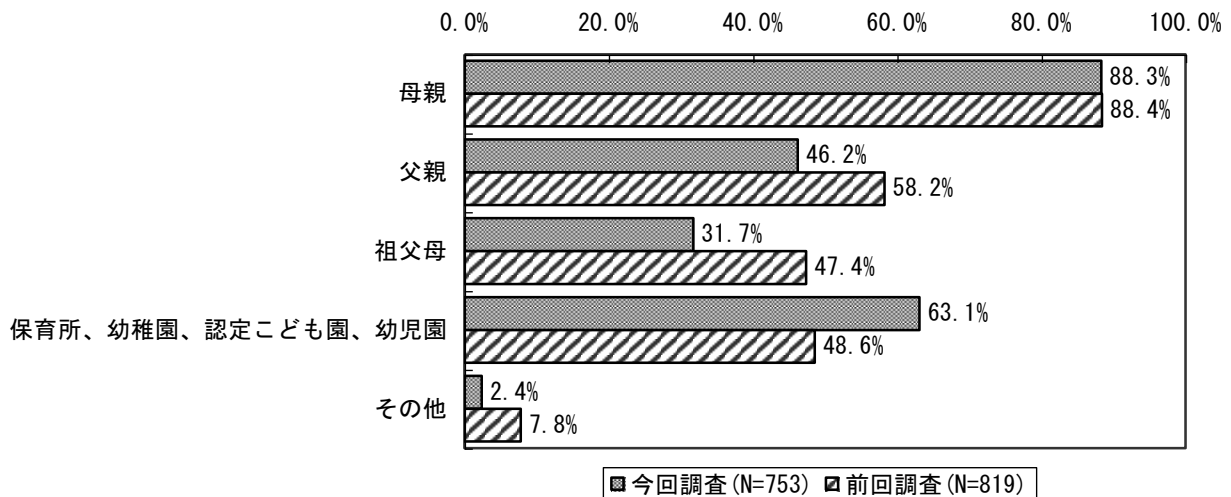
【子育て（教育）に日常的に関わっている人（施設）】

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（〇はいくつでも）

子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている人をみると、「母親」（88.3%）が最も多く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園、幼児園」（63.1%）、「父親」（46.2%）となっています。

前回調査と比べると、「母親」の構成比に変化はみられませんが、「父親」が12ポイント、「祖父母」が15.7ポイント、それぞれ減少しています。一方、「保育所、幼稚園、認定こども園、幼児園」は前回調査では「幼稚園」、「保育所」、「認定こども園」と選択肢を分けて尋ねていましたが、今回選択肢をまとめて尋ねたところ、「母親」に次いで回答が多くなっています。ただし、選択肢が異なるため比較には留意が必要です。

図 子育て（教育）に日常的に関わっている人（施設）



③子どもの育ちをめぐる環境について

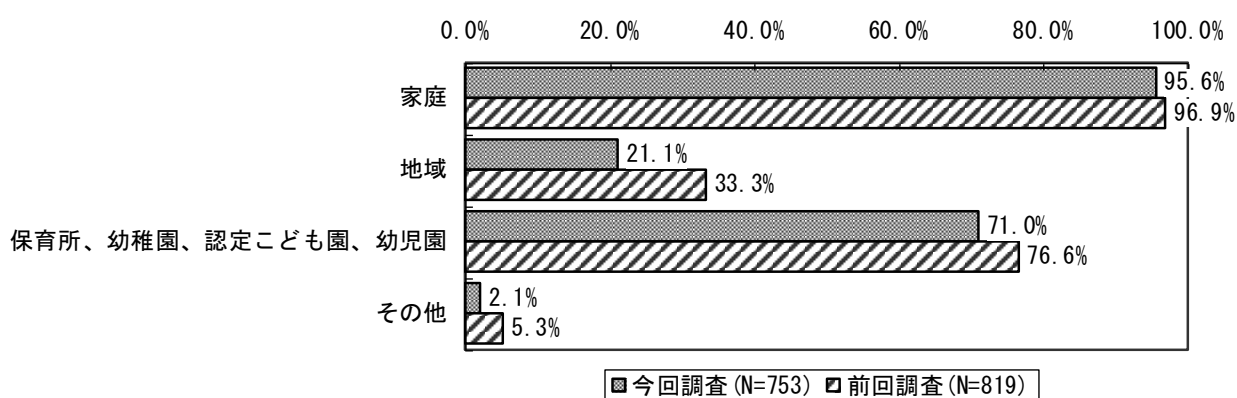
【子育て（教育）に影響する環境】

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどれですか。
（〇はいくつでも）

子どもの子育てに大きく影響すると思う環境をみると、「家庭」（95.6%）が最も多く、次いで「保育所、幼稚園、認定こども園、幼児園」（71.0%）、「地域」（21.1%）となっています。

前回調査より、「地域」が12.2ポイント減少しています。一方、「保育所、幼稚園、認定こども園、幼児園」は前回調査では「幼稚園」、「保育所」、「認定こども園」と選択肢を分けて尋ねていましたが、今回選択肢をまとめて尋ねたところ、「家庭」に次いで回答が多くなっています。ただし、選択肢が異なるため比較には留意が必要です。

図 子育て（教育）に影響する環境



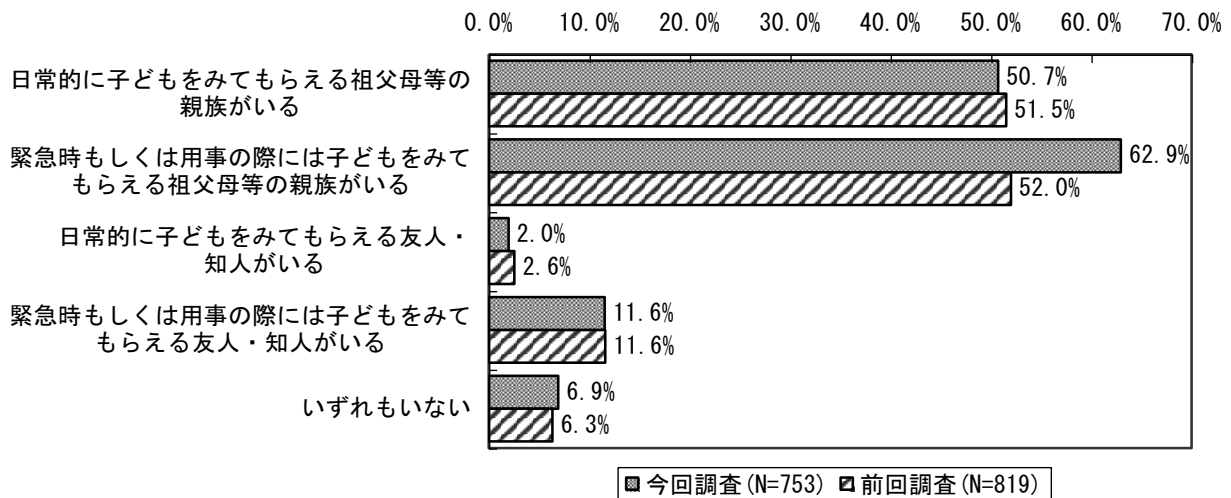
【親族・知人による子育ての協力状況】

問9 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

親族・知人による子育ての協力状況を見ると、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる祖父母等の親族がいる」(62.9%)が最も多く、次いで「日常的に子どもを見てもらえる祖父母等の親族がいる」(50.7%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる」(11.6%)となっています。

前回調査より、「緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる祖父母等の親族がいる」が10.9ポイント増加しています。「いずれもない」は前回調査から変化がみられません。

図 親族・知人による子育ての協力状況



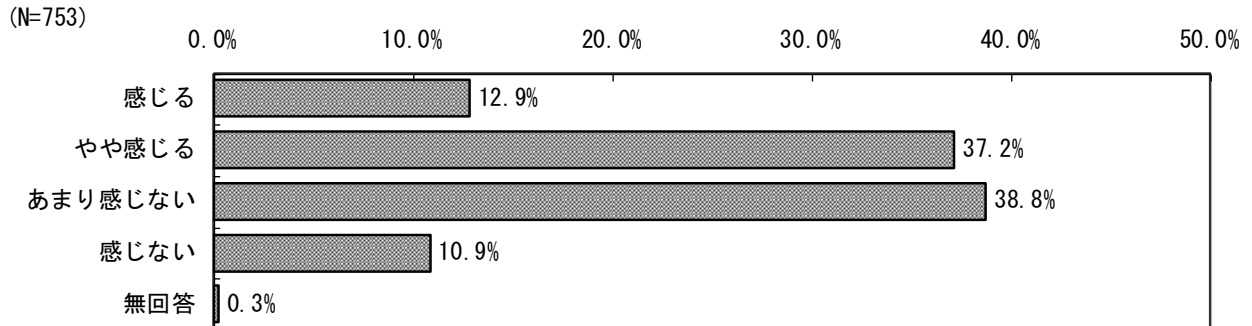
【子育てをされていて地域に支えられている感覚の有無】

問10 日頃、子育てをされていて地域の人に「支えられている」と感じることはありますか。(〇は1つ)

子育てをされていて地域の人に支えられている感覚の有無をみると、「あまり感じない」(38.8%)が最も多く、次いで「やや感じる」(37.2%)、「感じる」(12.9%)となっています。「感じる」と「やや感じる」の合計(以下、地域に支えられていると感じる人)は50.1%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 子育てをされていて地域に支えられている感覚の有無



【子育ての楽しさ・不安の程度】

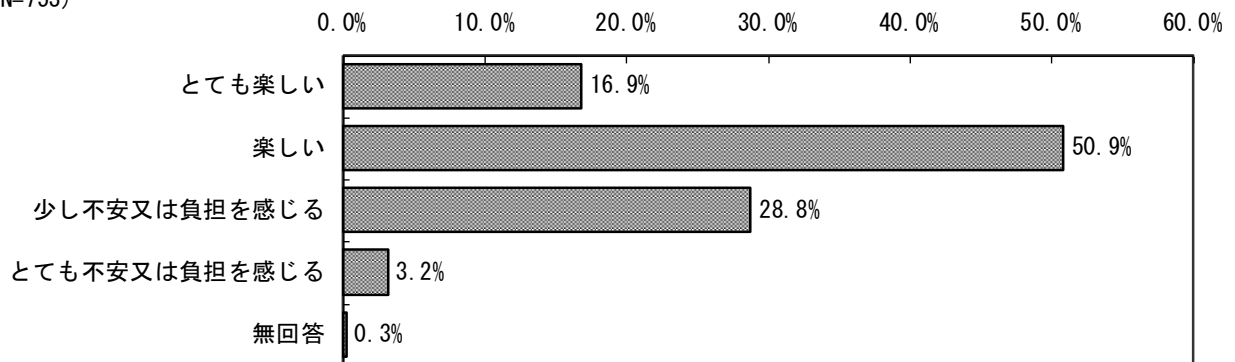
問11 子育ては、楽しいときもあれば、不安又は負担を感じるときもありますが、一番近いお気持ちを教えてください。(〇は1つ)

子育ての楽しさ・不安の程度をみると、「楽しい」(50.9%)が最も多く、次いで「少し不安又は負担を感じる」(28.8%)、「とても楽しい」(16.9%)となっています。「とても楽しい」と「楽しい」の合計(以下、子育ては楽しいと感じる人)は67.8%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 子育ての楽しさ・不安の程度

(N=753)



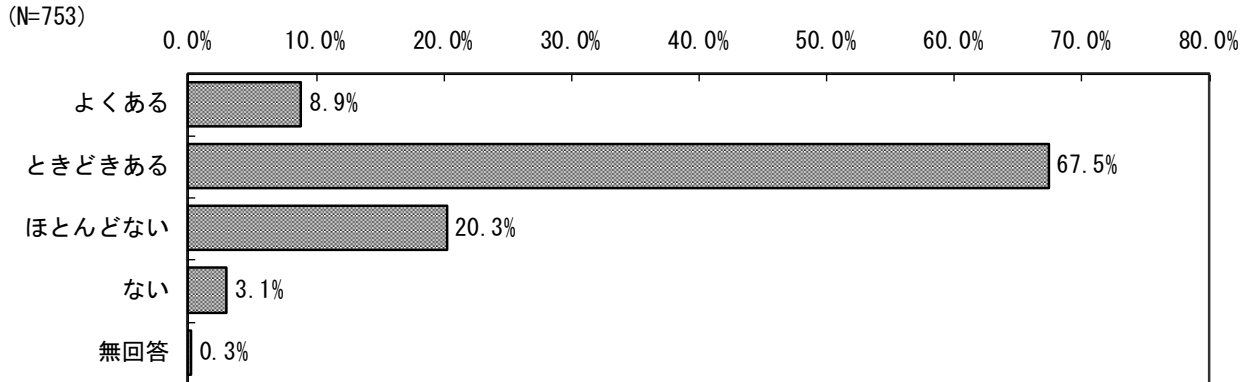
【不安等の感情を子どもに向けてしまうこと】

問12 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことはありますか。(○は1つ)

不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことの有無をみると、「ときどきある」(67.5%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(20.3%)、「よくある」(8.9%)となっています。「ときどきある」と「よくある」の合計(以下、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがある人)は76.4%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 不安等の感情を子どもに向けてしまうこと



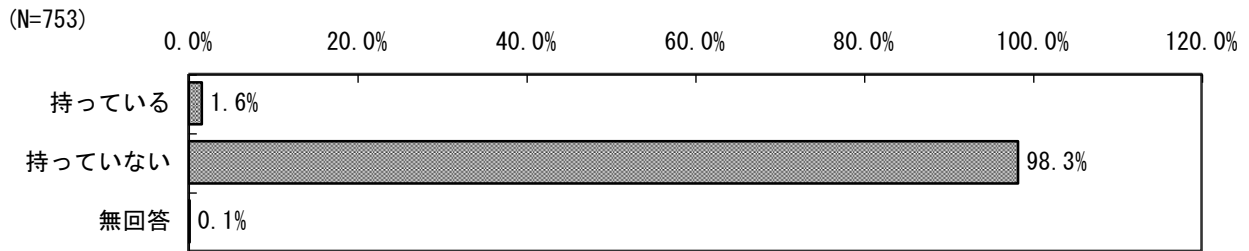
【子どもの障害者手帳の所持状況】

問13 お子さんは療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

子どもの障害者手帳の所持状況をみると、「持っている」は1.6%、「持っていない」は98.3%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 子どもの障害者手帳の所持状況

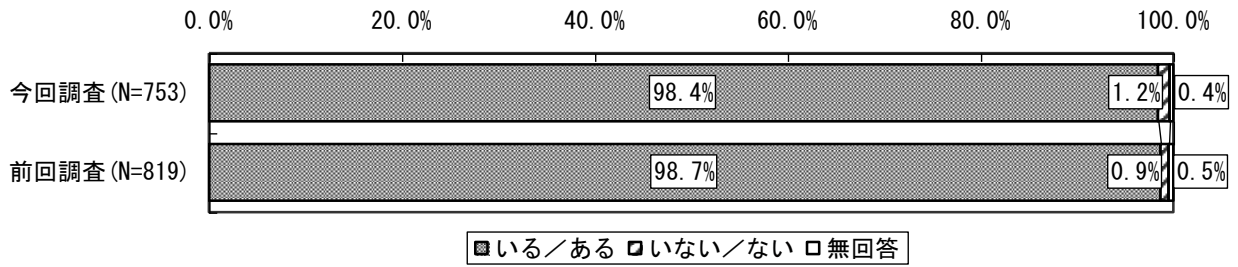


【子育てについて相談できる人・場所の有無】

問14 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

子育てについて相談できる人・場所の有無をみると、「いる／ある」は98.4%、「いない／ない」は1.2%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 子育てについて相談できる人・場所の有無



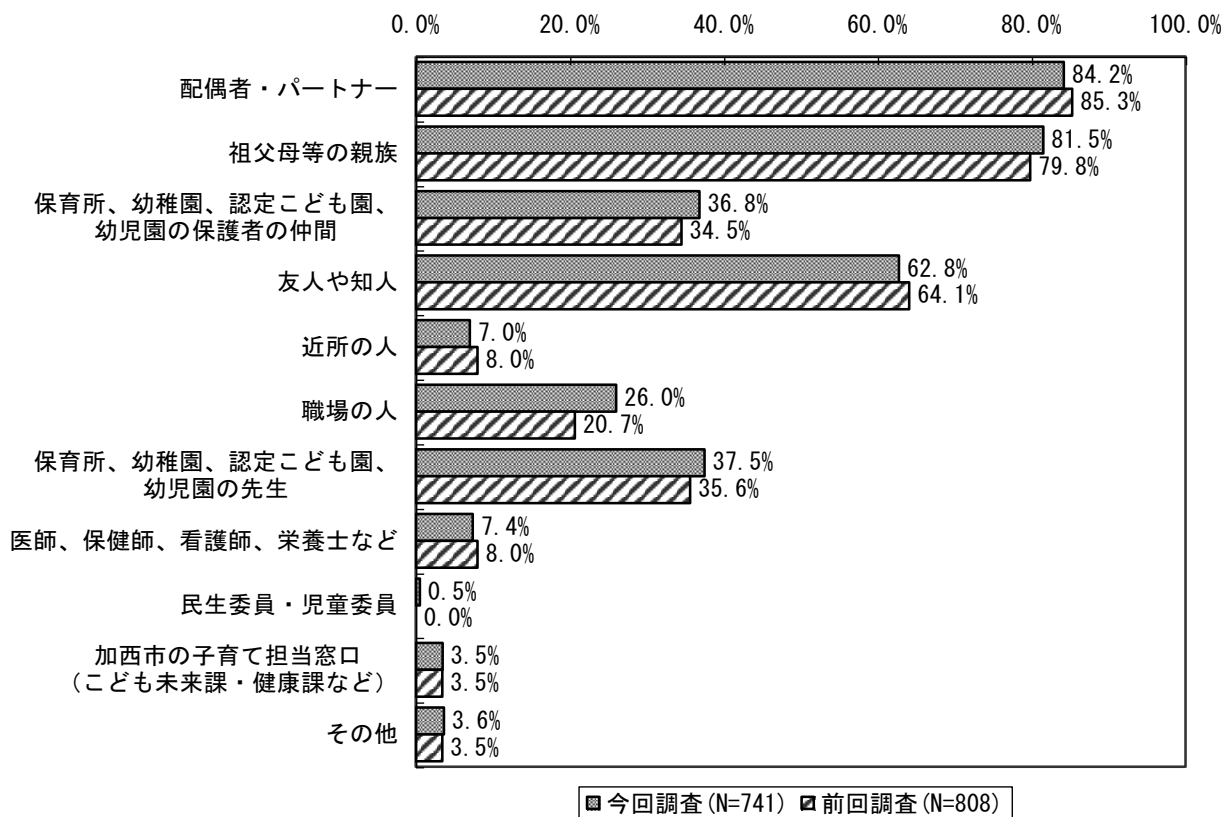
【子育ての相談相手（場所）】

問14-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

子育てについて相談できる人（場所）がいる（ある）人の相談相手を見ると、「配偶者・パートナー」（84.2%）が最も多く、次いで「祖父母等の親族」（81.5%）、「友人や知人」（62.8%）となっています。

前回調査と概ね同様の傾向が表れていますが、「保育所、幼稚園、認定こども園、幼児園の先生」は前回調査と選択肢が異なるため比較には留意が必要です。「加西市の子育て担当窓口（こども未来課・健康課など）」は前回調査から変化が見られません。

図 子育ての相談相手（場所）



☆集計中【子育てに必要な周囲からのサポート】

問15 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

④保護者の就労状況について

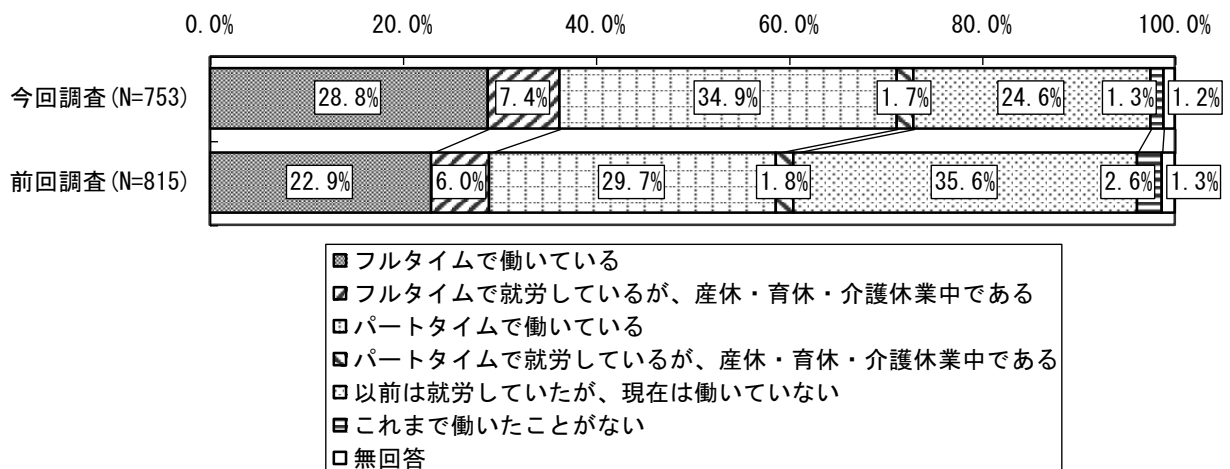
【母親の就労状況】

問16 【母親】お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。
（○は1つ）

子どもの母親の現在の就労状況をみると、「パートタイム（「フルタイム」以外）で働いている」（34.9%）が最も多く、次いで「フルタイムで働いている」（28.8%）、「以前は就労していたが、現在は働いていない」（24.6%）となっています。「フルタイムで働いている」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計（以下、フルタイムで働いている人）は36.2%、「パートタイム（「フルタイム」以外）で働いている」とパートタイム（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の合計（以下、パートタイムで働いている人）は36.6%、「以前は就労していたが、現在は働いていない」と「これまで働いたことがない」の合計（以下、働いていない人）は25.9%となっています。フルタイムで働いている人とパートタイムで働いている人の合計（以下、働いている人）は72.8%となっています。

前回調査より、フルタイムで働いている人が7.3ポイント減少し、パートタイムで働いている人が5.1ポイント増加しています。また、働いていない人が12.3ポイント減少し、働いている人が12.4ポイント増加しています。

図 母親の就労状況



【母親の就労日数と就労時間】

問16-1- (1) 【母親】 1週間の就労日数、1日の就労時間（残業時間を含む）を口にご記入ください。

【就労日数】

働いている人について1週間の就労日数をみると、「5日」（66.8%）が最も多く、次いで「4日」（14.0%）、「6日」（8.0%）となっており、前回と概ね同様の傾向が表れています。

【就労時間】

働いている人について1日の就労時間（残業時間を含む）をみると、「8～9時間」（30.2%）が最も多く、次いで「6～7時間」（17.1%）、「5～6時間」（14.6%）となっています。

前回調査と比べると「5時間未満」及び10時間以上は減少し、5時間～9時間の間でやや増加しています。

図 母親の就労日数

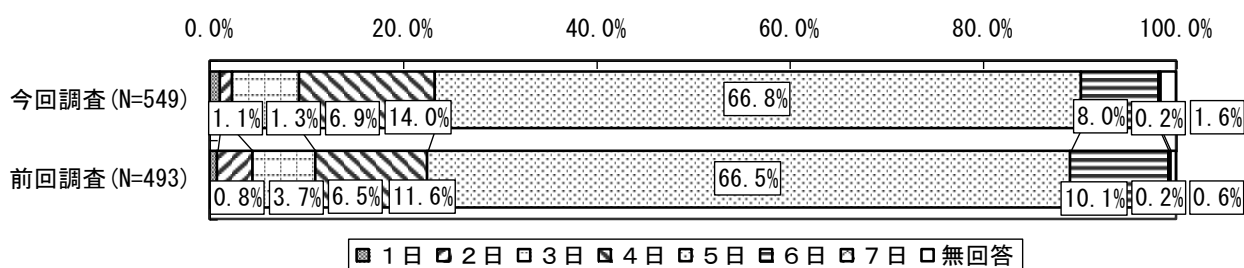
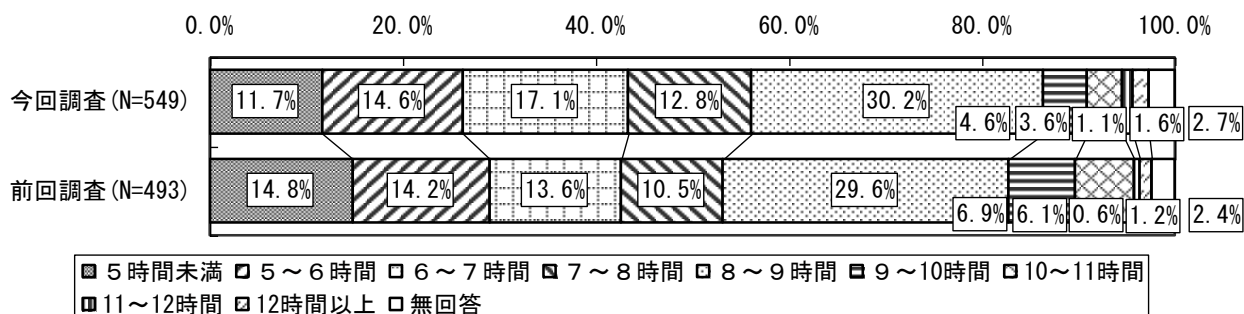


図 母親の就労時間



【母親の家を出る時刻と帰宅時刻】

問16-1-(2) 【母親】家を出る時刻と帰宅時刻を口にご記入ください。

【家を出る時刻】

働いている人について家を出る時刻をみると、「8時台」(51.7%)が最も多く、次いで「7時台」(22.6%)、「9時台」(15.1%)となっており、前回と概ね同様の傾向が表れています。

【帰宅時刻】

働いている人について帰宅時刻をみると、「18時前」(48.5%)が最も多く、次いで「18時台」(32.6%)、「19時台」(10.6%)となっており、前回と概ね同様の傾向が表れています。

図 母親の家を出る時刻

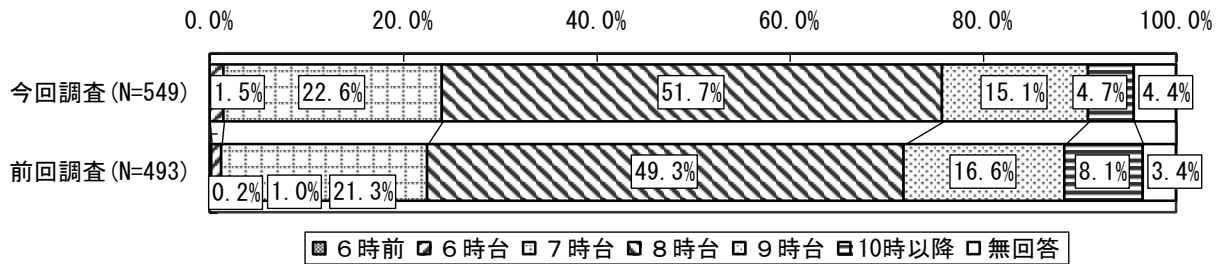
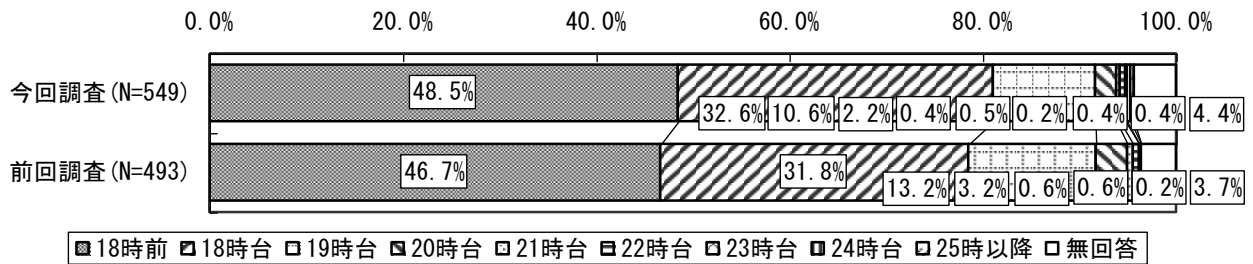


図 母親の帰宅時刻



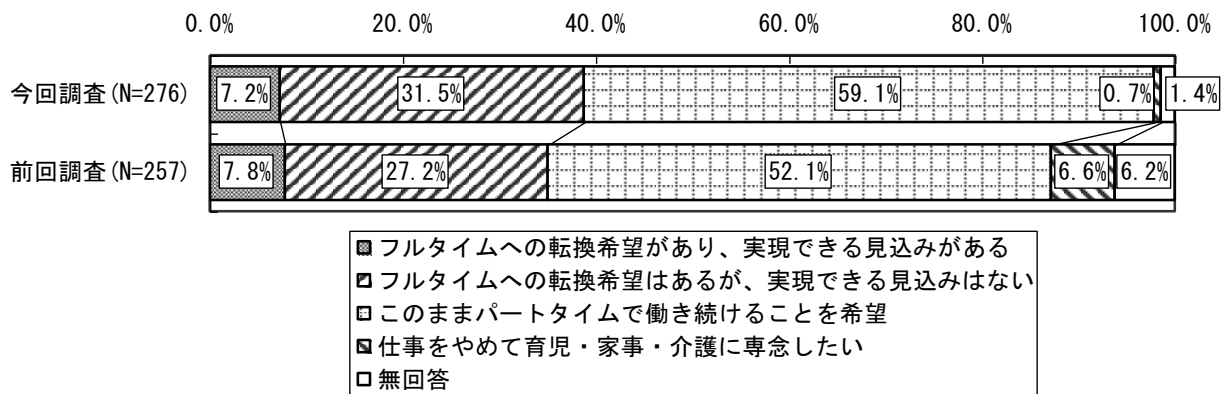
【母親のフルタイムへの転換希望】

問17 【母親】フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

フルタイムで働いている人についてフルタイムへの転換希望をみると、「このままパートタイムで働き続けることを希望」（59.1%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（31.5%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（7.2%）となっています。

前回調査より、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」は4.3ポイント、「このままパートタイムで働き続けることを希望」は7ポイント、それぞれ減少しています。また、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は前回調査からほとんど変化がなく、1割未満となっています。

図 母親のフルタイムへの転換希望



【母親の就労希望】

問18 【母親】働きたいという希望はありますか。(○は1つ) また、□に数字でご記入ください。

現在働いていない人の就労希望をみると、「一番下の子どもが大きくなったら働きたい」(49.7%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい」(33.8%)、「育児・家事・介護などに専念したい(就労の予定はない)」(14.9%)となっています。

また、「一番下の子どもが大きくなったら働きたい」と回答した人について、就労を希望する時の子どもの年齢をみると、「2歳～3歳」(48.0%)が最も多く、次いで「6歳～7歳」(20.4%)、「4歳～5歳」(19.4%)となっています。

前回調査より、無回答が大きく減少したため、全ての選択肢で割合が増加しています。無回答を除いて構成比を算出すると、「すぐにでも、もしくは一年以内に就労したい」が4.6ポイント増加しています。

図 母親の就労希望

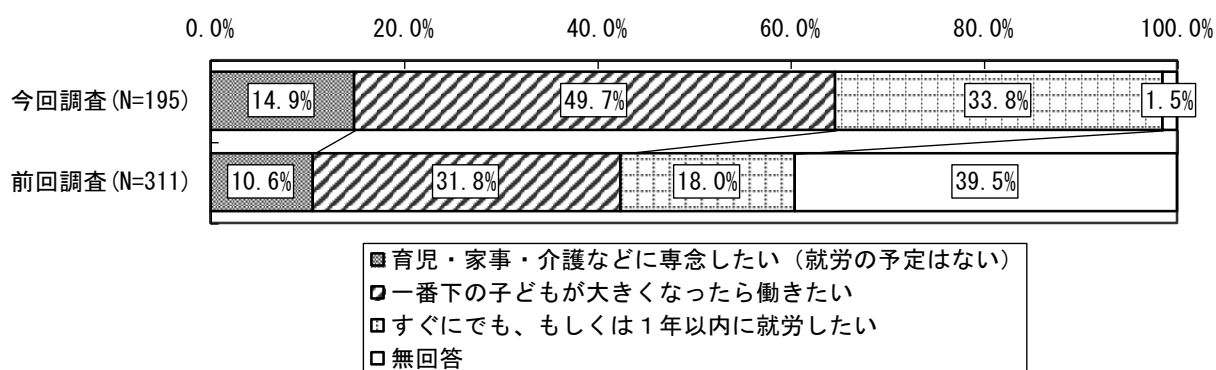
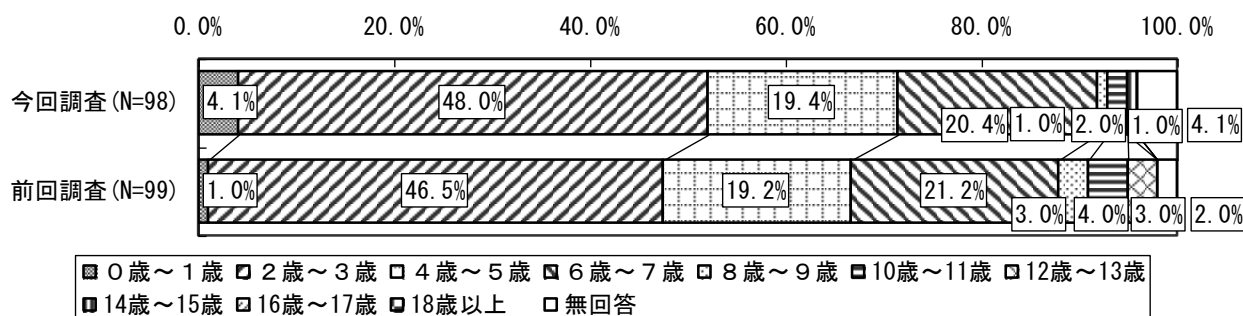


表 母親の就労希望

	今回調査		前回調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
育児・家事・介護などに専念したい (就労の予定はない)	29	15.1%	33	17.6%
一番下の子どもが大きくなったら働きたい	97	50.5%	99	52.7%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	66	34.4%	56	29.8%
合計	192	100.0%	188	100.0%

※無回答を除いて算出。

図 母親の就労希望時期の子どもの年齢



【母親の希望の就労形態】

問18-1 【母親】希望する就労形態をお答えください。（〇は1つ）

【就労形態】

問18で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人について、希望の就労形態をみると、「フルタイム」が9.1%、「パートタイム」が81.8%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【就労日数】

上記の人のうち、パートタイム希望者の希望の就労日数をみると、「4日」(37.0%)が最も多く、次いで「5日」(35.2%)、「3日」(27.8%)となっています。

前回調査より、「3日」が9ポイント増加、「4日」は6.8ポイント減少しています。

【就労時間】

上記の人のうち、パートタイム希望者の希望の就労時間をみると、「5時間」(38.9%)が最も多く、次いで「6時間」(31.5%)、「4時間」(20.4%)となっています。

前回調査より、「5時間」は9ポイント減少、「6時間」が14.8ポイント増加しています。

図 母親の希望の就労形態

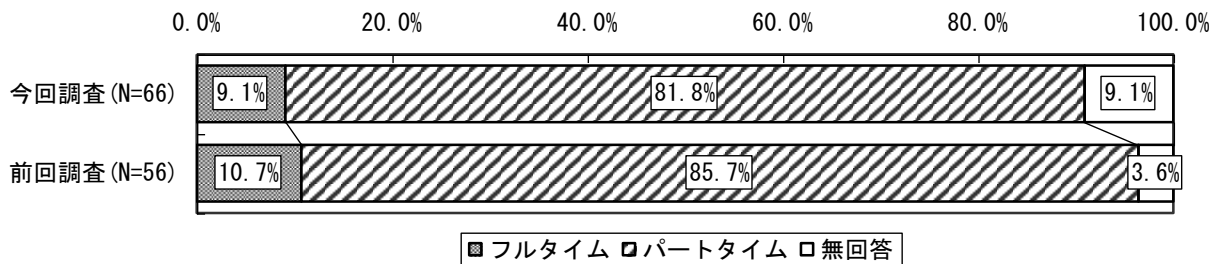


図 母親の希望の就労日数

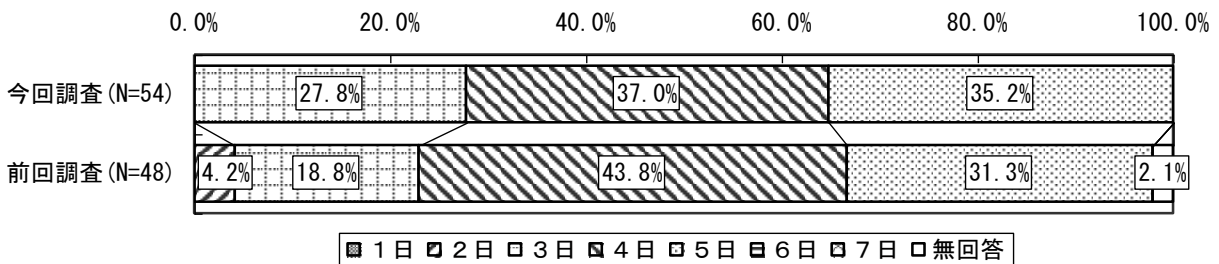
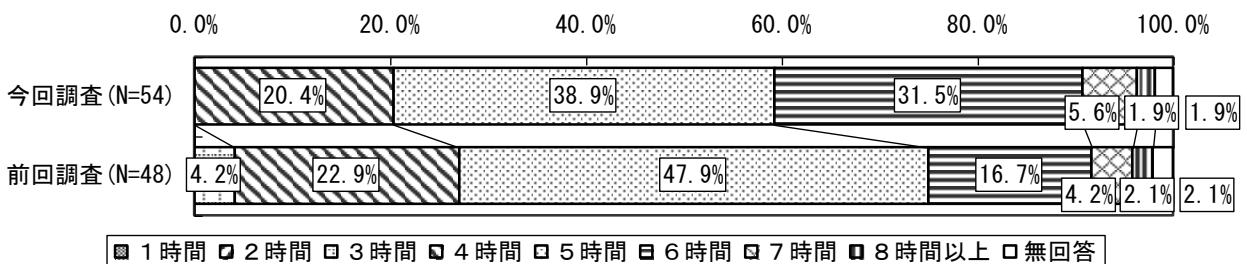


図 母親の希望の就労時間

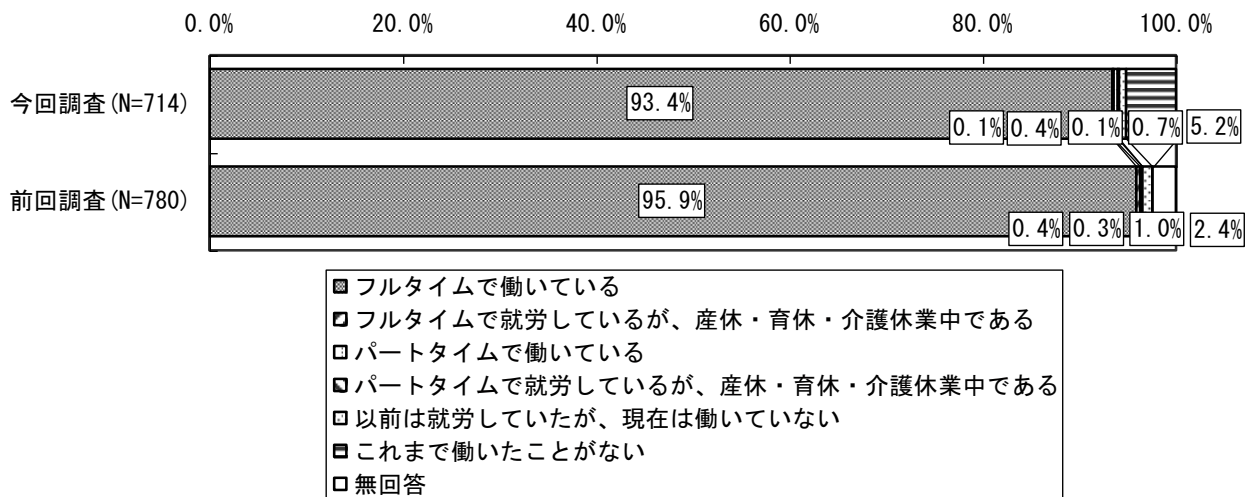


【父親の就労状況】

問19 【父親】お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。
（○は1つ）

子どもの父親の現在の就労状況を見ると、「フルタイムで働いている」（93.4%）が最も多くなっています。フルタイムで働いている人は93.5%、パートタイムで働いている人は0.5%、働いていない人は5.9%となっており、働いている人は94.0%となっています。前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の就労状況



【父親の就労日数及び就労時間】

問19-1- (1) 【父親】 1週間の就労日数、1日の就労時間（残業時間を含む）を口にご記入ください。

【就労日数】

働いている人について1週間の就労日数をみると、「5日」（59.7%）が最も多く、次いで「6日」（32.7%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【就労時間】

働いている人について1日の就労時間（残業時間を含む）をみると、「8～9時間」（29.2%）が最も多く、次いで「10～11時間」（24.7%）、「9～10時間」（14.7%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の就労日数

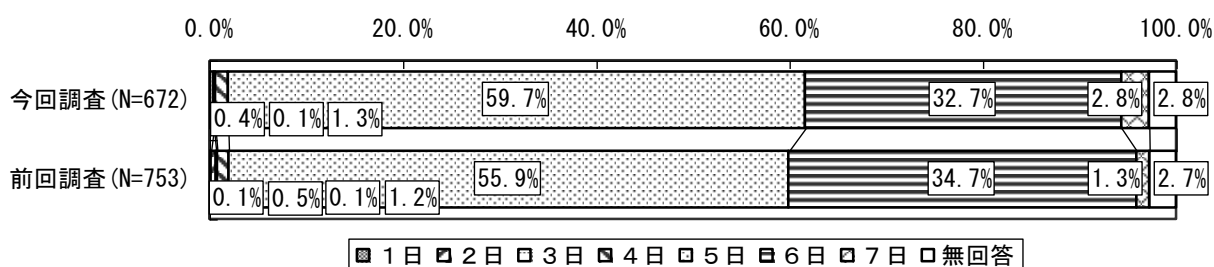
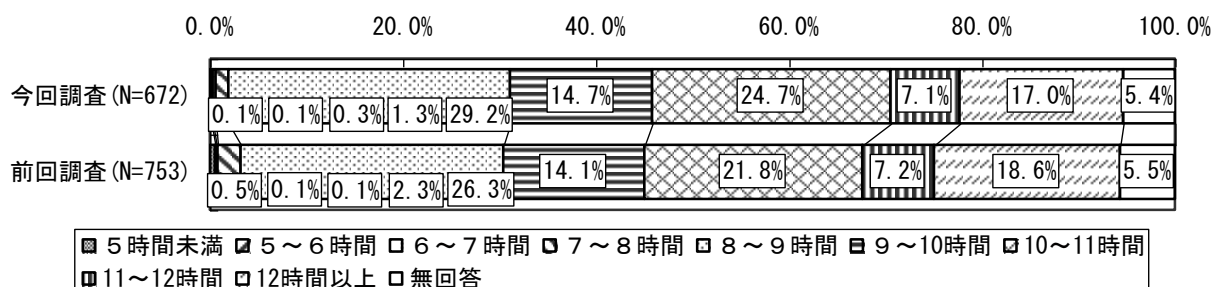


図 父親の就労時間



【父親の家を出る時刻と帰宅時刻】

問19-1- (2) 【父親】 家を出る時刻と帰宅時刻を口にご記入ください。

【家を出る時刻】

働いている人について家を出る時刻をみると、「7時台」(45.5%)が最も多く、次いで「8時台」(25.0%)、「6時台」(11.5%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【帰宅時刻】

働いている人について帰宅時刻をみると、「19時台」(24.9%)が最も多く、次いで「20時台」(22.8%)、「18時台」(18.3%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の家を出る時刻

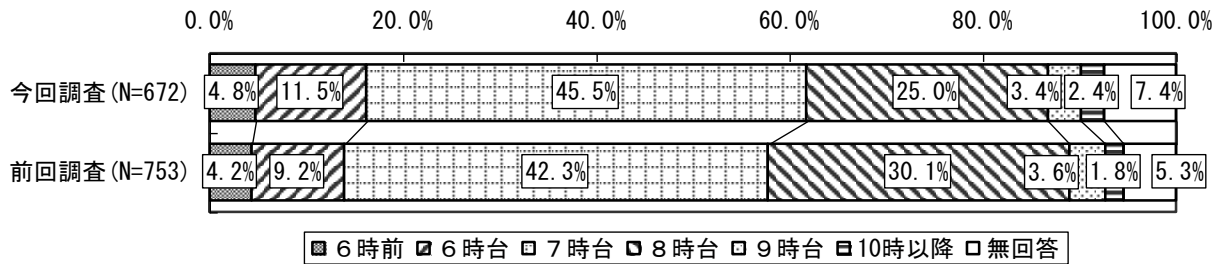
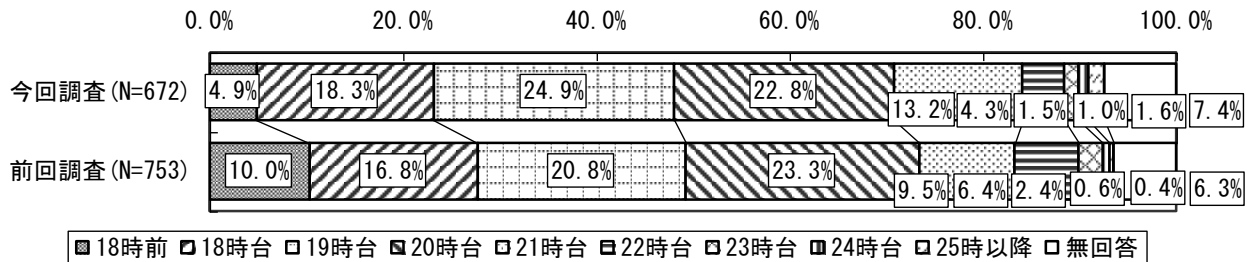


図 父親の帰宅時刻



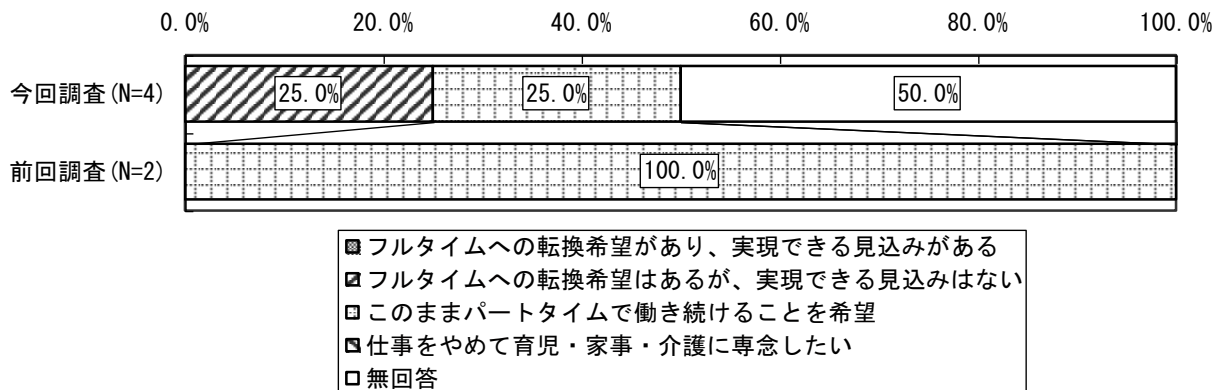
【父親のフルタイムへの転換希望】

問20 【父親】フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

現在パートタイムで働いている人（4件）について、フルタイムへの転換希望をみると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と「このままパートタイムで働き続けることを希望」がそれぞれ1件となっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントはありません。

図 父親のフルタイムへの転換希望



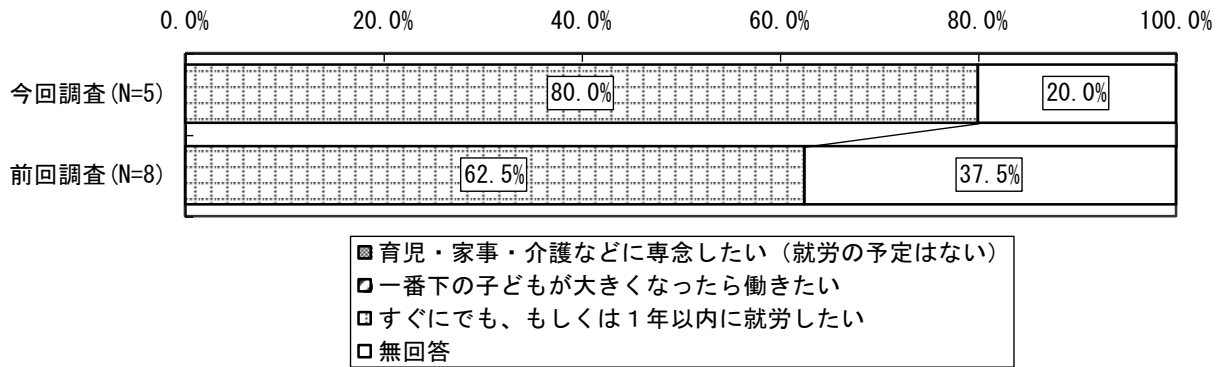
【父親の就労希望】

問21 【父親】働きたいという希望はありますか。(○は1つ) また、□に数字でご記入ください。

現在働いていない人(5件)の就労希望をみると、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が4件となっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントはありません。

図 父親の就労希望



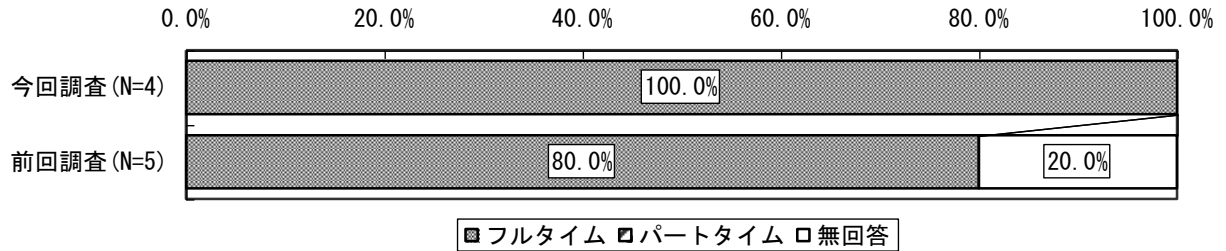
【父親の希望の就労形態】

問21-1 【父親】希望する就労形態をお答えください。（○は1つ）

問 21 で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人について、希望の就労形態をみると、「フルタイム」が4件となっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントはありません。

図 父親の希望の就労形態



⑤平日の教育・保育サービスの利用状況

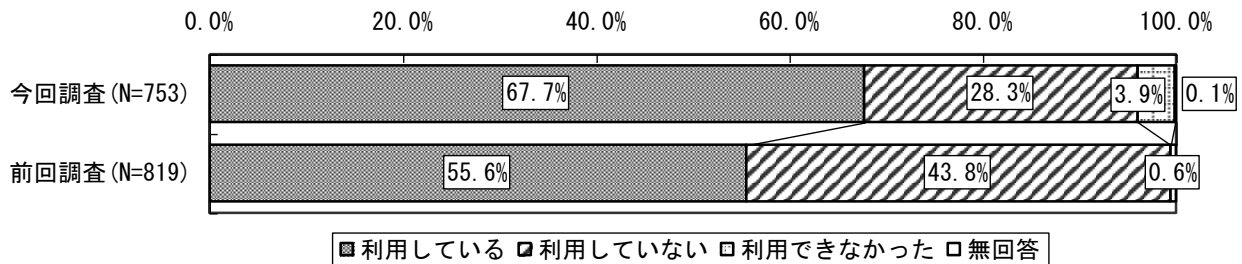
【幼稚園や保育所等の利用状況】

問22 お子さんは現在、保育所や認定こども園、幼稚園などを利用されていますか。(○は1つ)

保育所や認定こども園、幼稚園などの利用状況をみると、「利用している」(67.7%)が最も多く、次いで「利用していない」(28.3%)、「利用できなかった」(3.9%)となっています。

前回調査より、「利用している」が12.1ポイント増加しています。

図 幼稚園や保育所等の利用状況



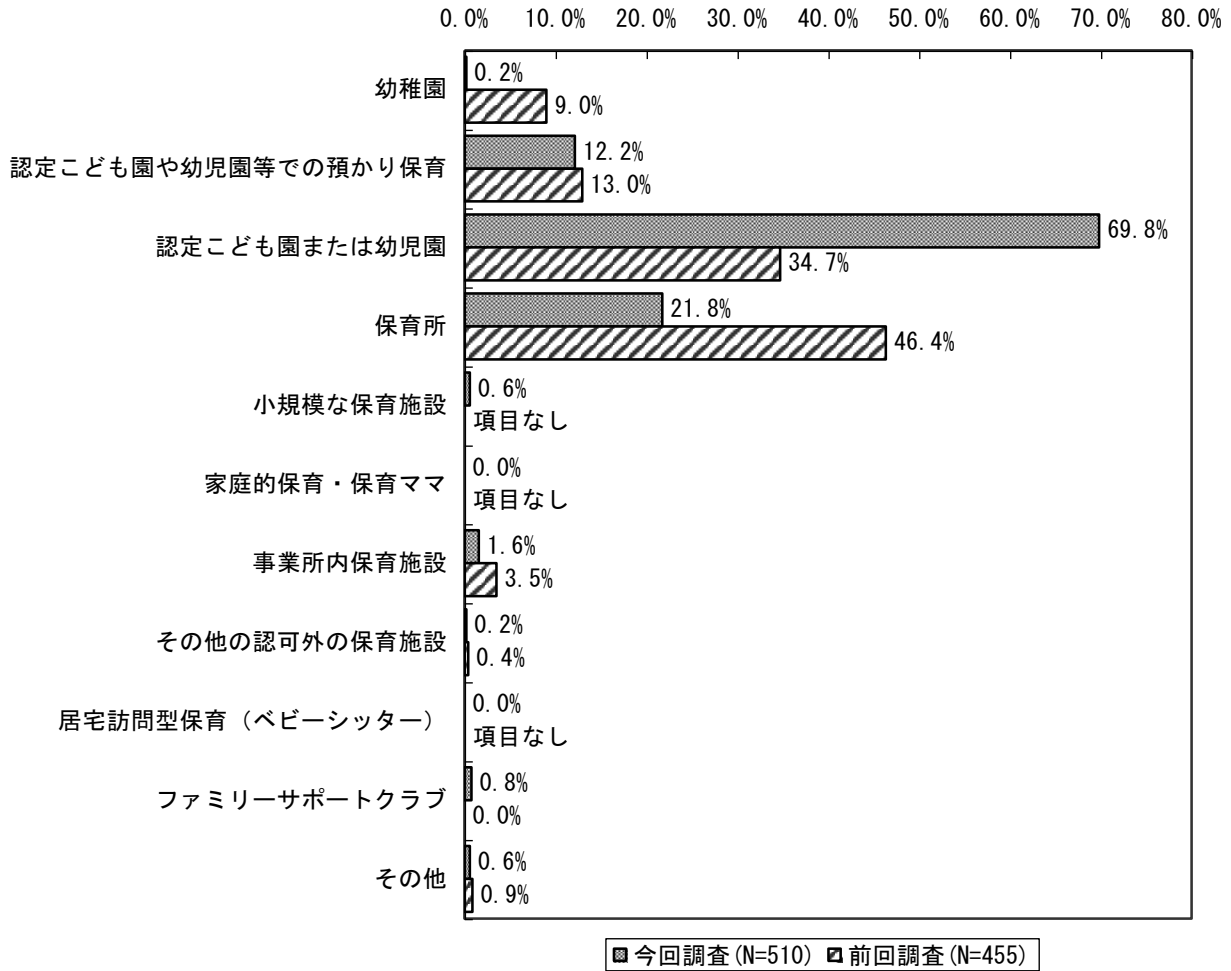
【年間を通じて利用しているサービス】

問22-1 年間を通じて、利用しているサービスをお答えください。(〇はいくつでも)

保育所や認定こども園、幼稚園などを利用している人について、その内容をみると、「認定こども園または幼稚園」(69.8%)が最も多く、次いで「保育所」(21.8%)、「認定こども園や幼稚園等での預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業)」(12.2%)となっています。

前回調査より、「認定こども園または幼稚園」が35.1ポイント増加しています。

図 年間を通じて利用しているサービス



【平日の教育・保育サービスの利用頻度】

問22-2 平日に利用している教育・保育サービスを、どのくらい利用していますか。
また、希望としてはどのくらい利用したいですか。また、□に数字でご記入ください。

【実際の利用日数】

保育所や認定こども園、幼稚園などを利用している人について、平日の教育・保育サービスの実際の利用日数をみると、1週間あたり「5日」(96.7%)が最も多くなっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【実際の利用時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの実際の利用時間をみると、1日あたり「8～9時間」(28.2%)が最も多く、次いで「7～8時間」(21.2%)、「10時間以上」(20.4%)となっています。

前回調査より、8時間以上利用する人が増加しています。

図 平日の教育・保育サービスの利用日数

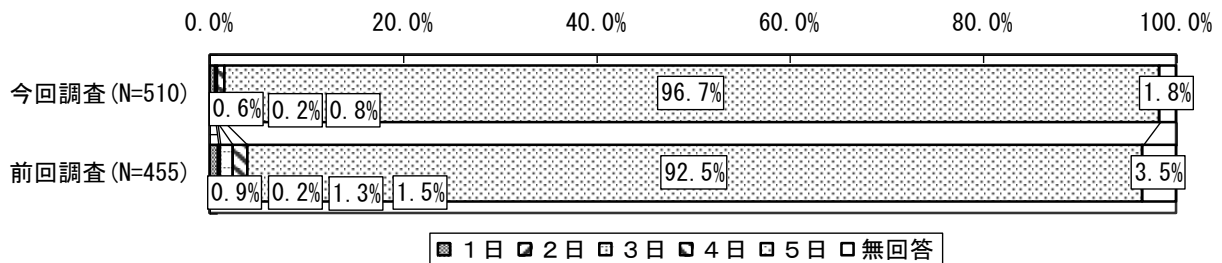
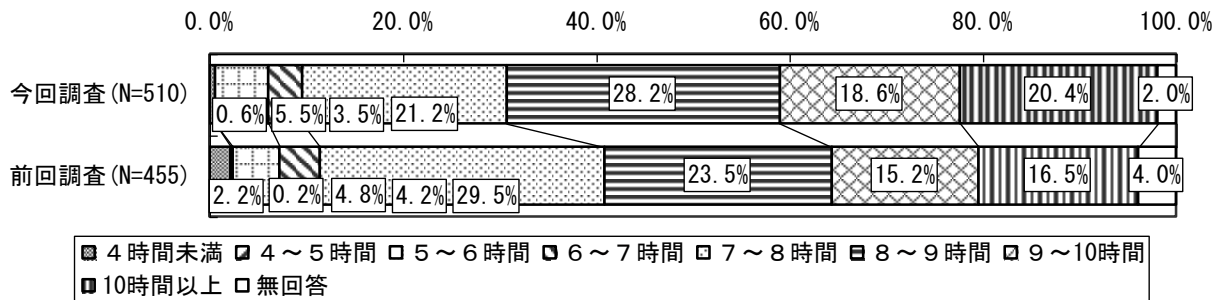


図 平日の教育・保育サービスの利用時間



【実際の利用開始時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの実際の利用開始時間をみると、「8時台」(50.8%)が最も多く、次いで「9時台」(36.9%)、「7時台」(9.2%)となっています。

前回調査より、「8時台」が10.1ポイント増加、「9時台」が12.1ポイント減少しています。

【実際の利用終了時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの実際の利用終了時間をみると、「16時台」(42.9%)が最も多く、次いで「18時台」(24.1%)、「17時台」(19.6%)となっています。

前回調査より、「18時台」が5ポイント増加しています。

図 平日の教育・保育サービスの利用開始時間

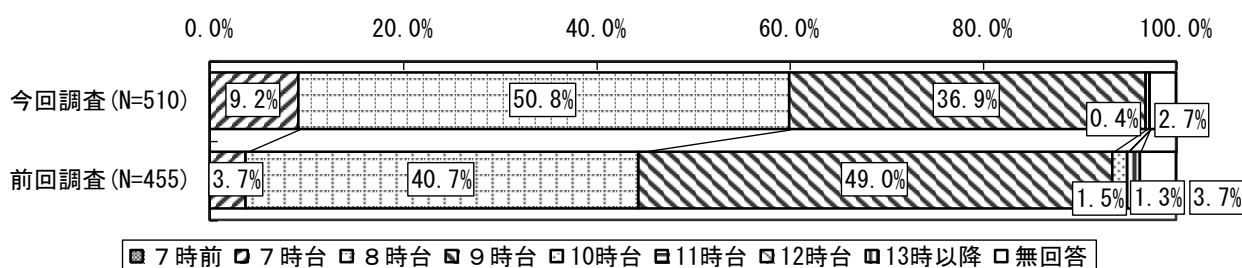
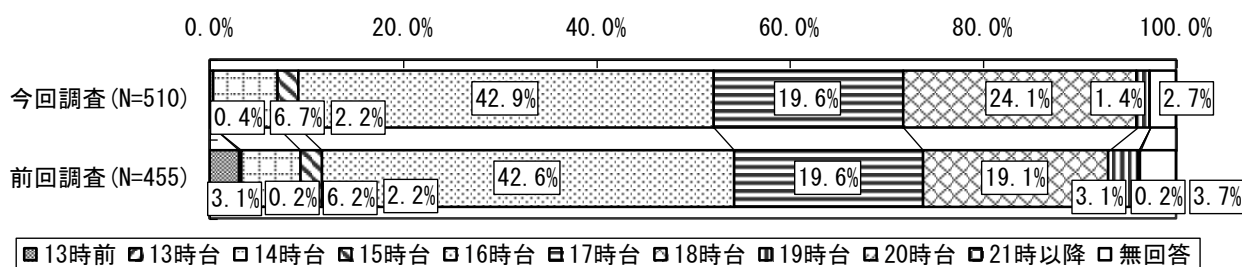


図 平日の教育・保育サービスの利用終了時間



【希望の利用日数】

保育所や認定こども園、幼稚園などを利用している人について、平日の教育・保育サービスの希望の利用日数をみると、1週間あたり「5日」(64.9%)が最も多くなっています。

【希望の利用時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの希望の利用時間をみると、1日あたり「10時間以上」(20.2%)が最も多く、次いで「8～9時間」(18.2%)、「7～8時間」及び「9～10時間」(共に11.6%)となっています。

前回調査より、8時間以上の利用希望が増加しています。

図 平日の教育・保育サービスの希望利用日数

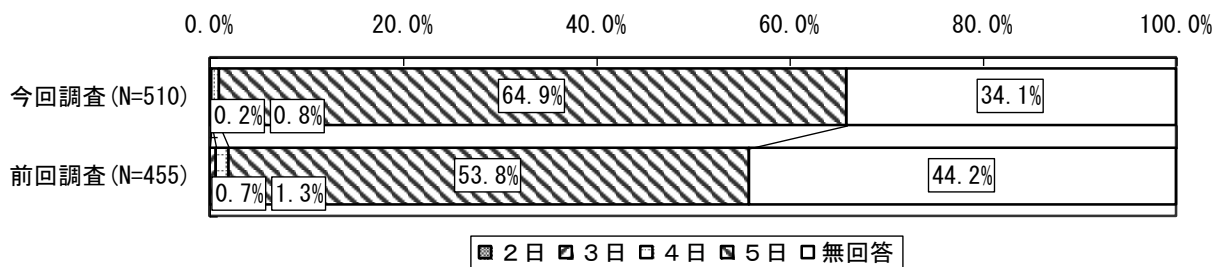
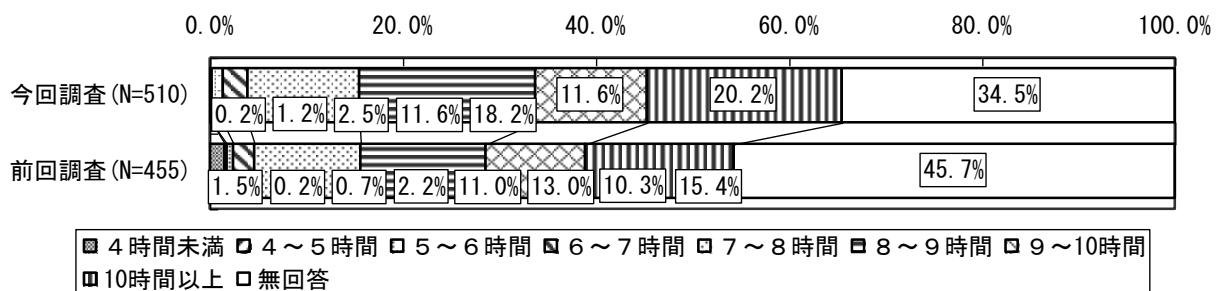


図 平日の教育・保育サービスの希望利用時間



【希望の利用開始時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの希望の利用開始時間をみると、「8時台」(34.1%)が最も多く、次いで「9時台」(22.0%)、「7時台」(8.6%)となっています。

前回調査より、「7時台」が4.9ポイント、「8時台」が7.5ポイント、それぞれ増加しています。

【希望の利用終了時間】

上記の人について、平日の教育・保育サービスの希望の利用終了時間をみると、「16時台」(23.3%)が最も多く、次いで「17時台」(15.7%)、「18時台」(14.7%)となっています。

前回調査より、「16時台」が7.7ポイント増加しています。

図 平日の教育・保育サービスの希望利用開始時間

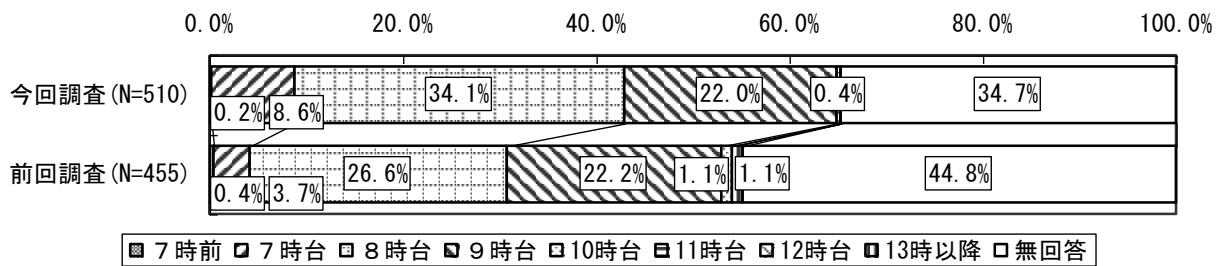
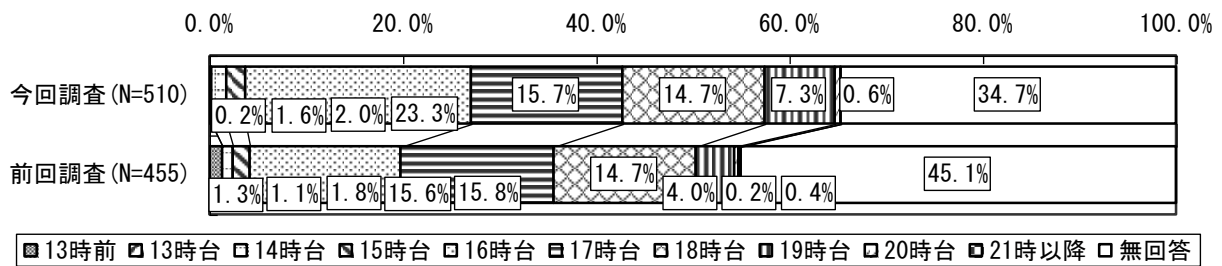


図 平日の教育・保育サービスの希望利用終了時間



【平日の教育・保育サービスを利用していない理由】

問22-3 利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

保育所や認定こども園、幼稚園などを利用していない人の理由をみると、「父母のいずれかがみている」(71.5%)が最も多く、次いで「子どもが大きくなったら働きたい」(27.7%)、「園に空きがない」(16.5%)となっており、前回調査より、「園に空きがない」が10.7ポイント増加しています。

また、「子どもが大きくなったら働きたい」と回答した人について、就労を希望する時の子どもの年齢をみると「3歳」(43.3%)が最も多く、次いで「2歳」(17.9%)、「4歳」(16.4%)となっています。

図 平日の教育・保育サービスを利用していない理由

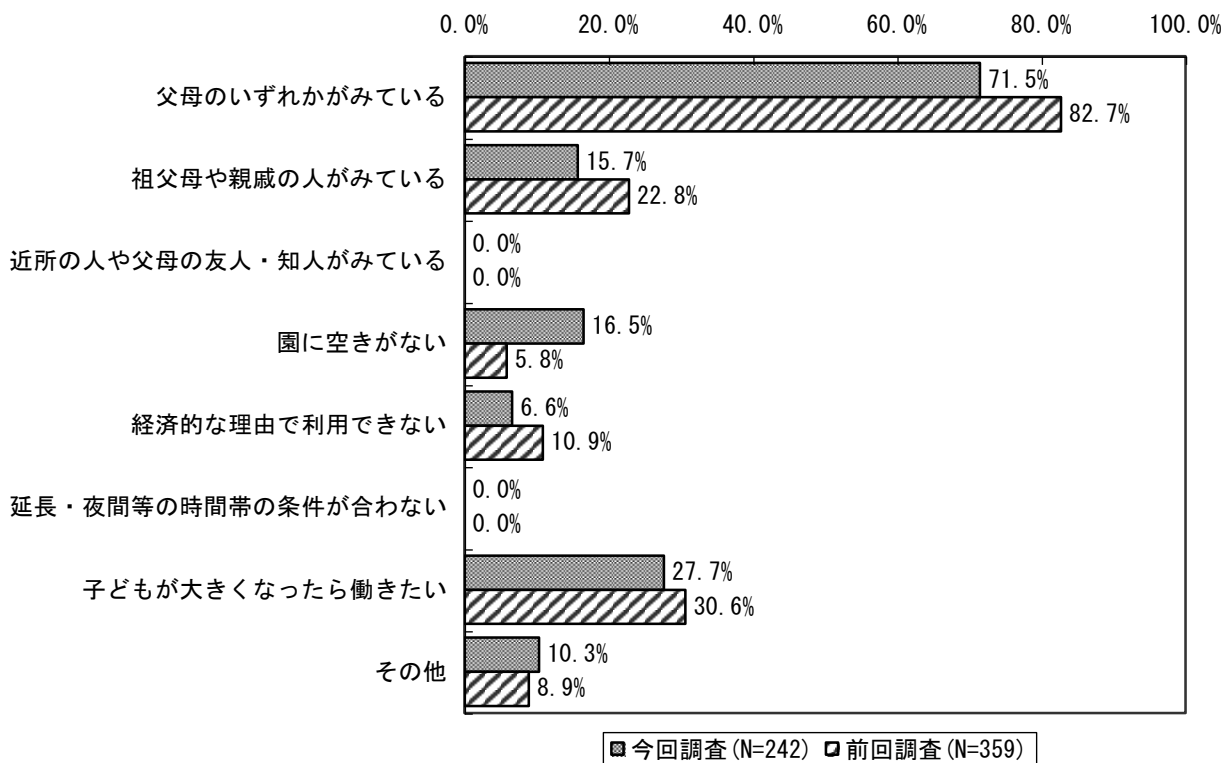
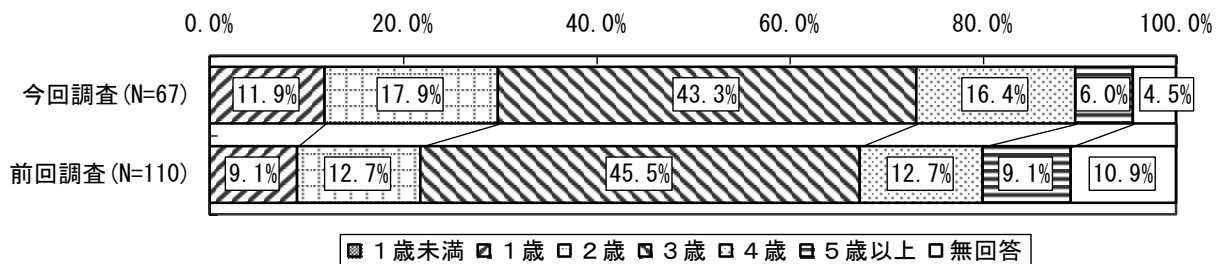


図 平日の教育・保育サービスを利用していない理由
子どもが大きくなったら働きたい場合の、子どもの年齢



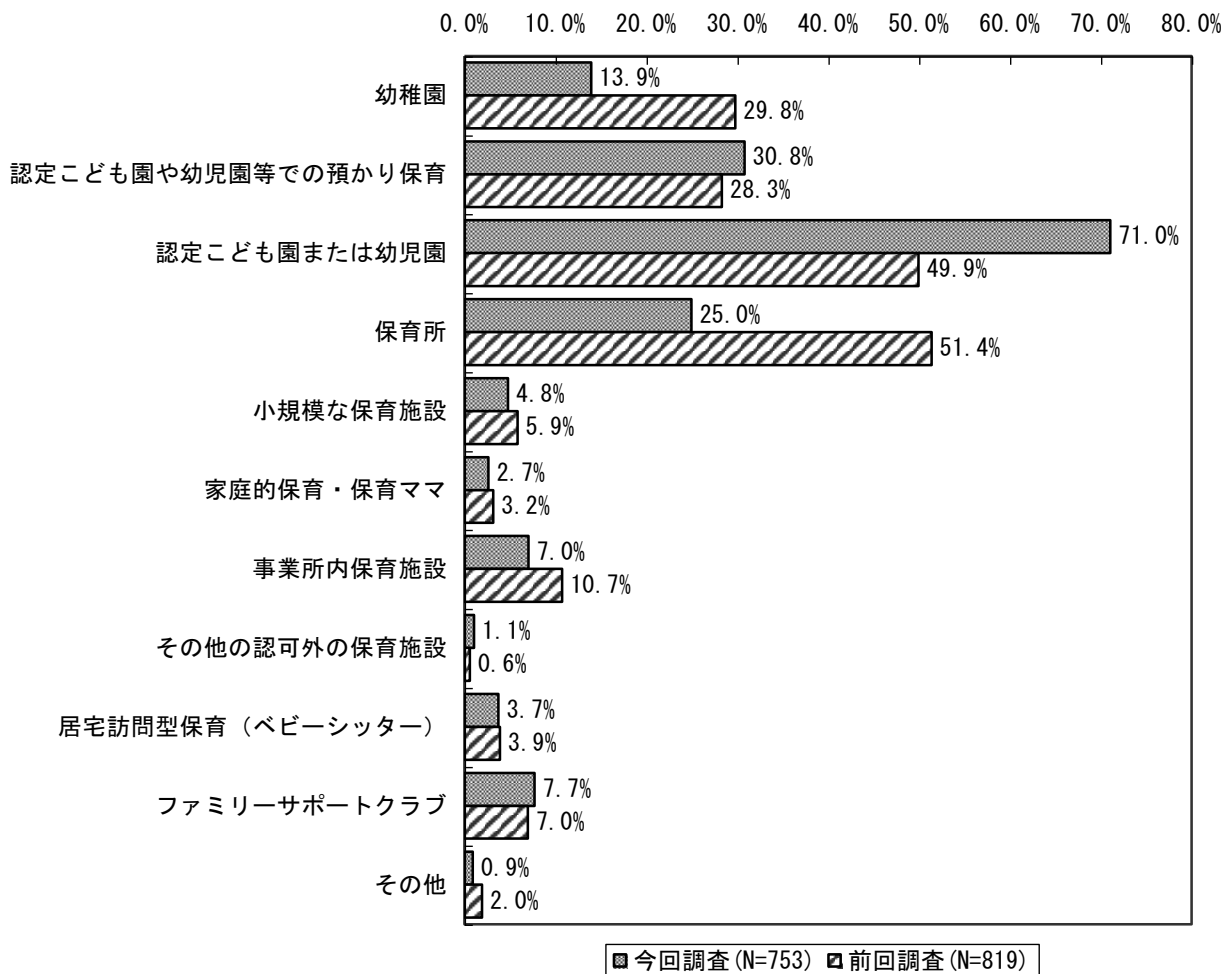
【定期的な教育・保育サービスの利用希望】

問23 すべての方にかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、定期的
に利用したいと思う教育、保育サービスをお答えください。(〇はいくつでも)

定期的にご利用したいと思う教育・保育サービスをみると、「認定こども園または幼稚園」(71.0%)
が最も多く、次いで「認定こども園や幼稚園等での預かり保育(通常の就園時間を延長して預か
る事業)」(30.8%)、「保育所」(25.0%)となっています。

前回調査より、「認定こども園または幼稚園」が21.1ポイント増加しています。

図 定期的な教育・保育サービスの利用希望

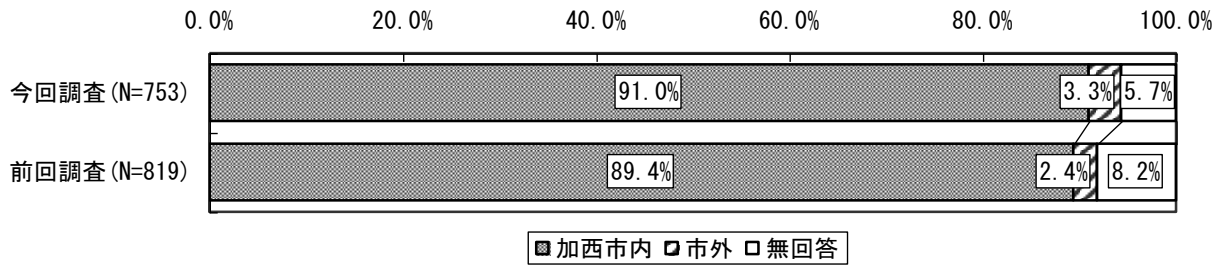


【定期的な教育・保育サービスを利用したい場所】

問23-1 上記の教育・保育サービスを利用したい場所はどこですか。市外の場合は市町名もご記入ください。(〇は1つ)

定期的に教育・保育サービスを利用したい場所をみると、「加西市内」は91.0%、「市外」は3.3%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 定期的な教育・保育サービスを利用したい場所



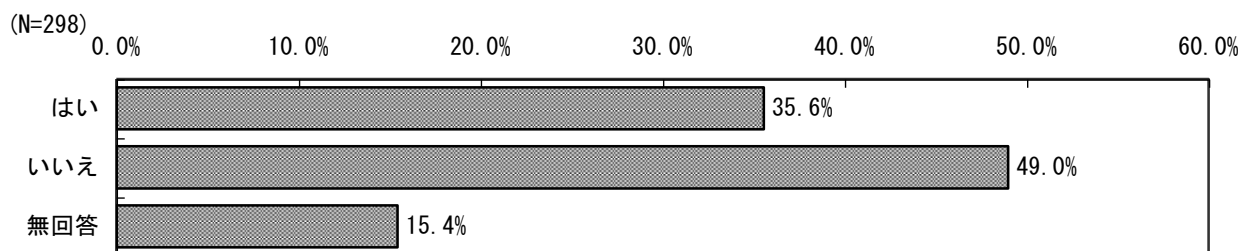
【教育の利用希望】

問23-2 問23で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～11にも○をつけた方にうかがいます。
保育利用よりもどちらかと言えば教育利用の方を強く希望しますか。(○は1つ)

「幼稚園」または「認定こども園や幼児園等での預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業）」の利用希望があり、かつそれ以外の教育・保育サービスの利用もある人について、教育利用の強い希望の有無をみると、「はい」は35.6%、「いいえ」は49.0%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 教育の利用希望



⑥子育て支援サービスの利用状況について

【「子育てひろば」等の利用状況】

問24 お子さんは、現在、「子育てひろば」（ぜんぼうキッズ、ほくぶキッズ、いちごくらぶ、愛の光キッズ等）の施設を利用していますか。利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数をご記入ください。

【利用状況】

「子育てひろば」（ぜんぼうキッズ、ほくぶキッズ、いちごくらぶ、愛の光キッズ等）の利用状況を見ると、「利用していない」（78.2%）が最も多く、次いで「子育てひろば（ぜんぼうキッズ、ほくぶキッズ、いちごくらぶ、愛の光キッズ等）を利用している」（15.7%）、「その他市内で行われている類似のサービスを利用（例：子育てサークルの広場など）」（6.4%）となっています。

前回調査より、「利用していない」が7ポイント増加しています。

【利用頻度】

「子育てひろば（ぜんぼうキッズ、ほくぶキッズ、いちごくらぶ、愛の光キッズ等）を利用している」と回答した人について週あたり利用日数をみると、「1日」（24.6%）が最も多く、次いで「3日」（11.0%）、「2日」（10.2%）となっています。1か月あたりの利用日数をみると、「1日」（19.5%）が最も多く、次いで「7日以上」（12.7%）、「3日」（11.9%）となっています。

「その他市内で行われている類似のサービスを利用（例：子育てサークルの広場など）」と回答した人について週あたり利用日数をみると、「1日」（50.0%）が最も多くなっています。1か月あたりの利用日数をみると、「1日」（25.0%）が最も多く、次いで「3日」及び「4日」（共に16.7%）となっています。

図 「子育てひろば」等の利用状況

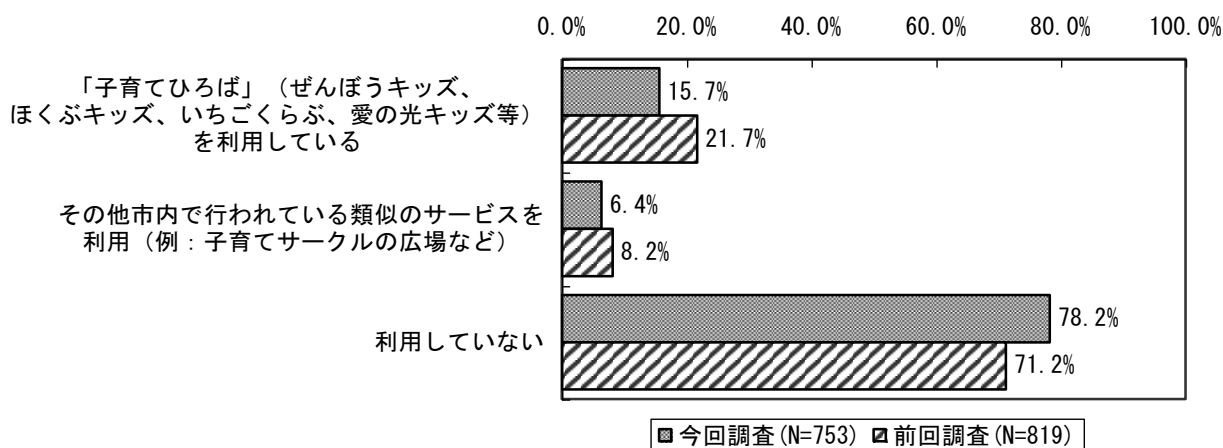


図 「子育てひろば」の1週あたり利用日数

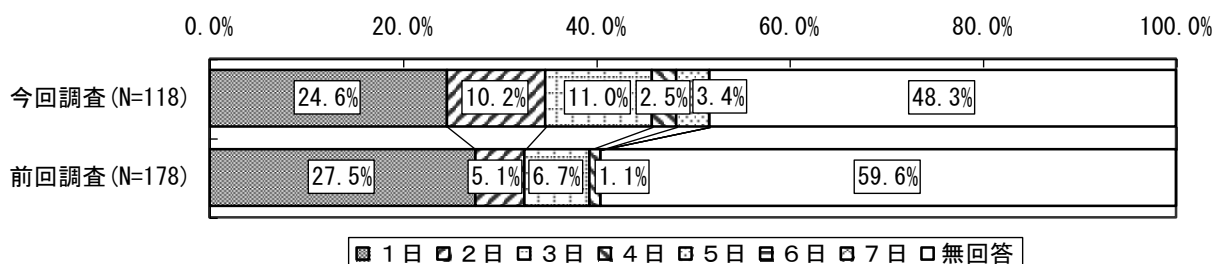


図 「子育てひろば」の1月あたり利用日数

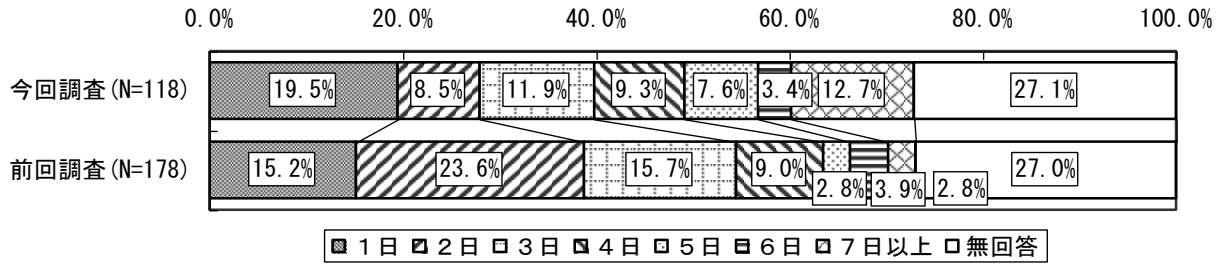


図 その他類似サービスの1週あたり利用日数

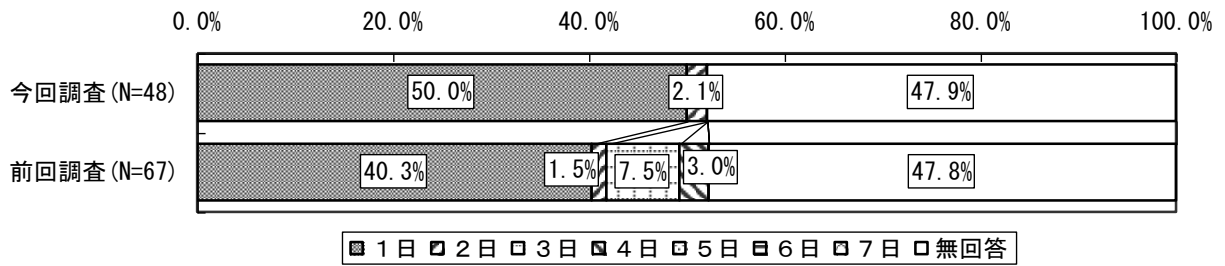
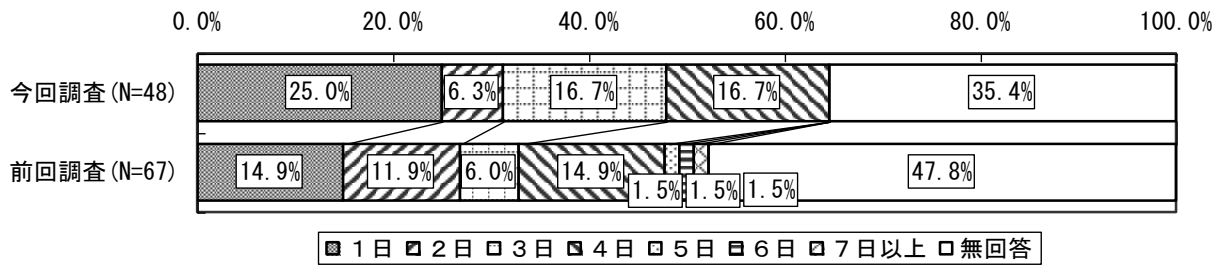


図 その他類似サービスの1月あたり利用日数



【「子育てひろば」等の今後の利用意向】

問25 問24のような施設について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、おおよその利用回数をご記入ください。(〇は1つ)

【利用意向】

「子育てひろば」のような施設の今後の利用意向をみると、「新たに利用したり、日数を増やしたいとは思わない」(68.9%)が最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」(14.9%)、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」(9.2%)となっています。

前回調査より「新たに利用したり、日数を増やしたいとは思わない」が13.3ポイント増加しています。

【利用頻度】

「利用していないが、今後利用したい」と回答した人について週あたり利用日数をみると、「1日」(51.8%)が最も多く、次いで「2日」(11.6%)となっています。1か月あたりの利用日数をみると、「1日」(21.4%)が最も多く、次いで「4日」(15.2%)、「2日」(14.3%)となっています。

すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人について週あたり利用日数をみると、「1日」(33.3%)が最も多く、次いで「2日」(18.8%)となっています。1か月あたりの利用日数をみると、「2日」(17.4%)が最も多く、次いで「3日」及び「7日以上」(共に10.1%)となっています。

図 「子育てひろば」等の今後の利用意向

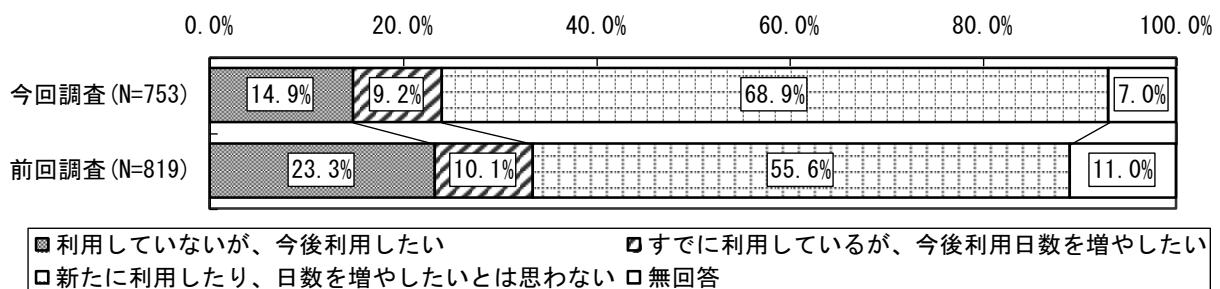


図 「子育てひろば」等の新規の希望利用日数（1週あたり）

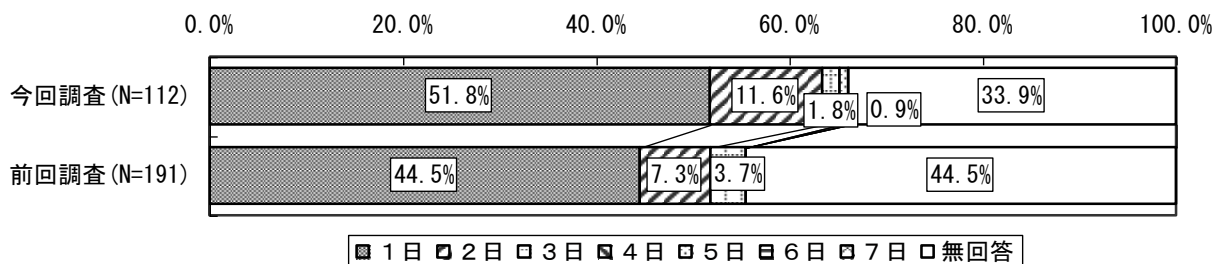


図 「子育てひろば」等の新規の希望利用日数（1月あたり）

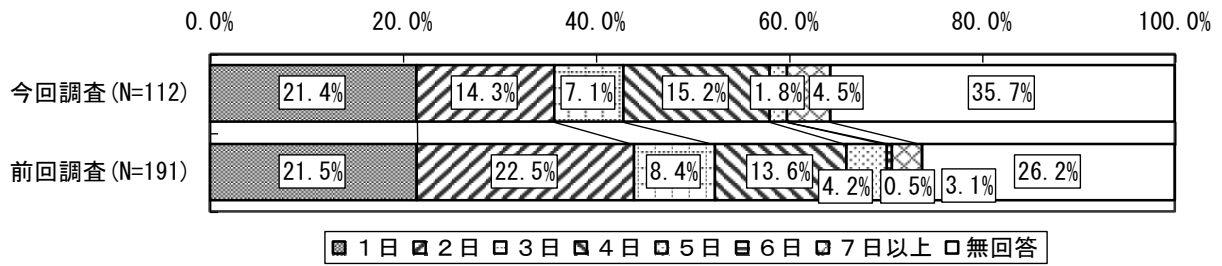


図 「子育てひろば」等の追加の希望利用日数（1週あたり）

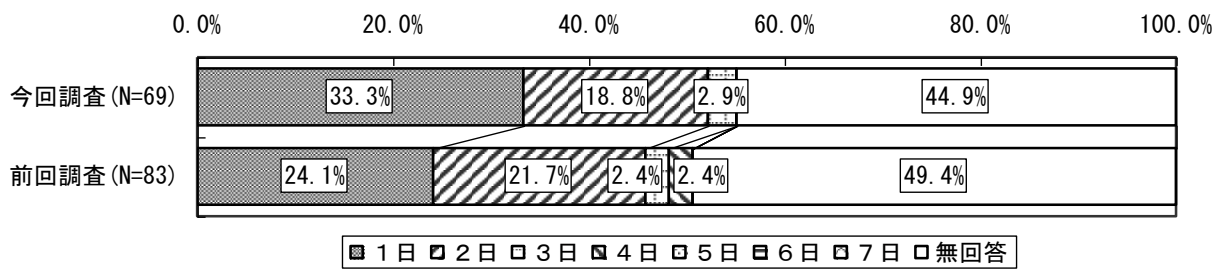
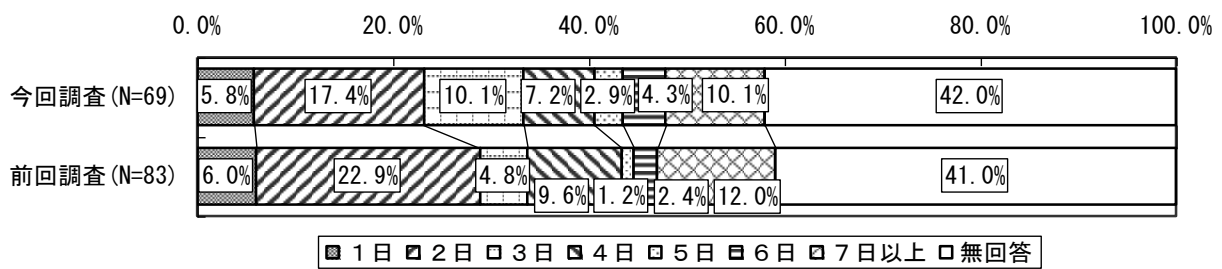


図 「子育てひろば」等の追加の希望利用日数（1月あたり）



⑥土曜日、休日、長期休暇中の教育・保育サービスの利用状況について

【土・日・祝日に継続して利用したい子育てサービス】

問26 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、継続して利用したい子育てサービスはありますか。（一時的な利用は除きます。）また、利用されたい時間帯を口で数字でご記入ください。

【土曜日の利用意向】

土曜日に継続して利用したい子育てサービスの有無をみると、「利用する必要はない」（59.2%）が最も多く、次いで「毎月1～2回は利用したい」（29.2%）、「ほぼ毎週利用したい」（8.4%）となっています。

前回調査より、「毎月1～2回は利用したい」が7.8ポイント増加しています。

【土曜日の希望の利用開始時間】

土曜日に継続して利用したい子育てサービスがある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時台」（40.6%）が最も多く、次いで「9時台」（31.4%）、「7時台」（10.2%）となっています。

前回調査より、「8時台」が5ポイント増加、「9時台」が6.9ポイント減少しています。

【土曜日の希望の利用終了時間】

土曜日に継続して利用したい子育てサービスがある人について、希望の利用終了時間をみると、「18時台」（25.4%）が最も多く、次いで「17時台」（19.1%）、「16時台」（18.0%）となっています。

前回調査より、「13時前」が5.7ポイント減少していますが、その他の時間帯は概ね同様の傾向が表れています。

図 土曜日の子育てサービスの利用意向

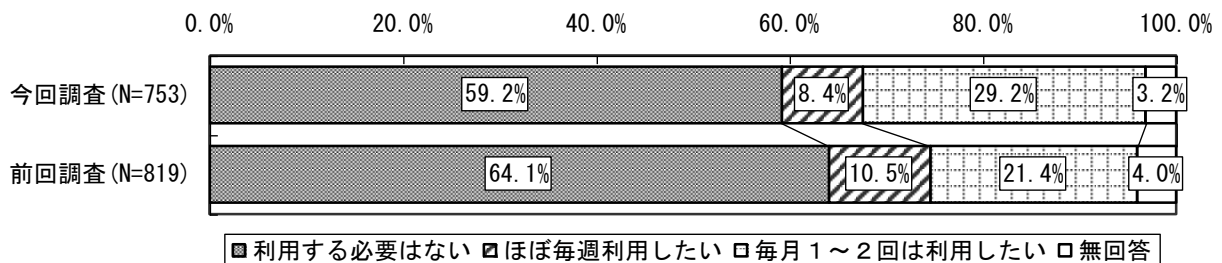


図 土曜日の子育てサービスの希望の利用開始時間

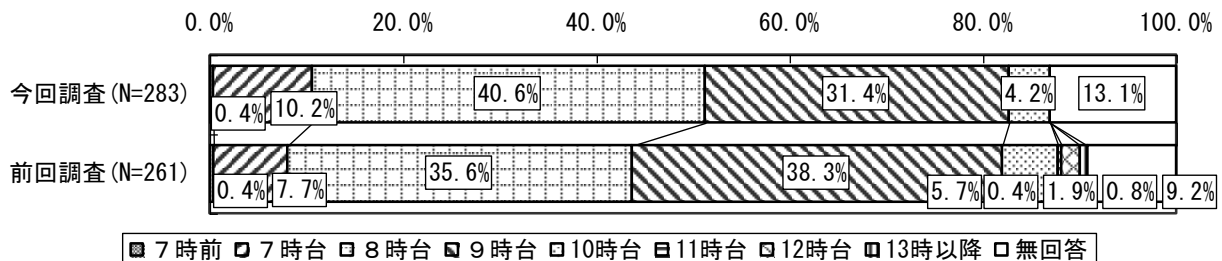
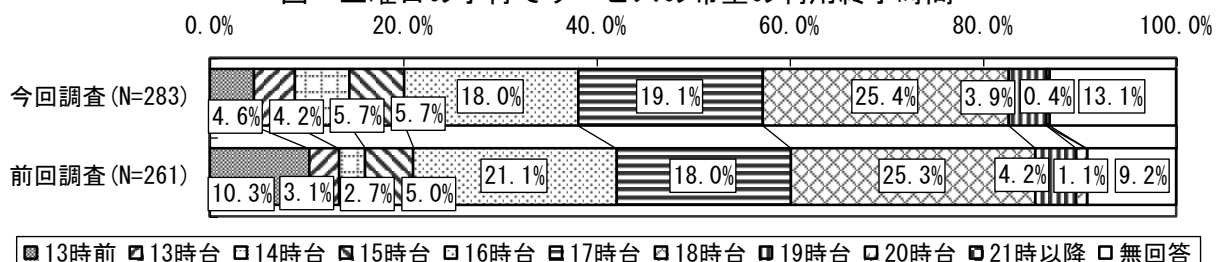


図 土曜日の子育てサービスの希望の利用終了時間



【日曜日・祝日の利用意向】

日曜日・祝日に継続して利用したい子育てサービスの有無をみると、「利用する必要はない」(68.9%) が最も多く、次いで「毎月1～2回は利用したい」(17.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.5%) となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【日曜日・祝日の希望の利用開始時間】

日曜日・祝日に継続して利用したい子育てサービスがある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時台」(34.3%) が最も多く、次いで「9時台」(32.1%)、「7時台」(10.0%) となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【日曜日・祝日の希望の利用終了時間】

日曜日・祝日に継続して利用したい子育てサービスがある人について、希望の利用終了時間をみると、「18時台」(26.4%) が最も多く、次いで「17時台」(17.1%)、「16時台」(16.4%) となっています。

前回調査より、「13時前」が8ポイント減少し、「15時台」が5.4ポイント増加していますが、その他の時間帯は概ね同様の傾向が表れています。

図 日曜日の子育てサービスの利用意向

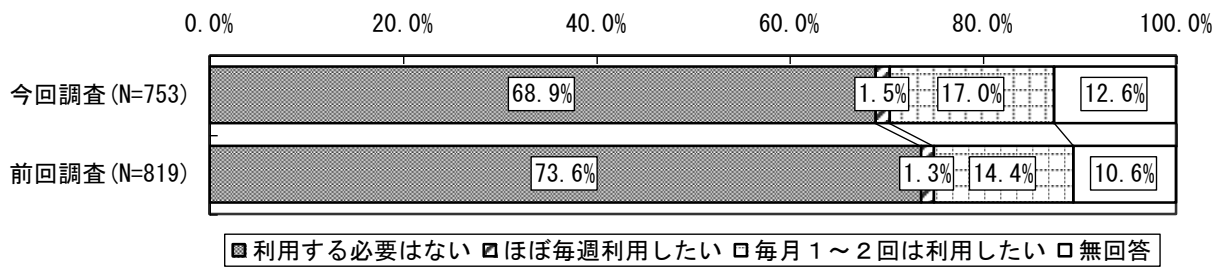


図 日曜日の子育てサービスの希望の利用開始時間

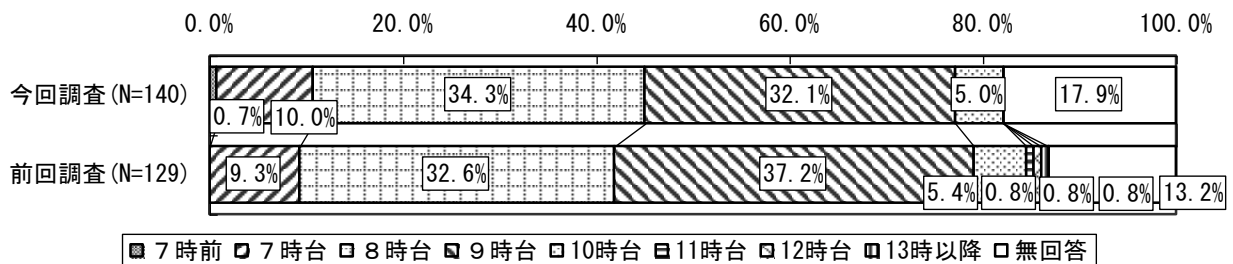
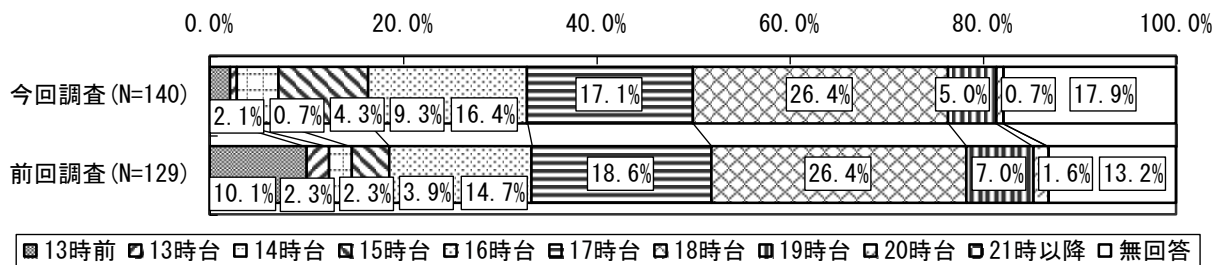


図 日曜日の子育てサービスの希望の利用終了時間

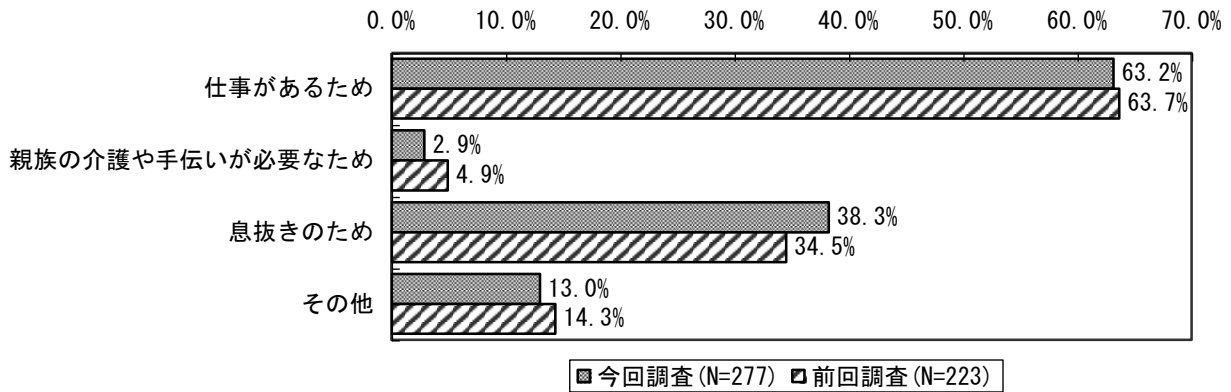


【土・日・祝日にたまに子育てサービスを利用したい理由】

問26-1 問26で、「3」に○をつけた方にお聞きします。毎週でなく、たまに利用したい理由は
何ですか。(○はいくつでも)

問 26 で子育てサービスを「毎月 1～2回は利用したい」と回答した人の理由をみると、「仕事があるため」(63.2%) が最も多く、次いで「息抜きのため」(38.3%) となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 土・日・祝日にたまに子育てサービスを利用したい理由



【長期休暇期間中の教育・保育の利用希望】

問27 【教育を利用している人】夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を口に数字でご記入ください。(〇は1つ)

【長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望】

現在、教育を利用している人について、長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望をみると、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(19.3%)が最も多く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」(12.8%)、「利用する必要はない」(11.2%)となっています。

※前回調査は幼稚園の利用者を集計対象としていましたが、今回は「幼稚園」、「認定こども園」、「幼児園」の利用者を集計対象としたため、前回調査の比較コメントはありません。

【長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望時間】

長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望がある人について、希望の利用開始時間をみると、「8時台」(50.4%)が最も多く、次いで「9時台」(37.4%)となっています。また、利用終了時間をみると、「16時台」(31.7%)が最も多く、次いで「18時台」(27.6%)、「17時台」(20.3%)となっています。

図 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望

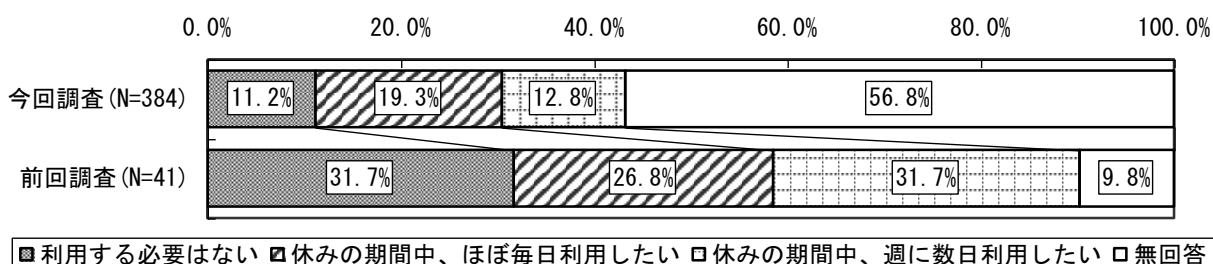


図 長期休暇期間中の教育・保育事業の希望の利用開始時間

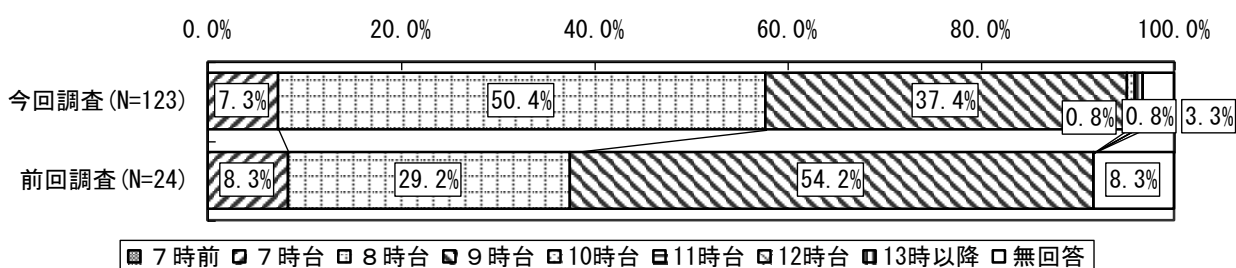
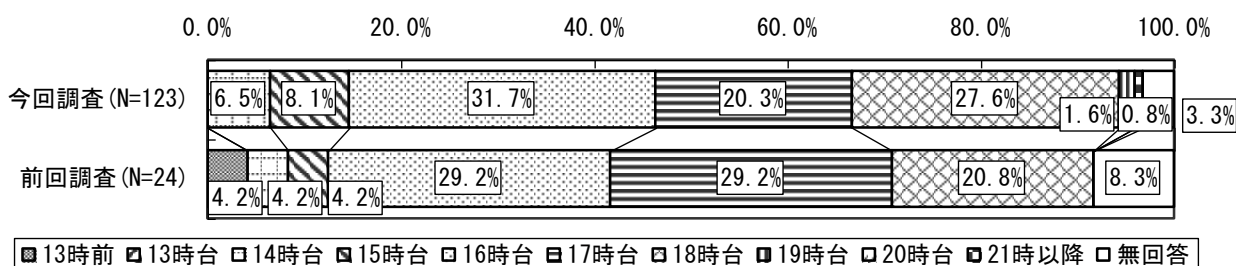


図 長期休暇期間中の教育・保育事業の希望の利用終了時間



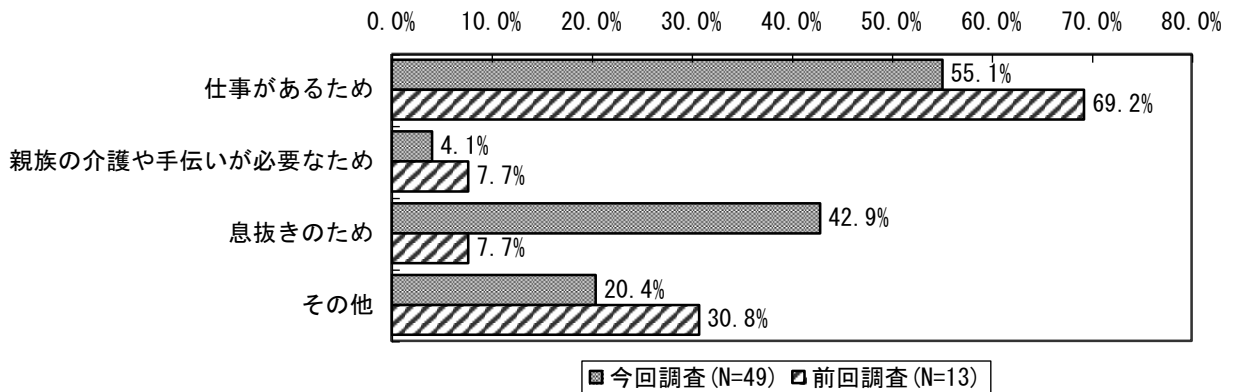
【長期休暇期間中、たまに教育・保育を利用したい理由】

問27-1 問27で、「3」に○をつけた方にお聞きします。毎日ではなく、週に数日利用したい理由は何ですか。(○はいくつでも)

長期休暇期間中の教育・保育事業を「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した人について、その理由をみると、「仕事があるため」(55.1%)が最も多く、次いで「息抜きのため」(42.9%)となっています。

※問27により、前回調査と集計対象が異なるため、前回調査との比較コメントはありません。

図 長期休暇期間中、たまに教育・保育を利用したい理由



⑦子どもが病気の際の対応について

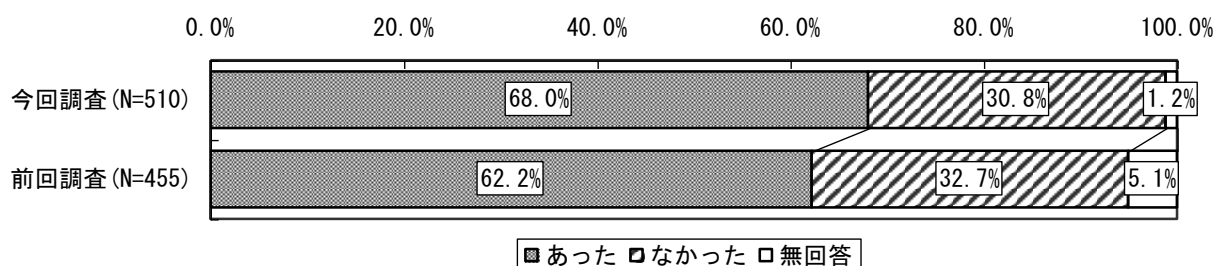
【子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった経験】

問28 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかったことはありますか。(〇は1つ)

平日に幼稚園や保育所等の施設を利用している人について、この1年間に子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった経験の有無をみると、「あった」が68.0%、「なかった」が30.8%となっています。

前回調査より、「あった」が5.8ポイント増加しています。

図 子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった経験



【子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった際の対処方法】

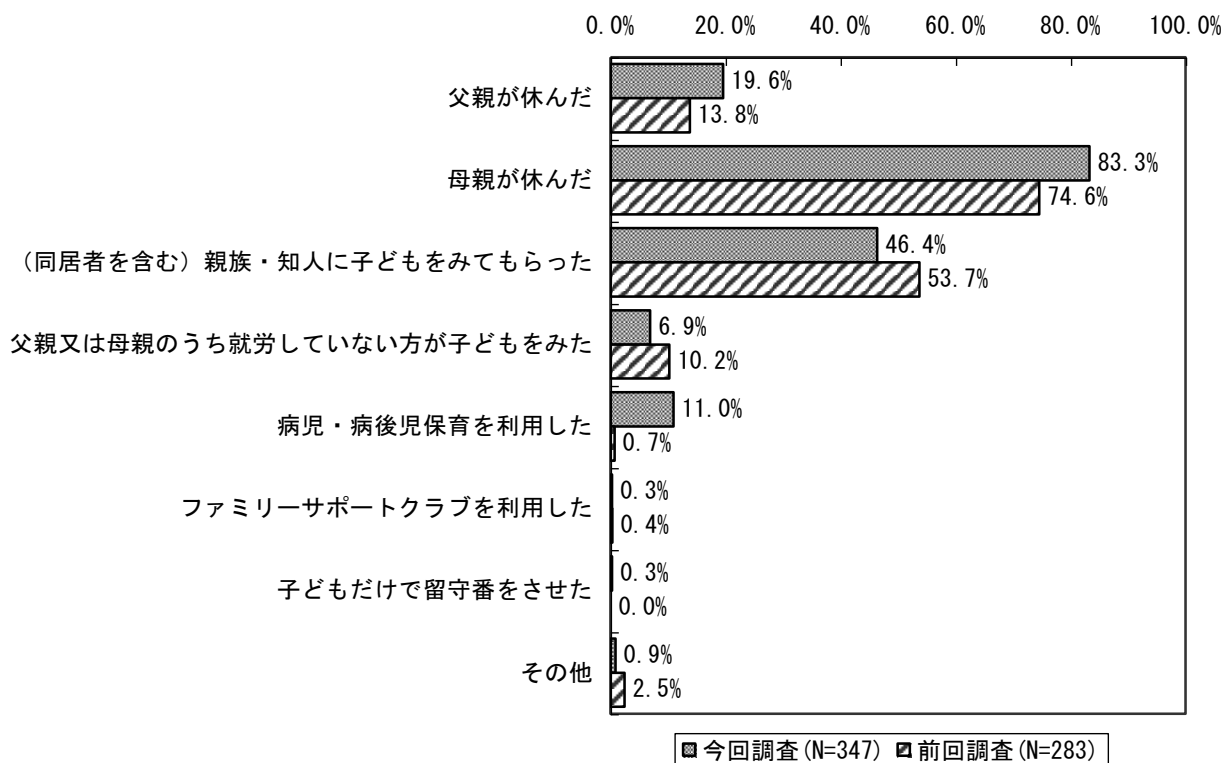
問28-1 【平日に幼稚園や保育所等の施設を利用している人】宛名のお子さんが病気やケガで、認定こども園や保育所、幼児園等を休んだとき、どうされましたか。この1年間の対処方法をお答えください。(〇はいくつでも)

【子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった際の対処方法】

この1年間に子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった経験があった人について、その際の対処方法をみると、「母親が休んだ」(83.3%)が最も多く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(46.4%)、「父親が休んだ」(19.6%)となっています。

前回調査より、「父親が休んだ」は5.8ポイント、「母親が休んだ」は8.7ポイント、「病児・病後児保育を利用した」は10.3ポイント増加しています。

図 子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった際の対処方法



【子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった際の対処に要した日数】

父親が休んだ場合の日数をみると、「2～3日」(43.3%)が最も多く、次いで「1日」(32.8%)となっています。

母親が休んだ場合の日数をみると、「2～3日」(28.4%)が最も多く、次いで「4～5日」(19.4%)、「10～19日」(15.9%)となっています。

親族・知人にみてもらった日数をみると、「2～3日」(36.0%)が最も多く、次いで「4～5日」(17.4%)、「1日」及び「10～19日」(共に12.4%)となっています。

父親又は母親のうち就労していないほうがみた日数をみると、「2～3日」(37.5%)が最も多く、次いで「1日」(25.0%)、「10～19日」(12.5%)となっています。

病児・病後児保育を利用した日数をみると、「2～3日」(31.6%)が最も多く、次いで「1日」(23.7%)、「4～5日」(18.4%)となっています。

※「ファミリーサポートクラブを利用した」、「子どもだけで留守番をさせた」、「その他」は回答数が少ないためコメントを省略します。

図 父親が休んだ日数

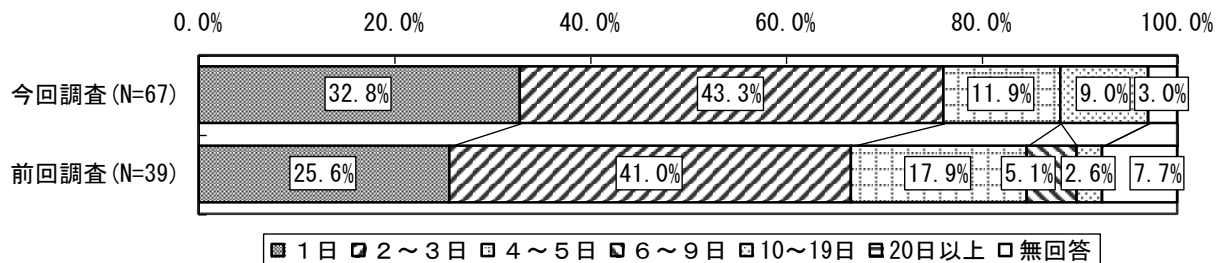


図 母親が休んだ日数

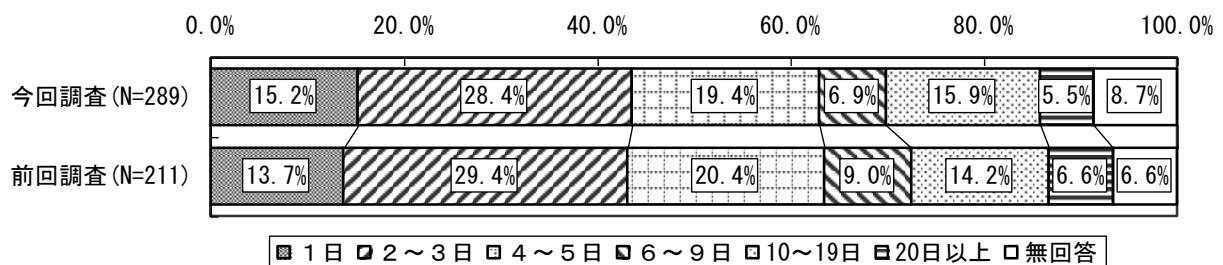


図 親族・知人に子どもをみてもらった日数

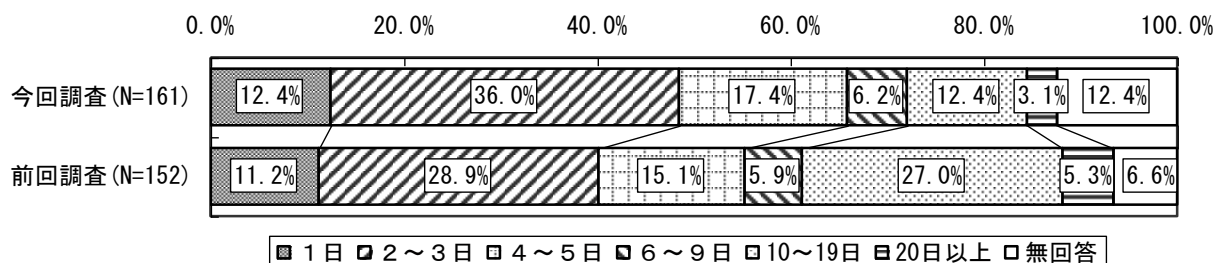


図 就労していない親が子どもをみた日数

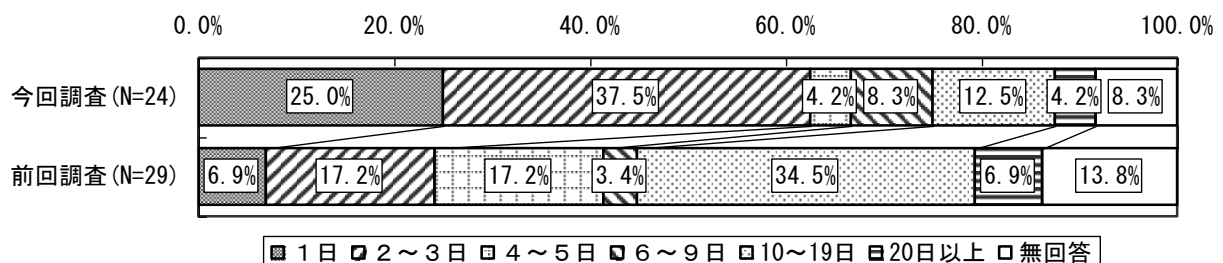


図 病児・病後児保育を利用した日数

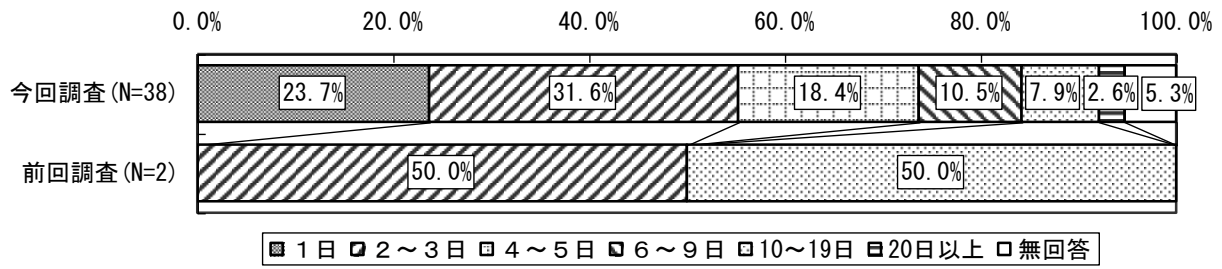


図 ファミリーサポートクラブを利用した日数

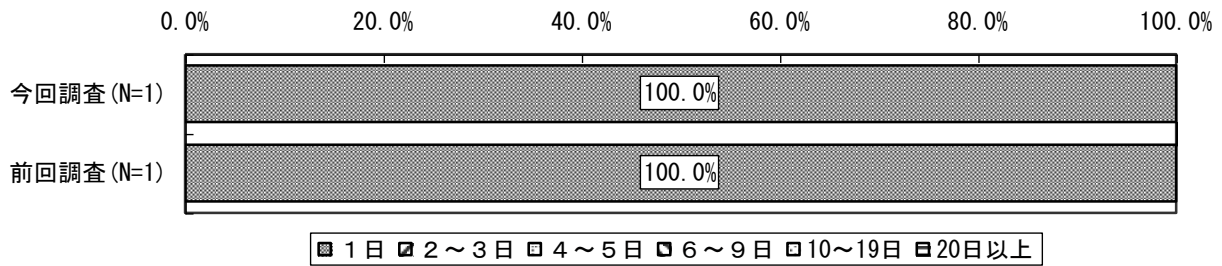


図 子供だけで留守番をさせた日数

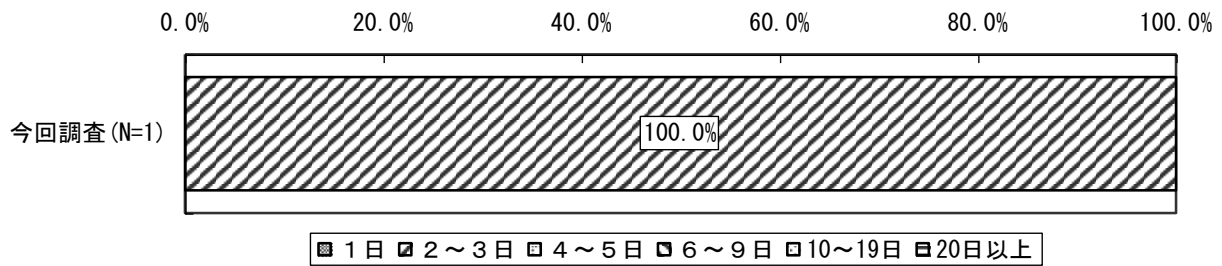
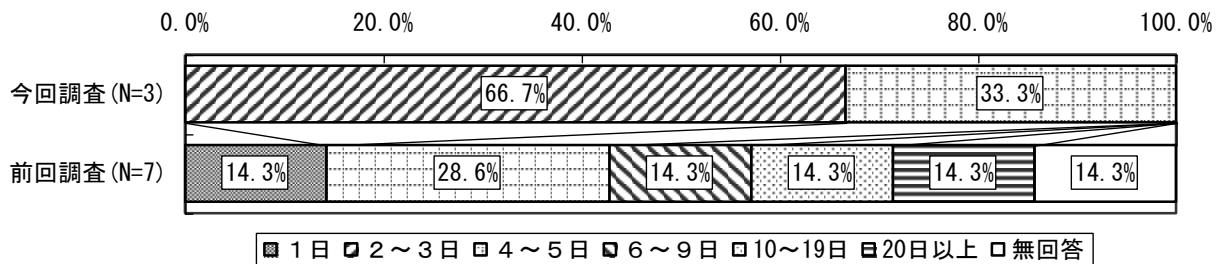


図 その他の日数



【病児・病後児保育施設等の利用希望】

問28-2 問28-1で「1」「2」のいずれかに回答した方にお聞きします。その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(〇は1つ)

【病児・病後児のための保育移設等の利用希望】

この1年間に子どもが病気やケガで通常の子育てサービスが利用できなかった際に父親又は母親が休んだ人について、病児・病後児のための保育施設等の利用希望をみると、「利用したいと思った」が35.8%、「利用したいとは思わなかった」が60.6%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【病児・病後児のための保育移設等の利用頻度】

病児・病後児のための保育移設等の利用がある人について、年間の希望の利用頻度をみると、「2～3日」(36.1%)が最も多く、次いで「4～5日」(13.9%)、「1日」(13.0%)となっています。

前回調査より、「1日」が7ポイント増加しています。

図 病児・病後児保育施設等の利用希望

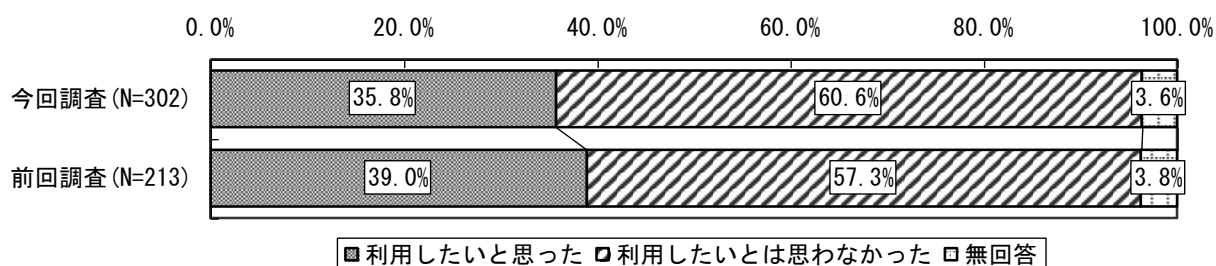
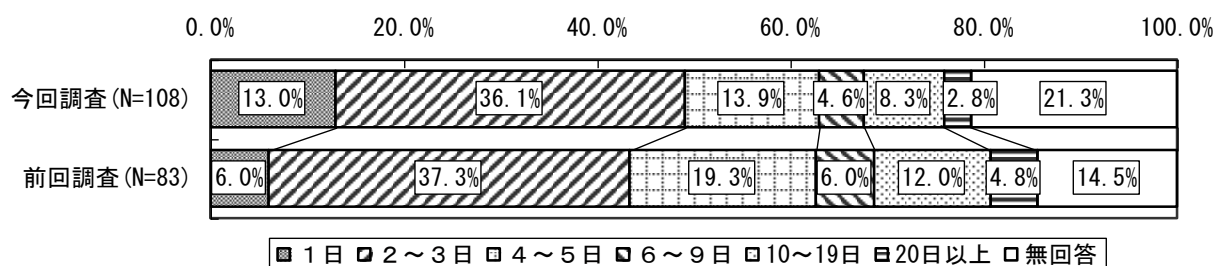


図 病児・病後児保育施設等の利用希望日数



⑧不定期の教育・保育サービスの利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

【保護者の用事で不定期的に利用しているサービス】

問29 お子さんが、認定子ども園や保育所、幼稚園への通園や病気以外に、保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、仕事など）で不定期的に利用しているサービスはありますか。（○はいくつでも）

【利用状況】

子どもが保護者の用事で不定期的に利用しているサービスをみると、「利用していない」が95.4%となっており、利用している人はわずかとなっています。利用しているサービスでは、「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」が1.7%、「ファミリーサポートクラブ（地域住民が子どもを預かる事業）」0.7%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【利用日数】

一時預かりの利用者（13件）について利用日数をみると、「20日以上」、「1日」、「2～3日」及び「10～19日」の順に多くなっています。

ファミリーサポートクラブの利用者（5件）について利用日数をみると、「2～3日」、「1日」の順に多くなっています。

図 保護者の用事で不定期的に利用しているサービス

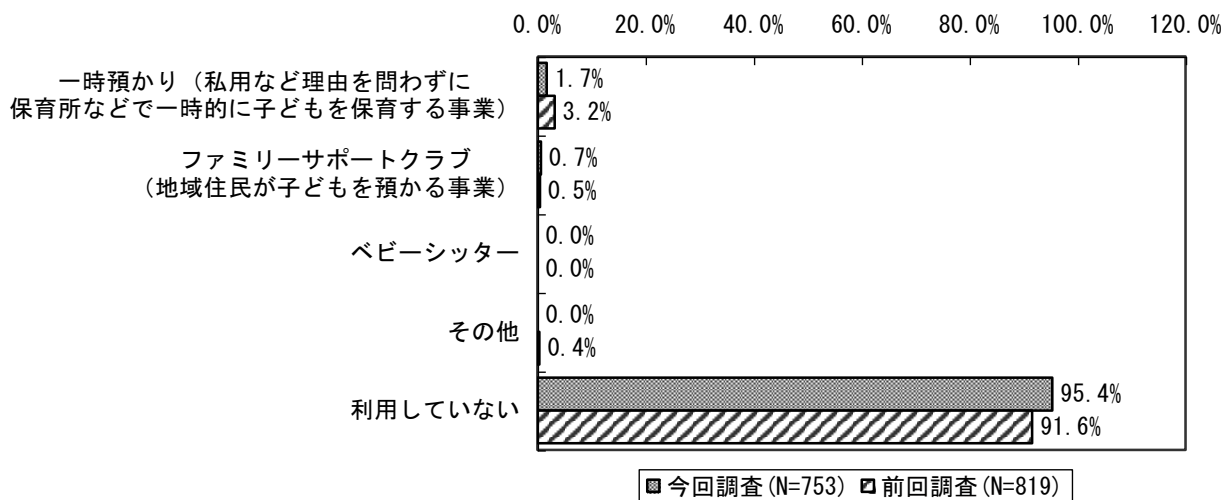


図 一時預かりの利用日数

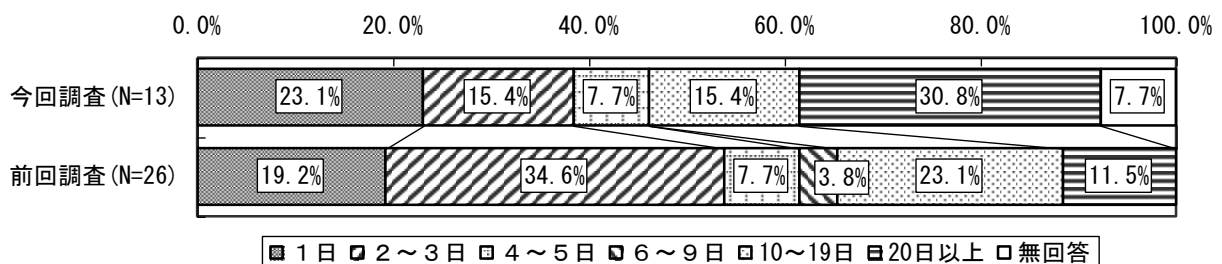
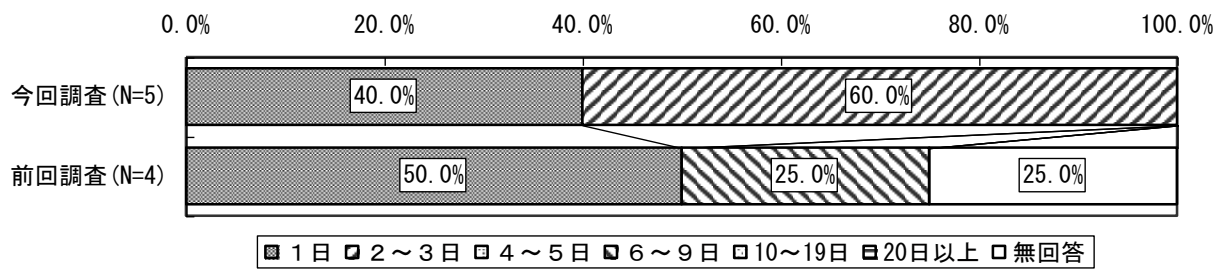


図 ファミリーサポートクラブの利用日数



【保護者の用事による子どもの一時預かり等の利用意向】

問30 保護者の用事（冠婚葬祭、家族の病気、仕事など）のため、お子さんは年間何日くらい一時預かり等のサービスを利用する必要があると思いますか。

【利用意向】

保護者の用事による子どもの一時預かり等の利用意向をみると、「利用したい」は31.6%、「利用する必要はない」は63.9%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【利用目的】

保護者の用事による子どもの一時預かりの利用意向がある人について利用目的をみると、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（75.6%）が最も多く、次いで「私用（買物、習い事等、リフレッシュ目的）」（54.2%）、「不定期の就労」（32.4%）となっています。

前回調査より、「私用（買物、習い事等、リフレッシュ目的）」が5.4ポイント、「不定期の就労」が5.2ポイント、それぞれ増加しています。

【希望利用日数】

保護者の用事による子どもの一時預かりの利用意向がある人について希望利用日数をみると、合計日数は「10～19日」（29.7%）が最も多く、次いで「20日以上」（24.2%）、「4～5日」（13.1%）となっています。前回調査では10日以上の利用希望がある人は4割未満でしたが、今回調査では5割を超えています。目的別にみると、「不定期の就労」で利用希望が増えています。

私用で利用したい人の希望利用日数をみると、「10～19日」（33.3%）が最も多く、次いで「4～5日」（20.2%）、「2～3日」（17.8%）となっています。

冠婚葬祭等で利用したい人の希望利用日数をみると、「4～5日」（26.7%）が最も多く、次いで「2～3日」（22.7%）、「10～19日」（19.9%）となっています。

不定期の就労で利用したい人の希望利用日数をみると、「10～19日」（28.6%）が最も多く、次いで「20日以上」（19.5%）、「2～3日」及び「4～5日」（共に18.2%）となっています。

※回答数が20件未満の項目は、コメントを省略します。

図 保護者の用事による子どもの一時預かり等の利用意向

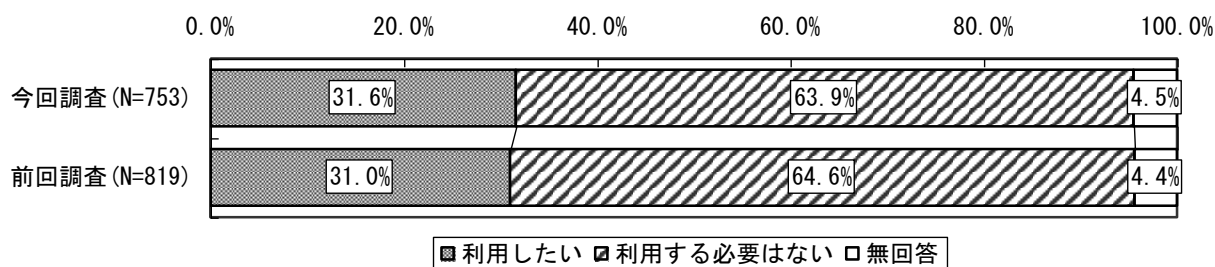


図 保護者の用事による子どもの一時預かり等の利用目的

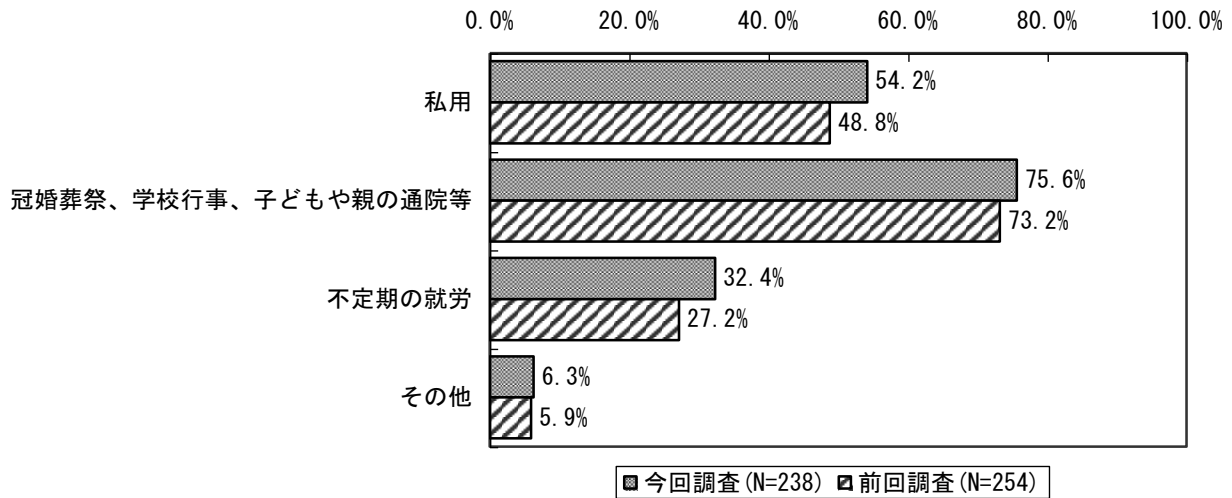


図 保護者の用事による子どもの一時預かり等の利用希望

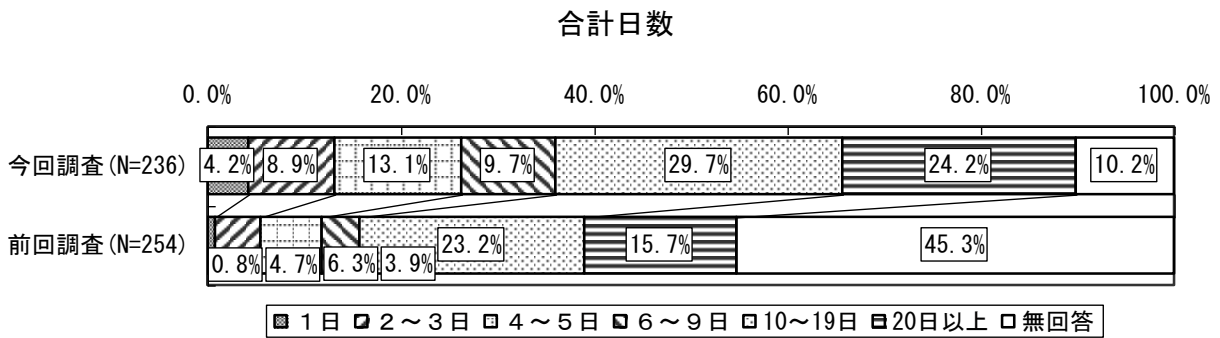


図 私用での一時預かり等の利用希望日数

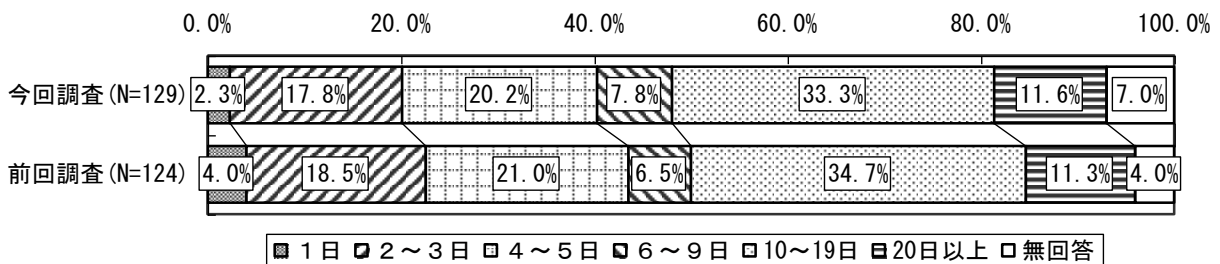


図 冠婚葬祭等での一時預かり等の利用希望日数

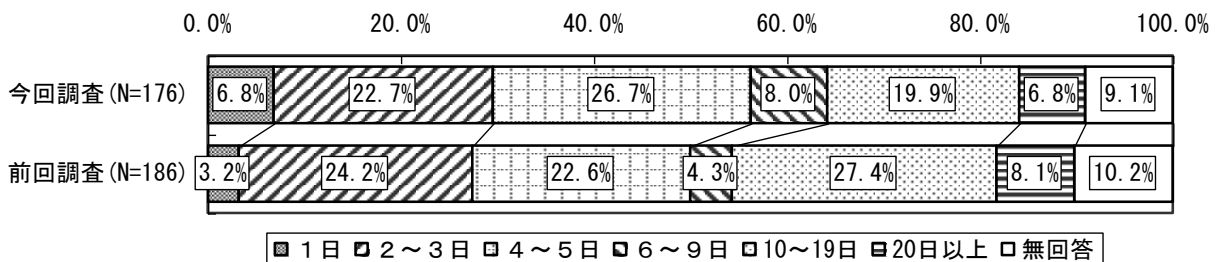


図 不定期の就労での一時預かり等の利用希望日数

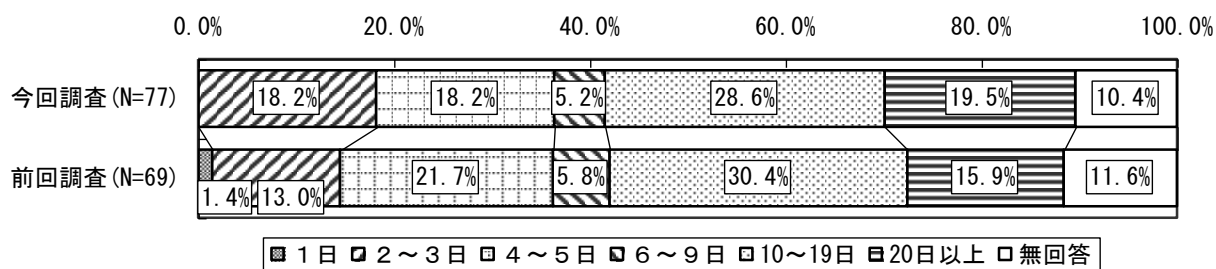
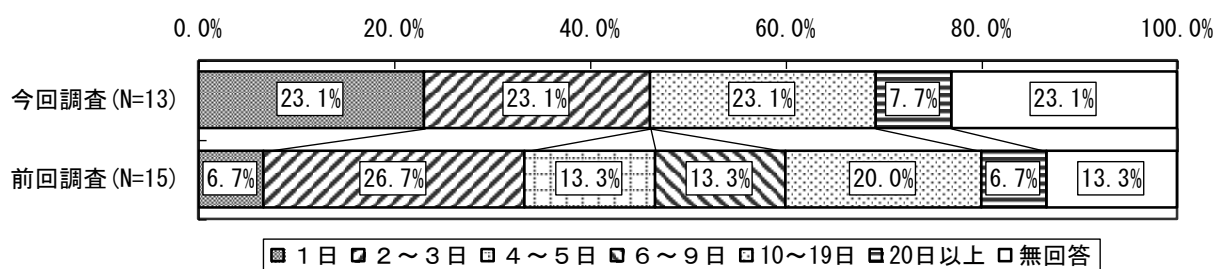


図 その他の目的での一時預かり等の利用希望日数



【家族以外による宿泊を伴う子どもの預かり状況】

問31 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）

【家族以外による宿泊を伴う子どもの預かり状況】

この1年間に子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験の有無をみると、「あった」は17.3%、「なかった」は80.6%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【家族以外による宿泊を伴う子どもの預かりの対処方法】

家族以外による宿泊を伴う子どもの預かりがあった人について、その際の対処方法をみると、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」(84.6%)が最も多く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」(17.7%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【家族以外による宿泊を伴う子どもの預かりの日数】

親族・知人にみてもらった人について、その日数をみると、「1日」(29.1%)が最も多く、次いで「2～3日」(28.2%)、「4～5日」及び「10～19日」(共に10.9%)となっており、前回調査と比較すると、「1日」が10ポイント減少、「2～3日」が9.1ポイント増加しています。

仕方なく子どもを同行させた人について、その日数をみると、「2～3日」(40.9%)が最も多く、次いで「1日」(22.7%)となっています。

※短期入所生活援助事業<ショートステイ>を利用した人（1件）の利用日数は無回答。

※回答数が20件未満の項目は、コメントを省略します。

図家族以外による宿泊を伴う子どもの預かり状況

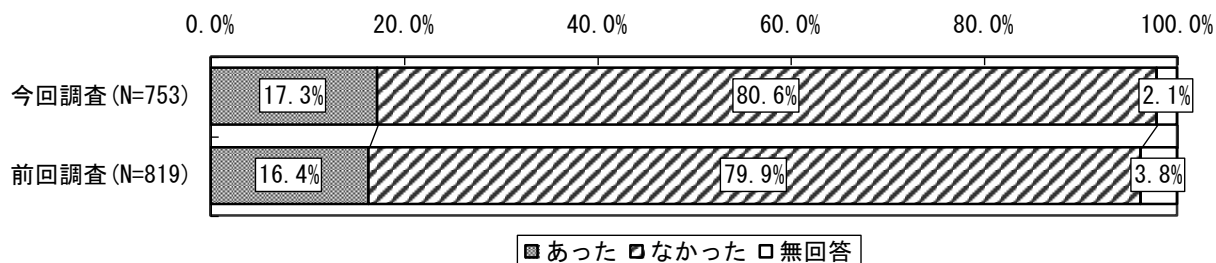


図 家族以外による宿泊を伴う子どもの預かりの対処方法

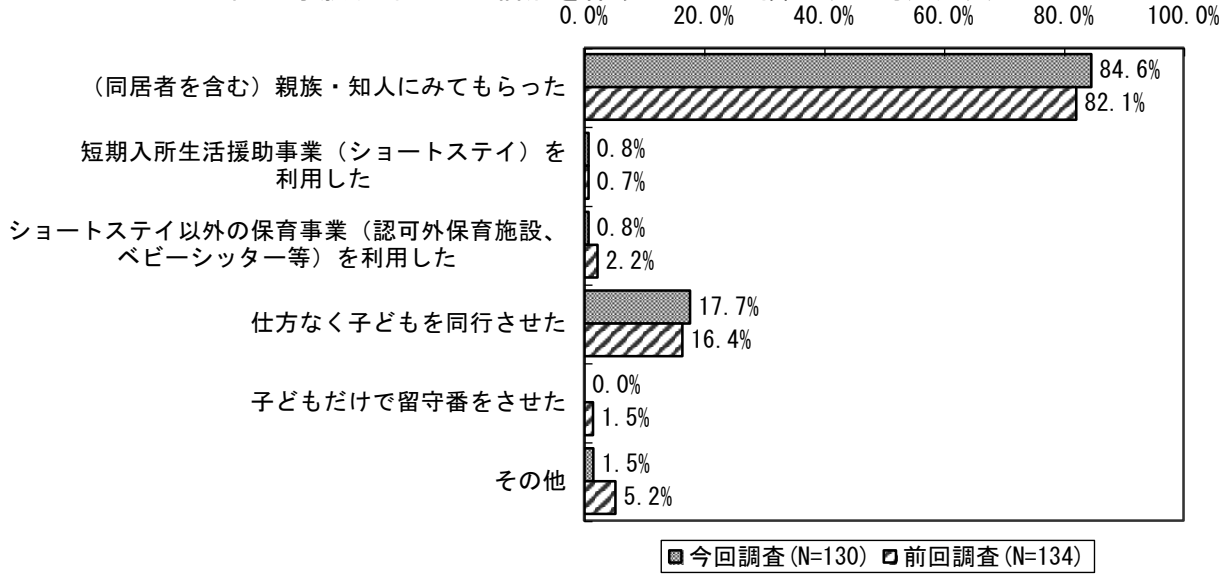


図 親族・知人にみてもらった日数

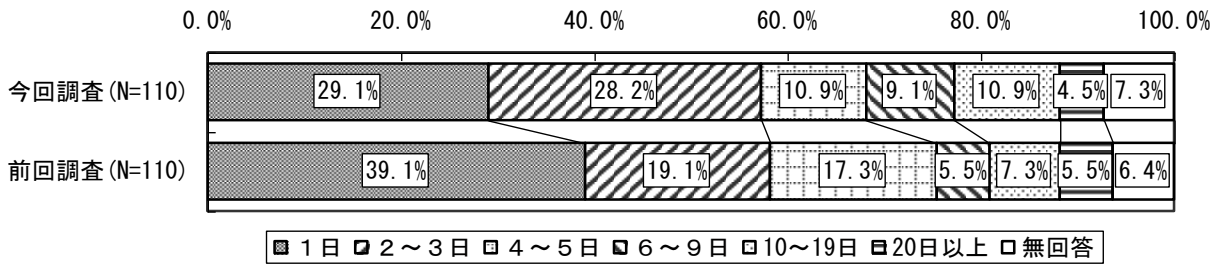


図 短期入所生活援助事業<ショートステイ>以外の保育事業を利用した日数

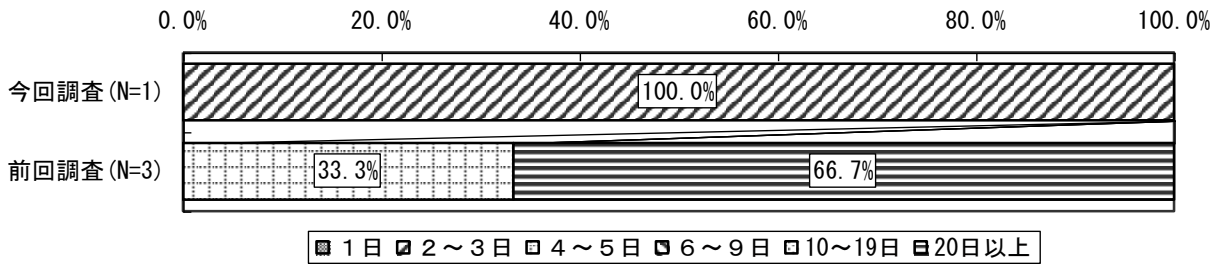


図 仕方なく子どもを同行させた日数

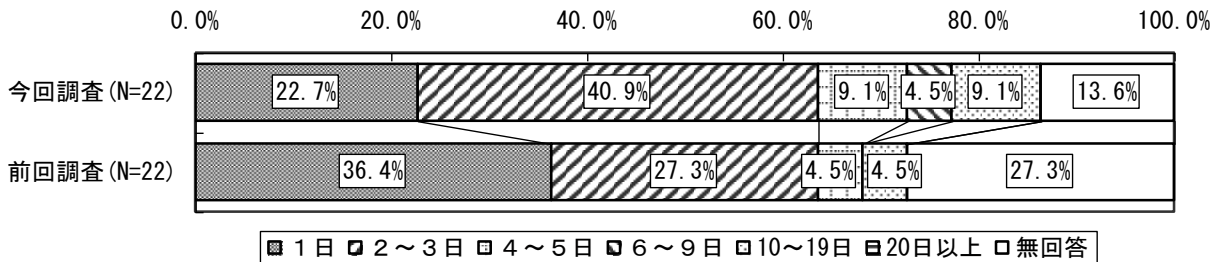
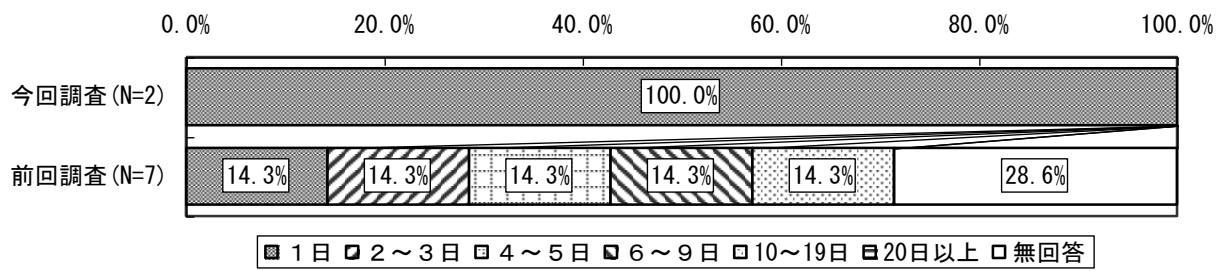


図 その他の対処方法をした日数



⑨小学校就学後の放課後の過ごし方について

【小学校低学年の放課後の過ごし方】

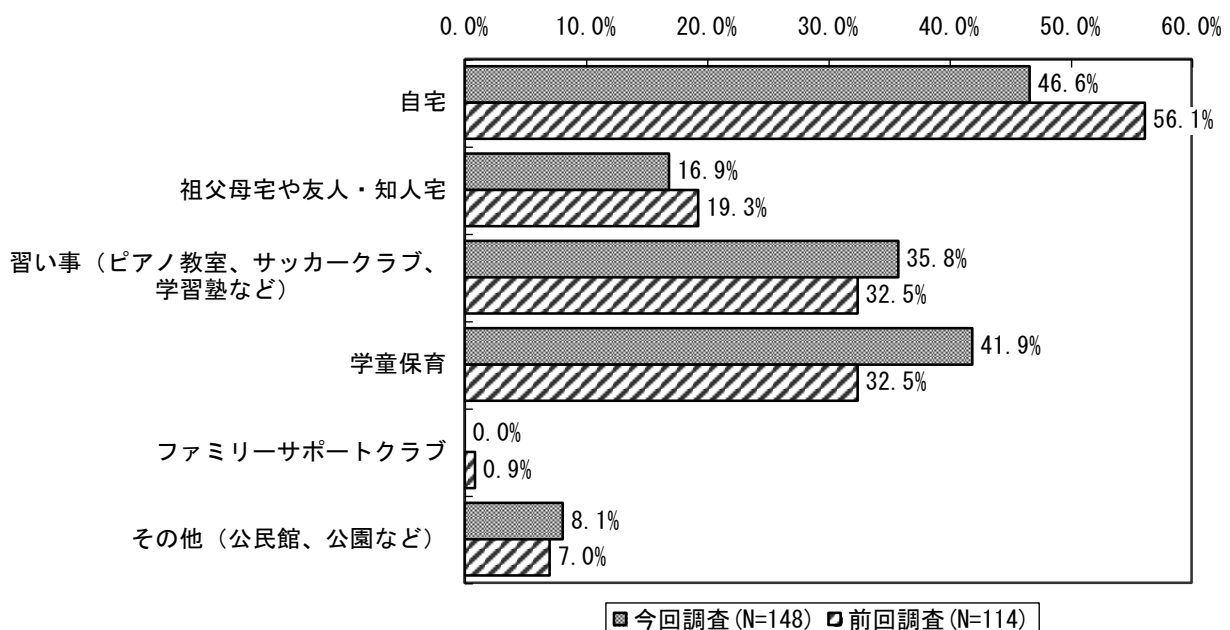
問32 【5歳以上】お子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

【小学校低学年の放課後の希望の過ごし方】

5歳以上の子どもについて、小学校低学年（1～3年生）のうちの放課後の希望の過ごし方をみると、「自宅」（46.6%）が最も多く、次いで「学童保育」（41.9%）、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（35.8%）となっています。

前回調査より、「学童保育」は9.4ポイント増加し、「自宅」は9.5ポイント減少しています。

図 小学校低学年の放課後の過ごし方の希望



【小学校低学年の放課後の希望の過ごし方の日数】

自宅で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「5日」（29.0%）が最も多く、次いで「3日」（18.8%）、「2日」（15.9%）となっています。

祖父母宅や友人・知人宅で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「1日」（36.0%）が最も多く、次いで「2日」及び「5日」（20.0%）、「3日」（12.0%）となっています。

習い事で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「2日」（49.1%）が最も多く、次いで「1日」（30.2%）、「3日」（11.3%）となっています。

学童保育で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「5日」（58.1%）が最も多くなっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時以降」（54.8%）が最も多く、次いで「17時台」（32.3%）となっています。

前回調査について、学童保育の結果を比較すると、希望日数は2日以下が10.3ポイント増加し、「5日」は12.2ポイント減少しています。また、希望の利用終了時間をみると「17時台」は10.7ポイント増加し、「18時以降」は12.8ポイント減少しています。

※回答数が20件未満の項目は、コメントを省略します。

図 自宅で過ごさせたい日数

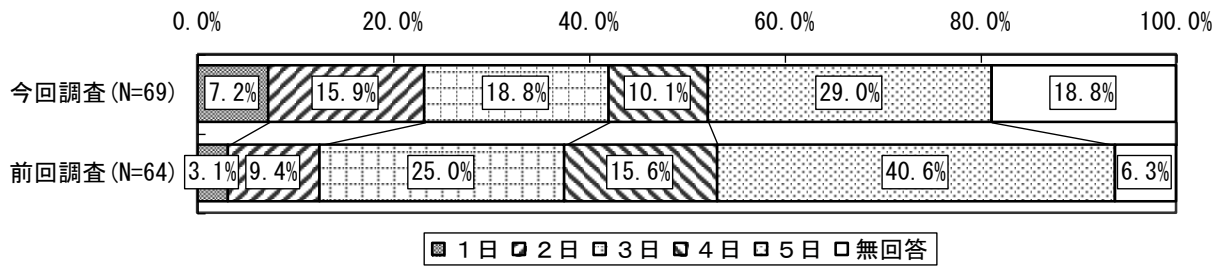


図 祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数

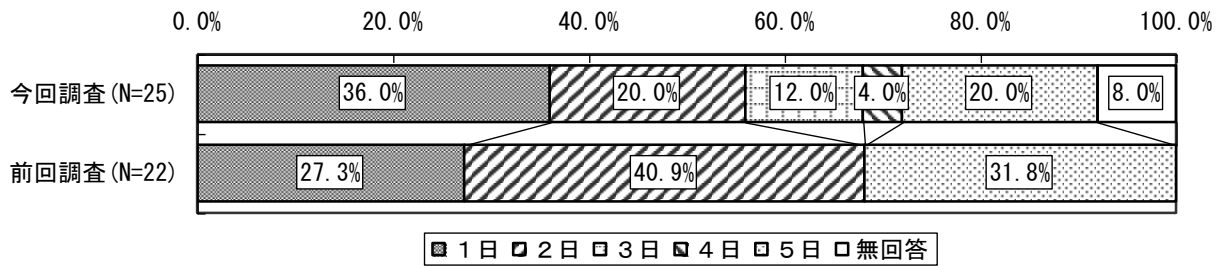


図 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごさせたい日数

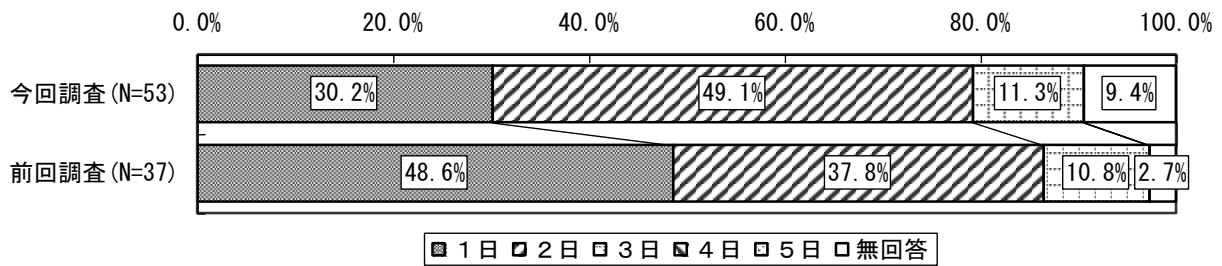


図 学童保育で過ごさせたい日数

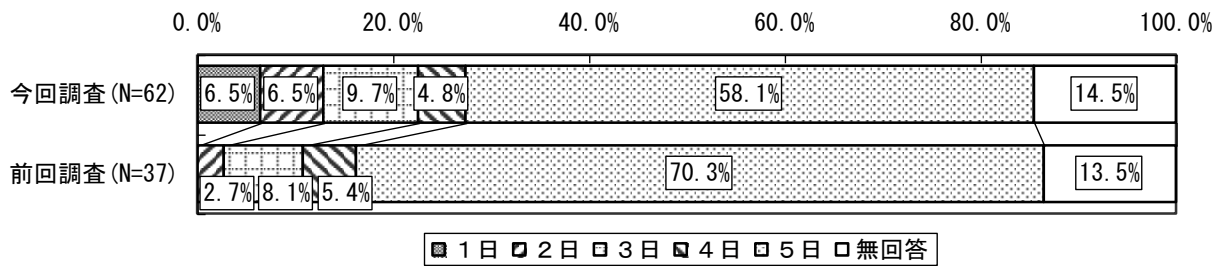


図 学童保育で過ごさせたい
希望の学童保育終了時間

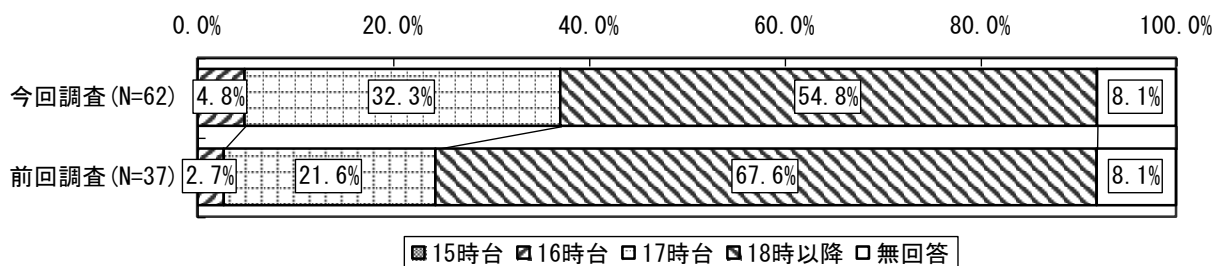
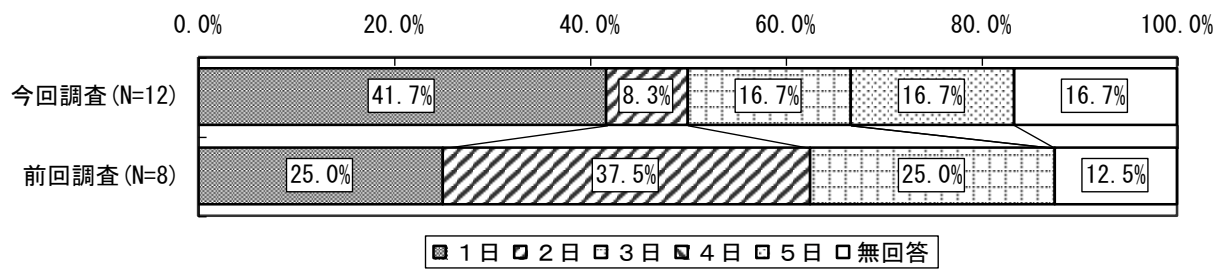


図 その他（公民館、公園など）の場所で過ごさせたい日数



【小学校高学年の放課後の過ごし方】

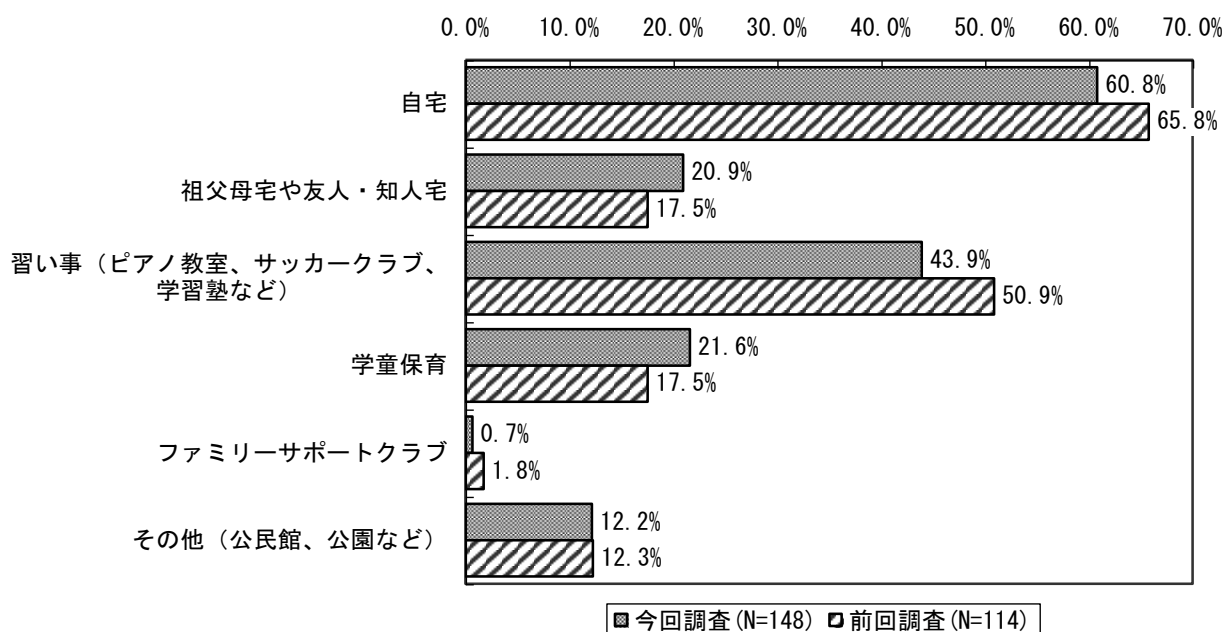
問33 【5歳以上】お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（〇はいくつでも）

【小学校高学年の放課後の希望の過ごし方】

5歳以上の子どもについて、小学校低学年（4～6年生）のうちの放課後の希望の過ごし方をみると、「自宅」（60.8%）が最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（43.9%）、「学童保育」（21.6%）となっています。

前回調査より、「学童保育」が4.1ポイント増加しています。

図 小学校高学年の放課後の過ごし方の希望



【小学校高学年の放課後の希望の過ごし方の日数】

自宅で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「5日」（37.8%）が最も多く、次いで「3日」（23.3%）、「2日」（12.2%）となっています。

祖父母宅や友人・知人宅で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「1日」（38.7%）が最も多く、次いで「5日」（25.8%）、「2日」（16.1%）となっています。

習い事で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「2日」（40.0%）が最も多く、次いで「1日」（26.2%）、「3日」（18.5%）となっています。

学童保育で過ごすことを希望する人について、その希望日数をみると、「5日」（50.0%）が最も多く、次いで「2日」（12.5%）となっています。また、希望の利用終了時間をみると、「18時以降」（62.5%）が最も多く、次いで「17時台」（25.0%）となっています。

前回調査について、学童保育の結果を比較すると、希望日数は新たに「1日」や「3日」が増え、「5日」は15ポイント減少しています。また、希望の利用終了時間をみると「17時台」は20ポイント増加し、「18時以降」は12.5ポイント減少しています。

※回答数が20件以下の項目は、コメントを省略します。

図 自宅で過ごさせたい日数

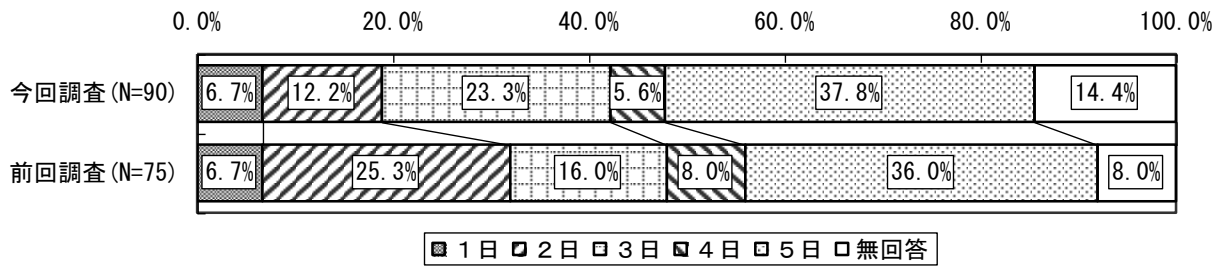


図 祖父母宅や友人・知人宅で過ごさせたい日数

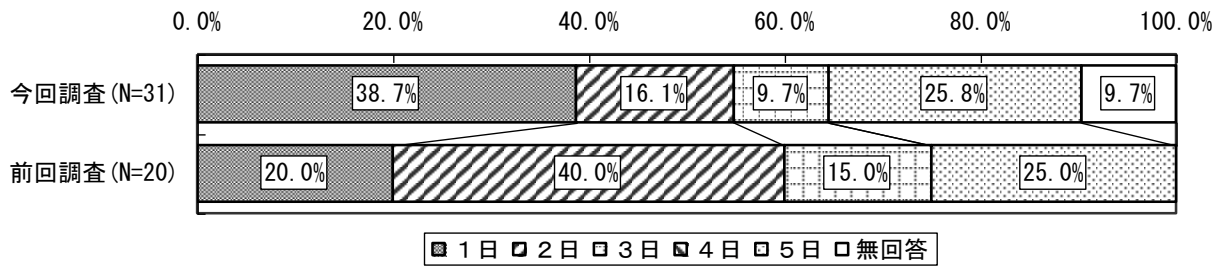


図 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）で過ごさせたい日数

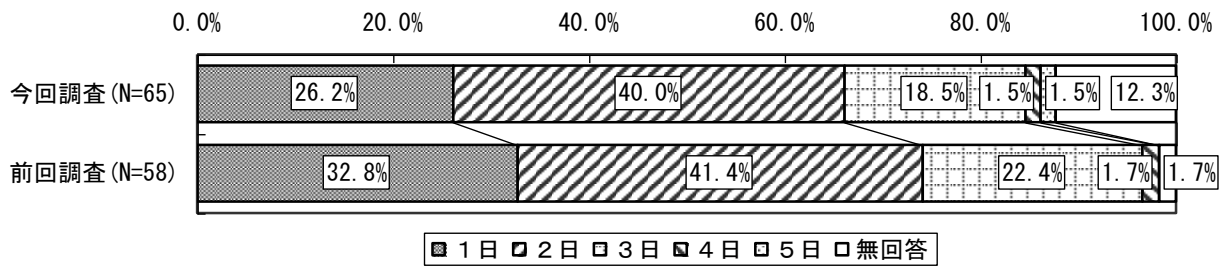


図 学童保育で過ごさせたい日数

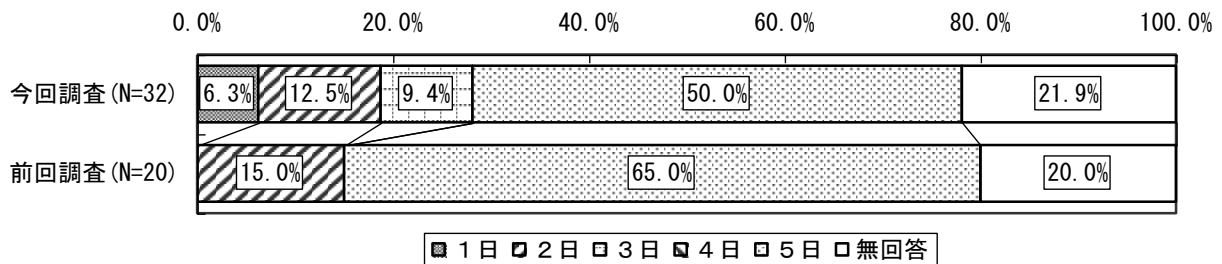


図 学童保育で過ごさせたい
希望の学童保育終了時間

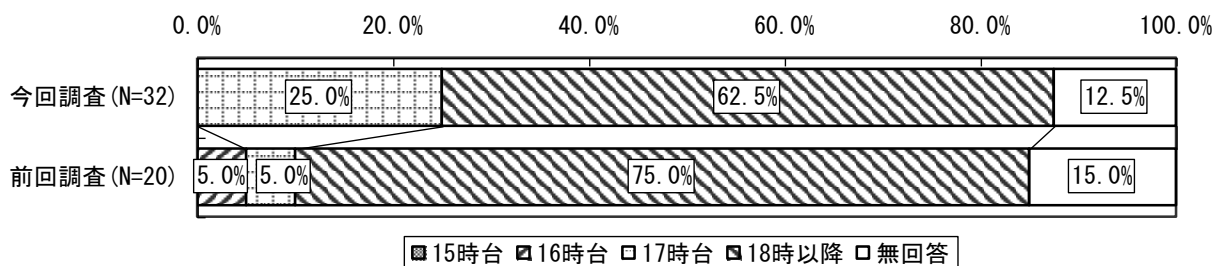


図 ファミサポリーサポートクラブで過ごさせたい日数

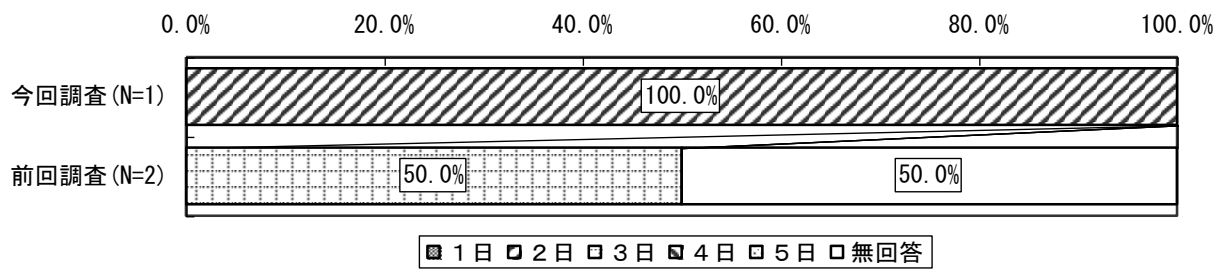
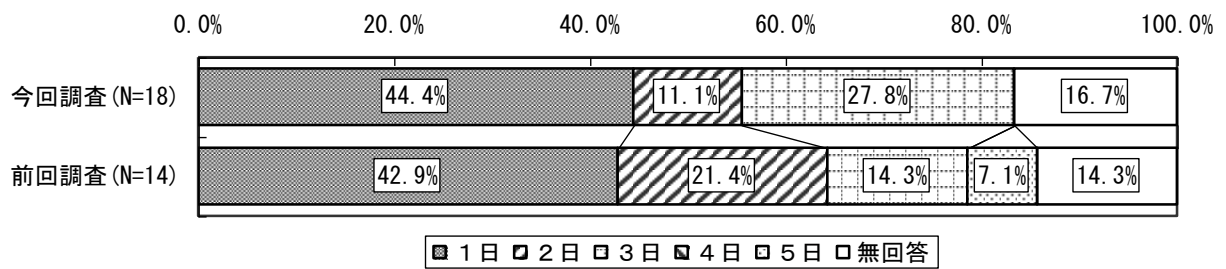


図 その他（公民館、公園など）の場所で過ごさせたい日数



【土・日曜日の学童保育の利用希望】

問34 【5歳以上】問32または問33で「4」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日に学童保育の利用希望はありますか。(○は1つ)

【土曜日の学童保育の利用希望】

宛名の子どもが小学校低学年または高学年の放課後に学童保育の利用希望がある人について、土曜日の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(53.2%)が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(22.6%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(11.3%)となっています。

土曜日の学童保育の利用希望がある人について。1月あたりの利用希望日数をみると、「2日」及び「4日以上」(共に28.6%)が最も多く、次いで「1日」(19.0%)となっています。また、希望の利用時間をみると、利用開始時間は「8時台」(52.4%)が最も多く、次いで「7時台」(23.8%)となっており、利用終了時間は「18時台」(47.6%)が最も多くなっています。

前回調査より、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」は4.2ポイント、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」は7.1ポイント減少しています。利用希望日数をみると「1日」は11.9ポイント、「2日」は7.2ポイント増加し、「4日以上」は21.4ポイント減少しています。希望の利用開始時間をみると「8時台」は38.1ポイント、「7時台」は9.5ポイント、それぞれ増加しており、前回調査で最多であった「9時台」は1割未満まで減少しています。希望の利用終了時間をみると、「18時台」は19ポイント増加し、「17時台」は19.1ポイント減少しています。

図 土曜日の学童保育の利用希望

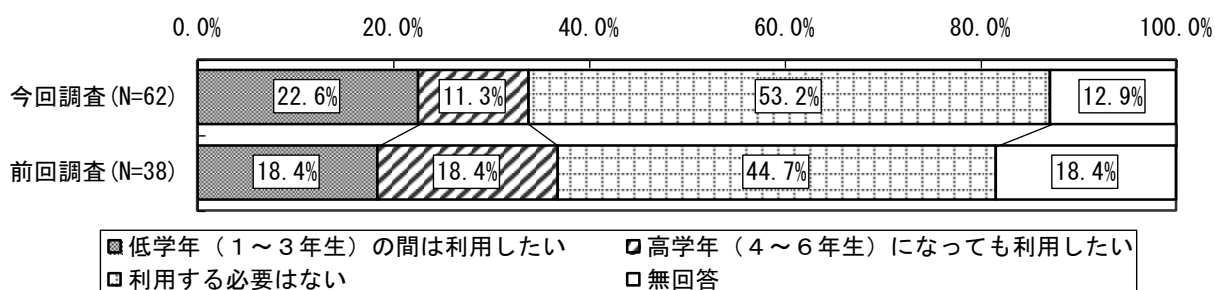


図 土曜日の学童保育の希望利用日数

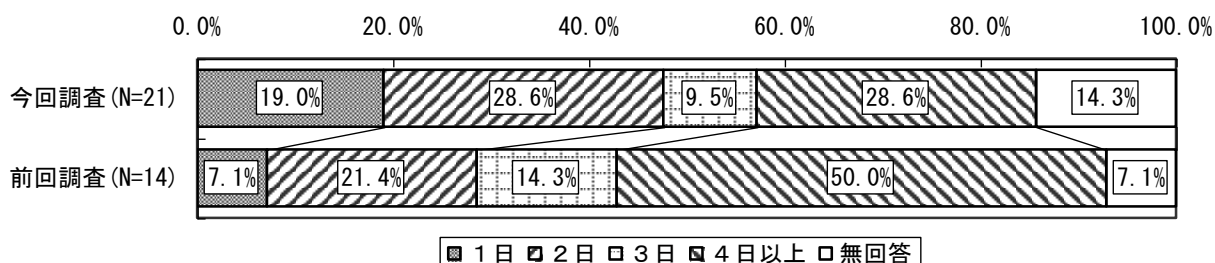


図 土曜日の学童保育の希望利用開始時間

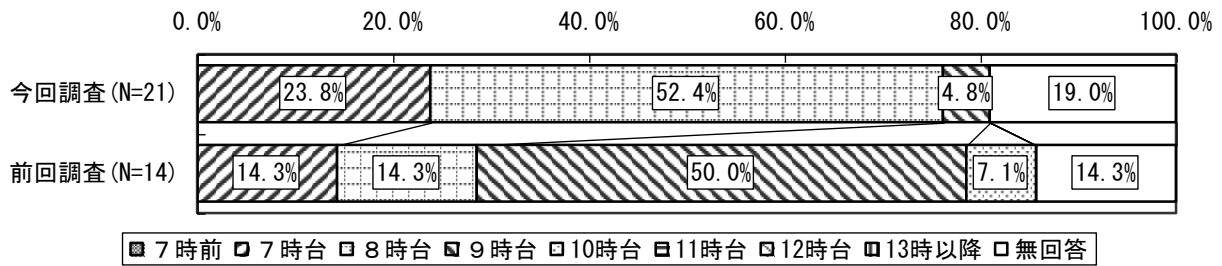
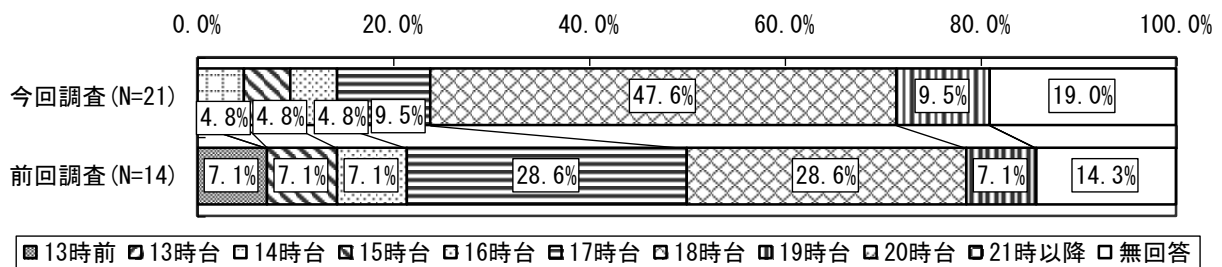


図 土曜日の学童保育の希望利用終了時間



【日曜日の学童保育の利用希望】

宛名の子どもが小学校低学年または高学年の放課後に学童保育の利用希望がある人について、日曜日の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(72.6%)が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」及び「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(共に8.1%)となっています。

日曜日の学童保育の利用希望がある人(10件)について。1月あたりの利用希望日数をみると、「1日」が4件、「2日」が3件、「4日以上」が1件となっています。また、希望の利用時間をみると、利用開始時間は「7時台」及び「8時台」がそれぞれ4件ずつ、利用終了時間は「18時台」が7件、「19時台」が1件となっています。

前回調査より、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」は5.5ポイント増加しましたが、利用希望がある人は1割未満となっています。

※回答数が少ないため、希望の利用日数と利用時間帯の前回調査との比較は省略します。

図 日曜日の学童保育の利用希望

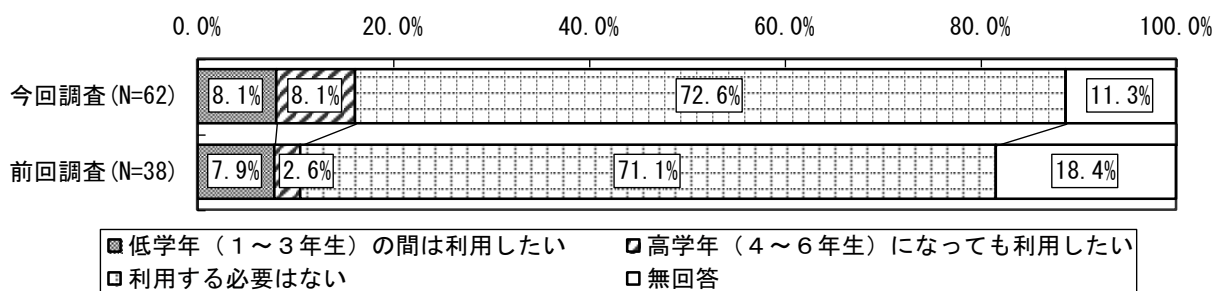


図 日曜日の学童保育の希望利用日数

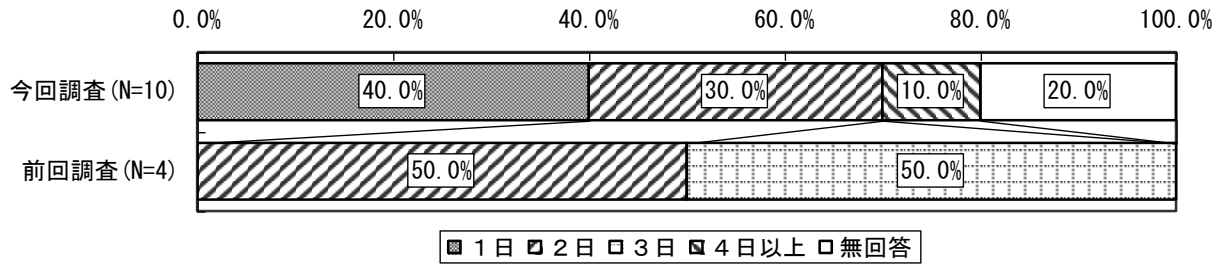


図 日曜日の学童保育の希望利用開始時間

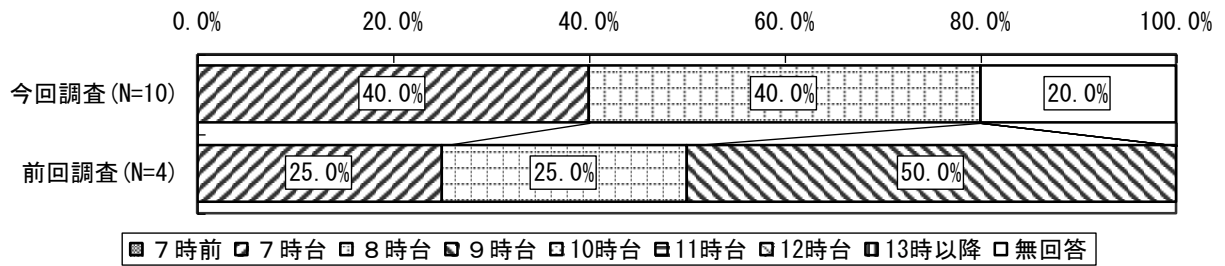
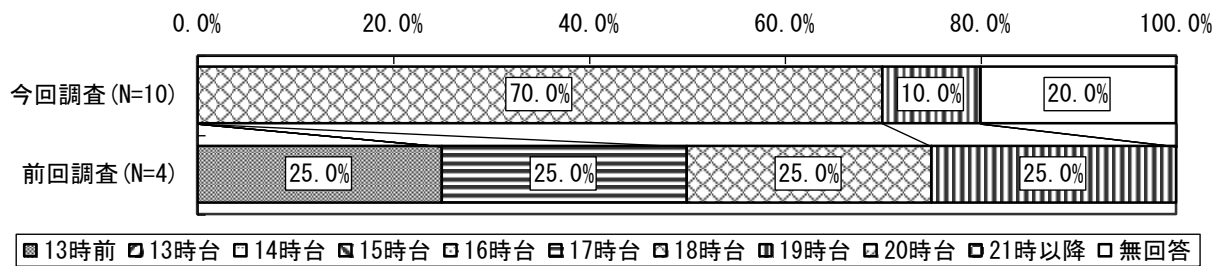


図 日曜日の学童保育の希望利用終了時間



【長期休暇中の学童保育の利用希望】

問35 お子さんが夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中、学童保育の利用希望はありますか。
(○は1つ)

子どもが長期休暇中の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(27.7%)が最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(26.4%)、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(24.3%)となっています。

長期休暇中の学童保育の利用希望がある人について、1月あたりの利用希望日数をみると、「5日」(74.7%)が最も多くなっています。また、希望の利用時間をみると、利用開始時間は「8時台」(58.7%)が最も多く、次いで「9時台」(18.7%)、「7時台」(14.7%)となっており、利用終了時間は「18時台」(41.3%)が最も多く、次いで「17時台」(28.0%)、「16時台」(12.0%)となっています。

前回調査と比較すると、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」共に、やや増加しています。

※回答数が少ないため、希望の利用日数と利用時間帯の前回調査との比較は省略します。

図 長期休暇中の学童保育の利用希望

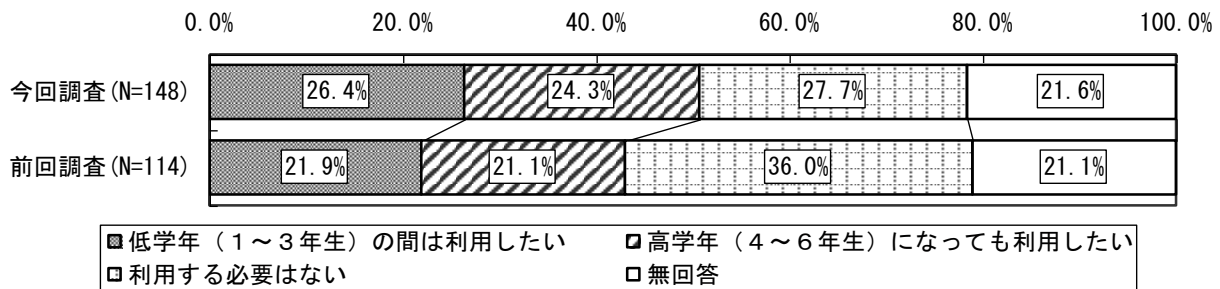


図 長期休暇中の学童保育の希望利用日数

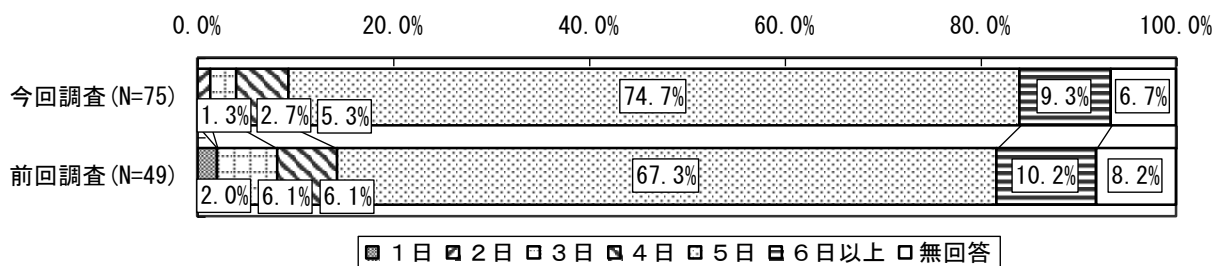


図 長期休暇中の学童保育の希望利用開始時間

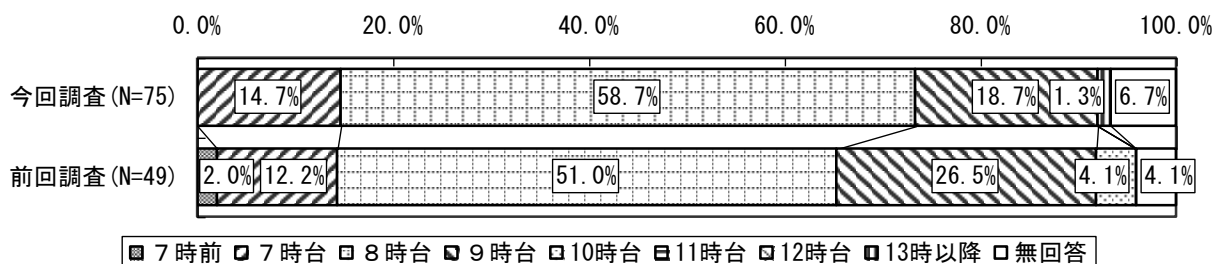
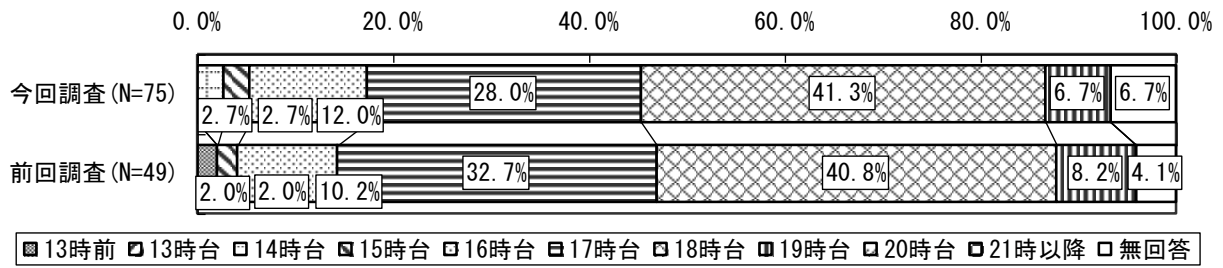


図 長期休暇中の学童保育の希望利用終了時間



⑩職場の両立支援制度について

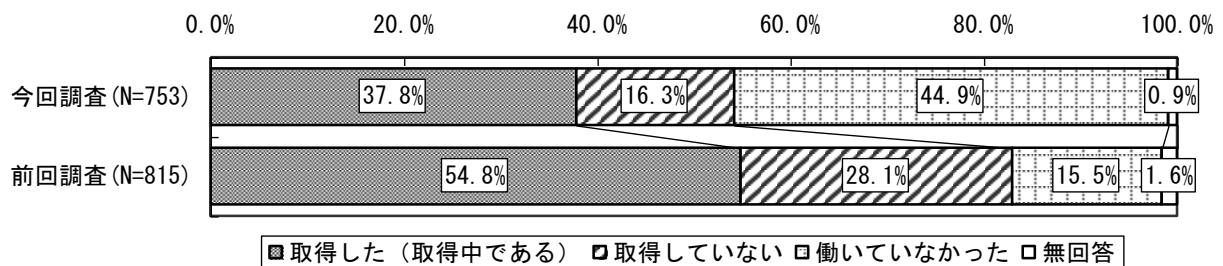
【母親の育児休業取得状況】

問36 【母親】 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(〇は1つ)

母親の育児休業取得状況をみると、「働いていなかった」(44.9%)が最も多く、次いで「取得した(取得中である)」(37.8%)、「取得していない」(16.3%)となっています。

前回調査より、「取得した(取得中である)」は17ポイント、「働いていなかった」は29.4ポイント、それぞれ増加しています。

図 母親の育児休業取得状況



【母親の職場復帰時の子どもの年齢】

問37 【母親】 育児休業からは、「希望」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
 □に数字でご記入ください。

育児休業を取得した母親について、職場復帰時の子どもの年齢をみると、「7か月～1歳」(49.8%)が最も多く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」(18.9%)、「6か月以下」(7.4%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

また、職場復帰時の子どもの希望の年齢をみると、「7か月～1歳」(30.5%)が最も多く、次いで「2歳1か月以上」(20.0%)、「1歳1か月～1歳6か月」(15.1%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 母親の職場復帰時の子どもの年齢（実際）

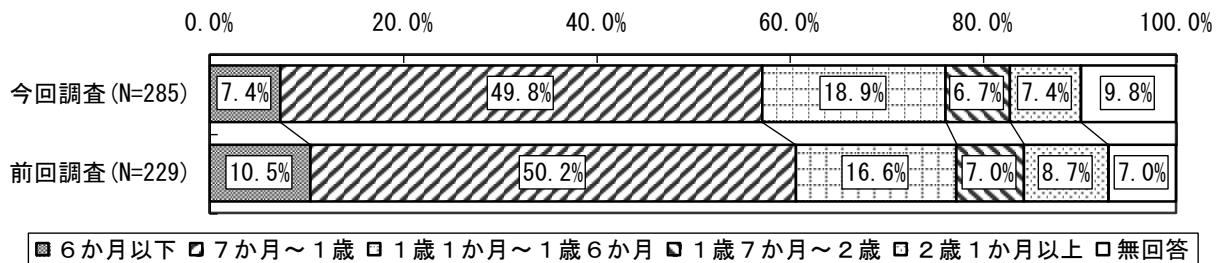
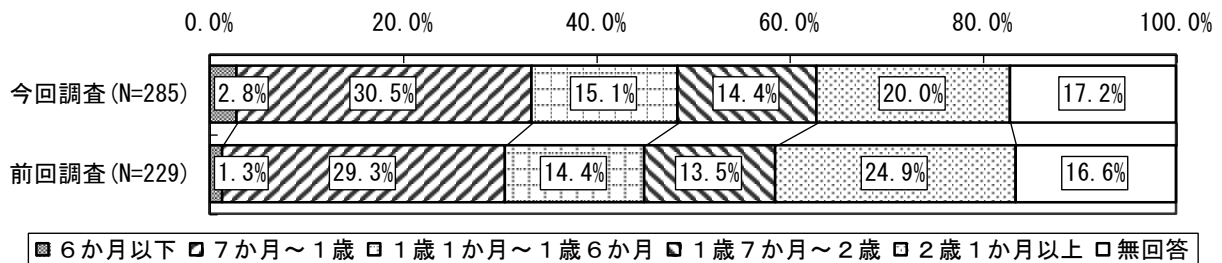


図 母親の職場復帰時の子どもの年齢（希望）



【母親が希望の時期に職場復帰しなかった理由】

問37-1 【母親】希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【職場復帰が希望より早かった理由】

育児休業からの職場復帰が希望より早かった人について、その理由をみると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(36.6%)が最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」(31.7%)、「希望する保育所に入るため」(21.1%)となっています。

前回調査より、「希望する保育所に入るため」が12.3ポイント増加しています。

【職場復帰が希望より遅かった理由】

育児休業からの職場復帰が希望より遅かった人(17件)について、その理由をみると、「希望する保育所に入れなかったため」、「子どもをみてくれる人がいなかったため」の順に多くなっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 母親が希望の時期より早く職場復帰した理由

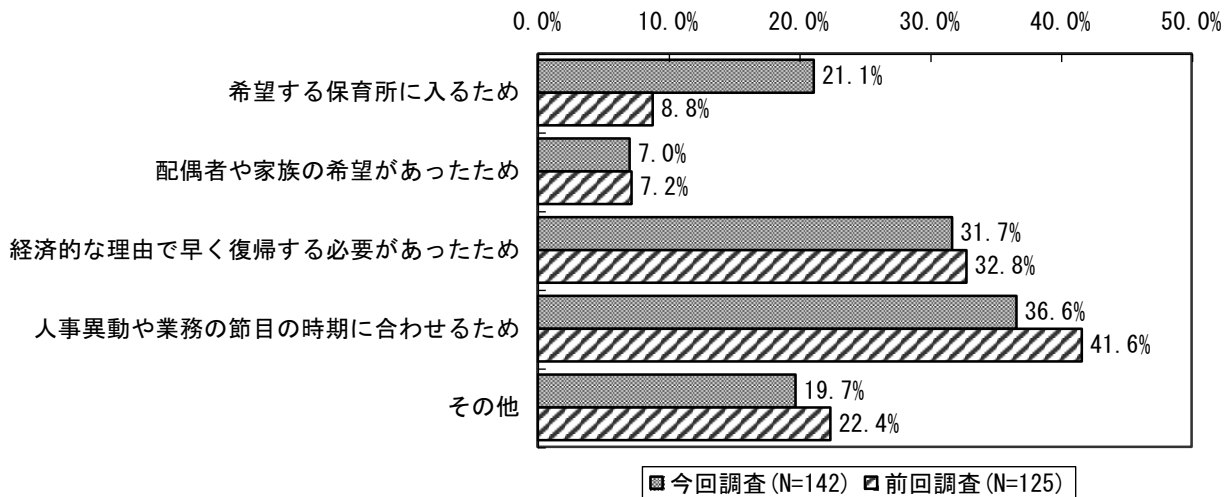
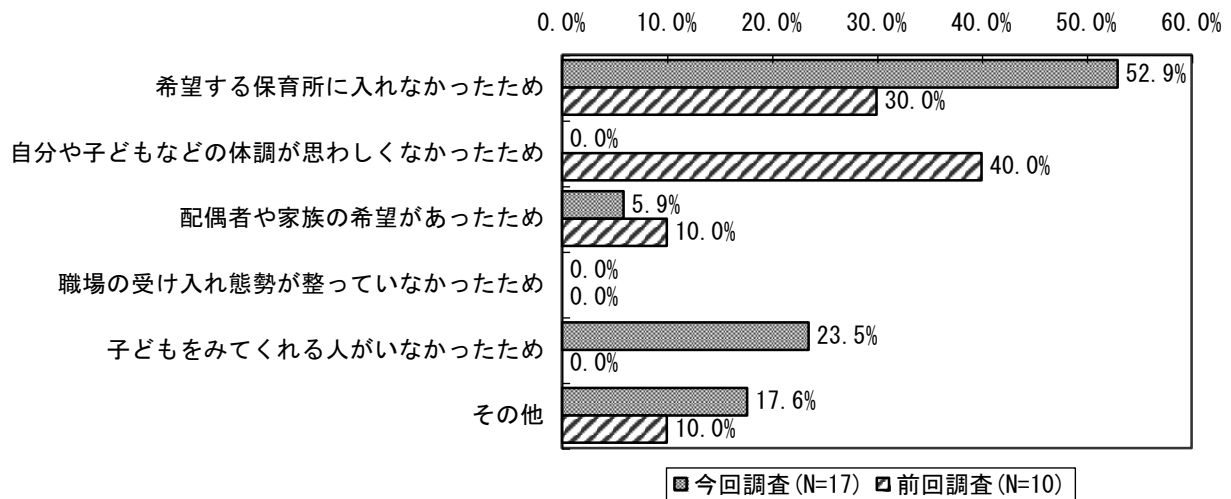


図 母親が希望の時期より遅く職場復帰した理由



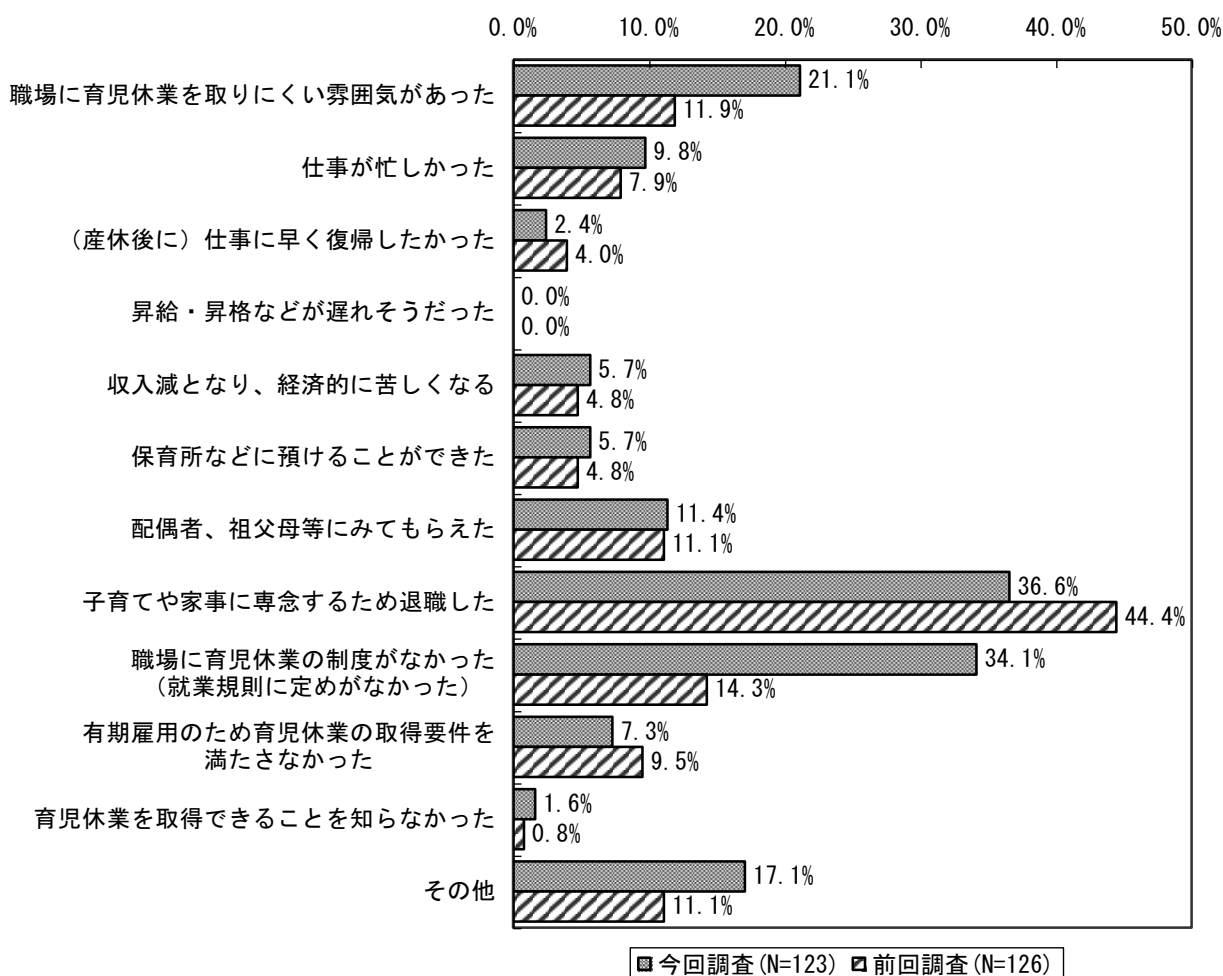
【母親が育児休業を取得していない理由】

問38 【母親】 育児休業を取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

育児休業を取得していない母親について、その理由をみると、「子育てや家事に専念するため退職した」(36.6%)が最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(34.1%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(21.1%)となっています。

前回調査より、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が9.2ポイント、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が19.8ポイント、それぞれ増加しています。また、「子育てや家事に専念するため退職した」は7.8ポイント減少しています。

図 母親が育児休業を取得していない理由

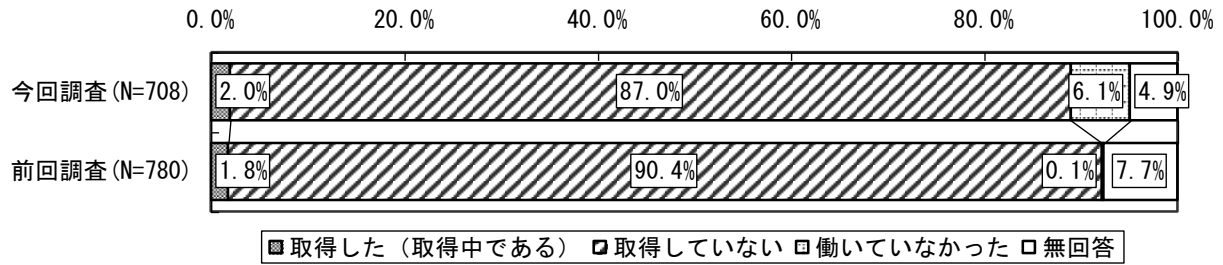


【父親の育児休業取得状況】

問39 【父親】 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(〇は1つ)

父親の育児休業の取得状況をみると、「取得していない」(87.0%)が最も多く、「取得した(取得中である)」は2.0%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の育児休業取得状況



【父親の職場復帰時の子どもの年齢】

問40 【父親】育児休業からは、「希望」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
□に数字でご記入ください。

育児休業を取得した父親（14件）について、職場復帰時の子どもの年齢をみると、「6か月以下」及び「7か月～1歳」、「2歳1か月以上」の順に多くなっています。

また、職場復帰時の子どもの希望の年齢をみると、「6か月以下」及び「7か月～1歳」、「2歳1か月以上」の順に多くなっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 父親の職場復帰時の子どもの年齢（実際）

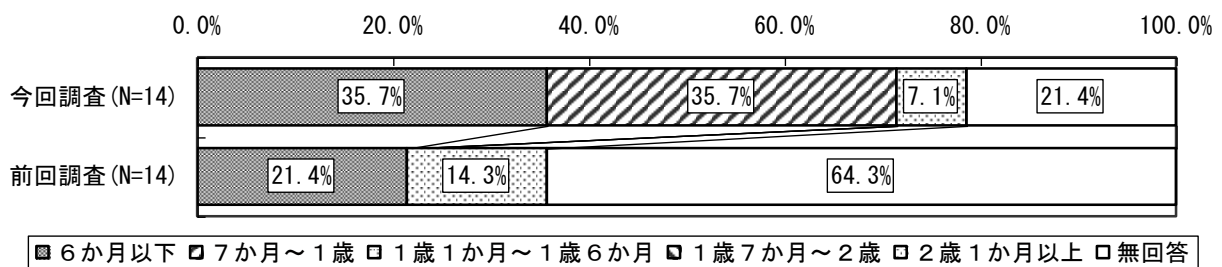
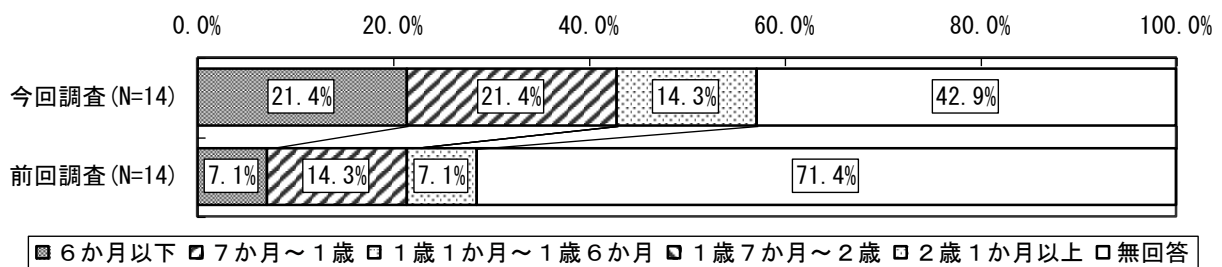


図 父親の職場復帰時の子どもの年齢（希望）



【父親が希望の時期に職場復帰しなかった理由】

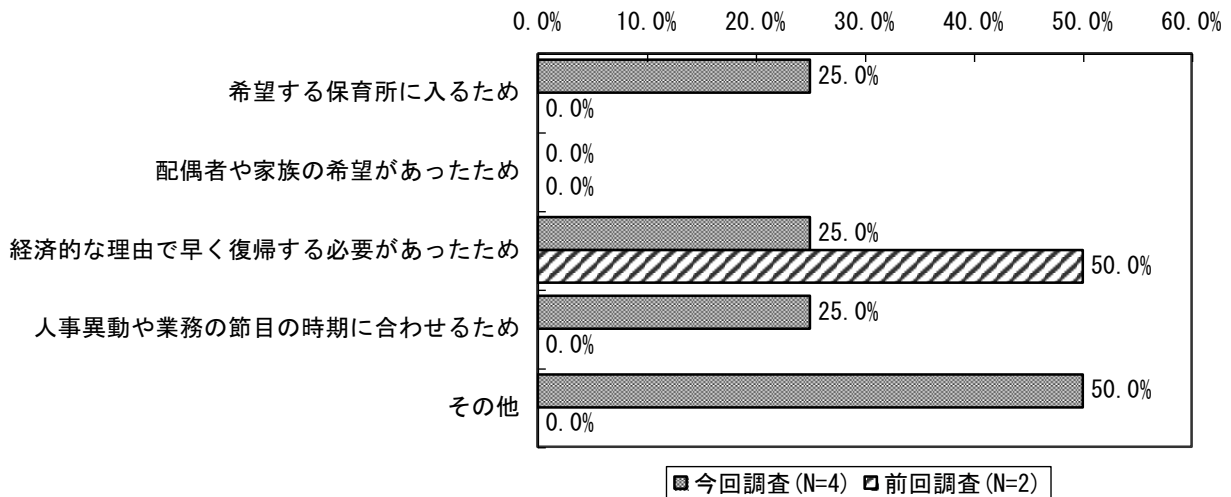
問40-1 【父親】 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【職場復帰が希望より早かった理由】

育児休業からの職場復帰が希望より早かった人（4件）について、その理由をみると、「希望する保育所に入るため」、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」となっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 父親が希望の時期より早く職場復帰した理由



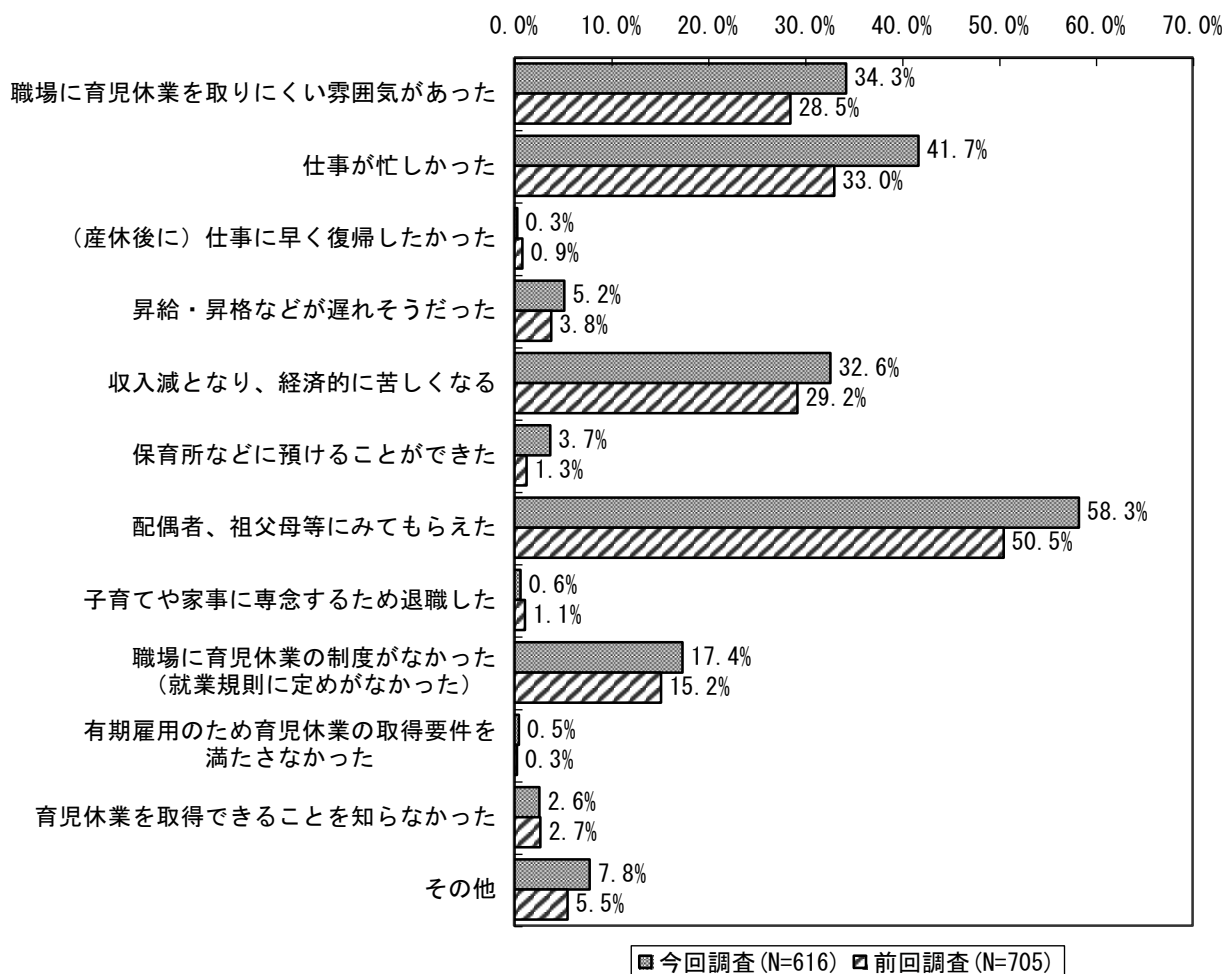
【父親が育児休業を取得していない理由】

問41 【父親】 育児休業を取得していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

育児休業を取得していない父親について、その理由をみると、「配偶者、祖父母等にみてもらえた」(58.3%)が最も多く、次いで「仕事が忙しかった」(41.7%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(34.3%)となっています。

前回調査より、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が5.8ポイント、「仕事が忙しかった」8.7ポイント、「配偶者、祖父母等にみてもらえた」が7.8ポイント、それぞれ増加しています。

図 父親が育児休業を取得していない理由



⑪加西市の子育て支援について

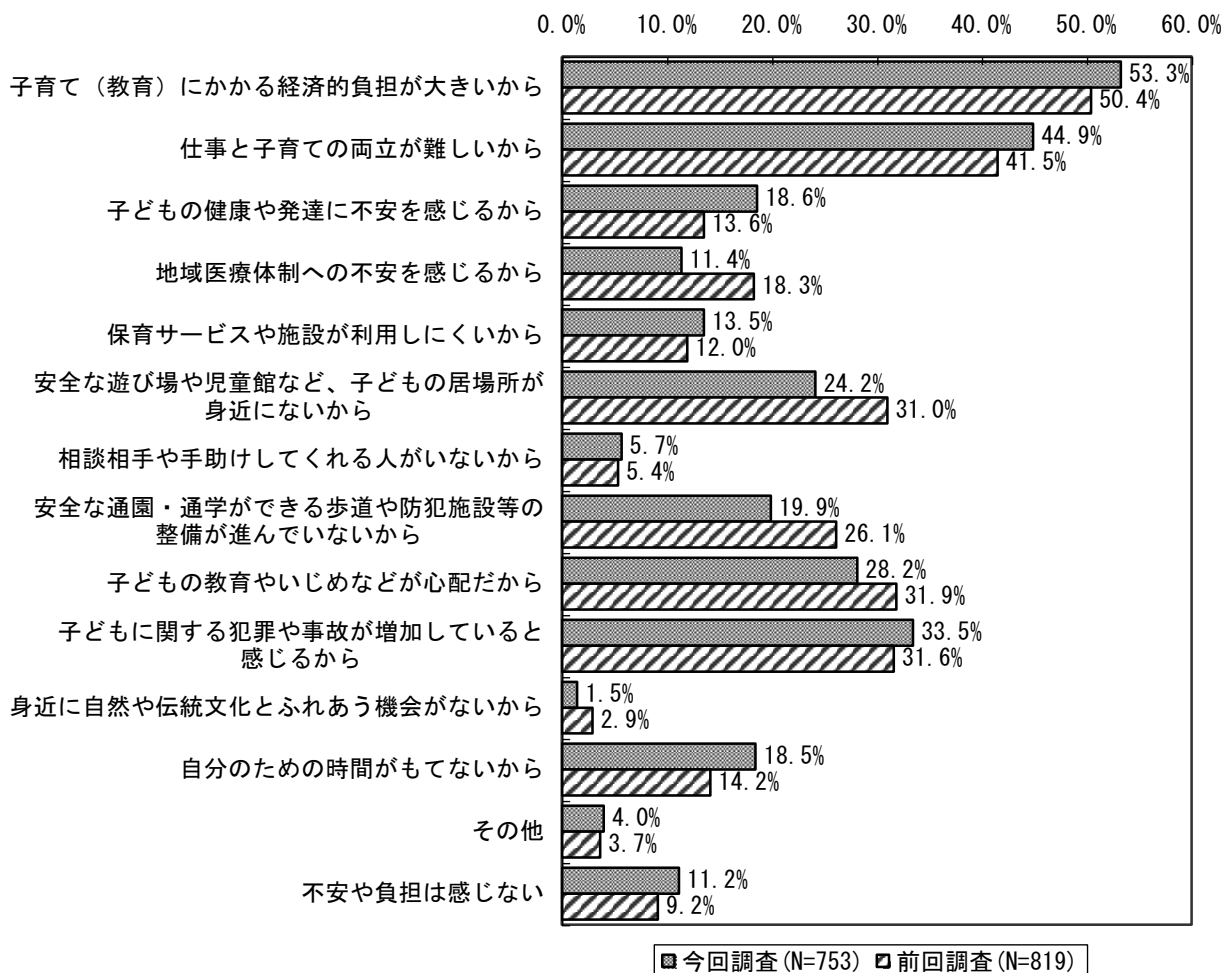
【子育ての不安や負担】

問42 あなたは、子育てについて不安や負担を感じますか。(〇はいくつでも)

子育てについて感じる不安や負担をみると、「子育て(教育)にかかる経済的負担が大きいから」(53.3%)が最も多く、次いで「仕事と子育ての両立が難しいから」(44.9%)、「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」(33.5%)となっています。

前回調査より、「子どもの健康や発達に不安を感じるから」が5ポイント、「自分のための時間がないから」が4.3ポイント、それぞれ増加しています。一方、「地域医療体制への不安を感じるから」は6.9ポイント、「安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にないから」は6.8ポイント、「安全な通園・通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいないから」は6.2ポイント、それぞれ減少しています。

図 子育ての不安や負担



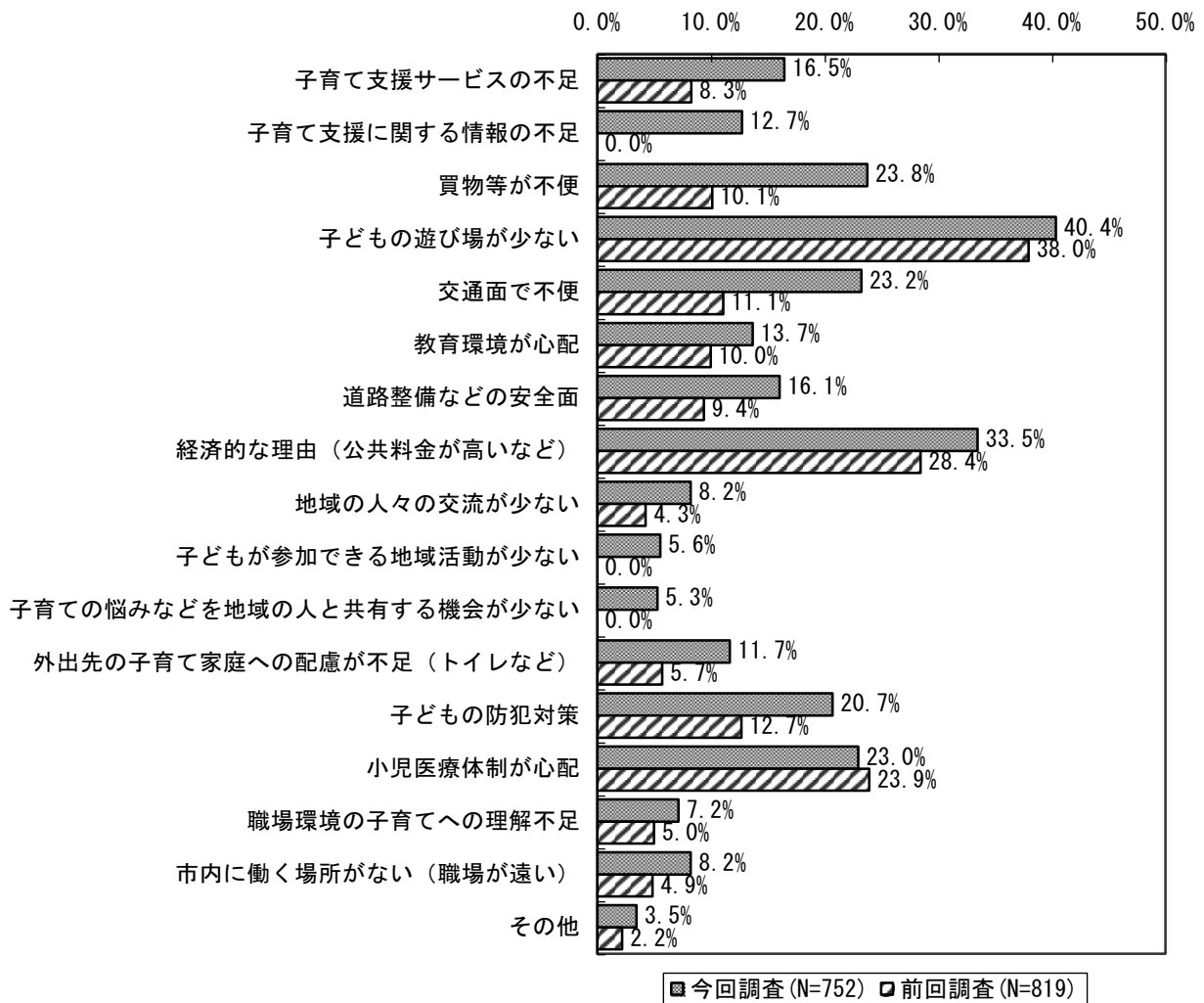
【子育てをする上で不便なこと】

問43 子育てする上で不便に思うことは何ですか。(〇は3つまで)

子育てをする上で不便に思うことをみると、「子どもの遊び場が少ない」(40.4%)が最も多く、次いで「経済的な理由(公共料金が高いなど)」(33.5%)、「買い物等が不便」(23.8%)となっています。

前回調査より、「子育て支援サービスの不足」は8.2ポイント、「交通面で不便」は12.1ポイント、「道路整備などの安全面」は6.7ポイント、「経済的な理由(公共料金が高いなど)」は5.1ポイント、「子どもの防犯対策」は8ポイント、それぞれ増加しています。

図 子育てをする上で不便なこと



【加西市での子育ての満足度】

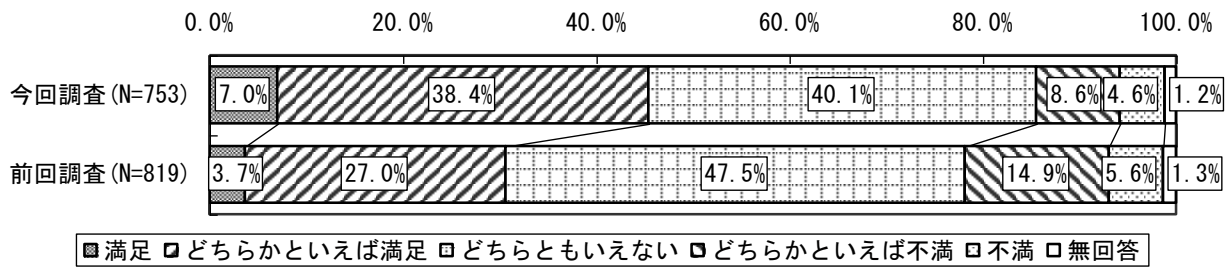
問44 加西市での子育てに満足していますか。(○は1つ)

加西市での子育ての満足度をみると、「どちらともいえない」(40.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(38.4%)、「どちらかといえば不満」(8.6%)となっています。

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると(以下、加西市での子育てに満足している人)、45.4%となっています。

前回調査より、加西市での子育てに満足している人は14.7ポイント増加しています。

図 加西市での子育ての満足度



【加西市での子育ての意向】

問45 加西市での今後の子育ての意向をお聞かせください。(〇は1つ)

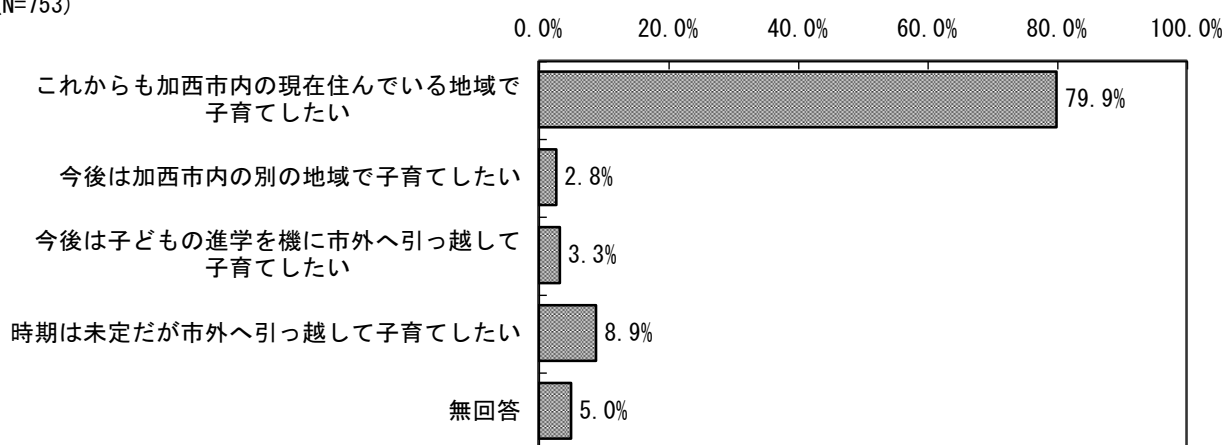
加西市での今後の子育ての意向をみると、「これからも加西市内の現在住んでいる地域で子育てしたい」(79.9%)が最も多く、次いで「時期は未定だが市外へ引っ越して子育てしたい」(8.9%)となっています。

「今後は子どもの進学を機に市外へ引っ越して子育てしたい」と「時期は未定だが市外へ引っ越して子育てしたい」を合わせると(以下、市外での子育ての意向がある人)、12.2%となっています。

※新規設問のため、前回調査の比較コメントはありません。

図 加西市での子育ての意向

(N=753)



☆集計中【子育ての環境や支援に関してのご意見】

問46 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

(2) 小学生調査結果

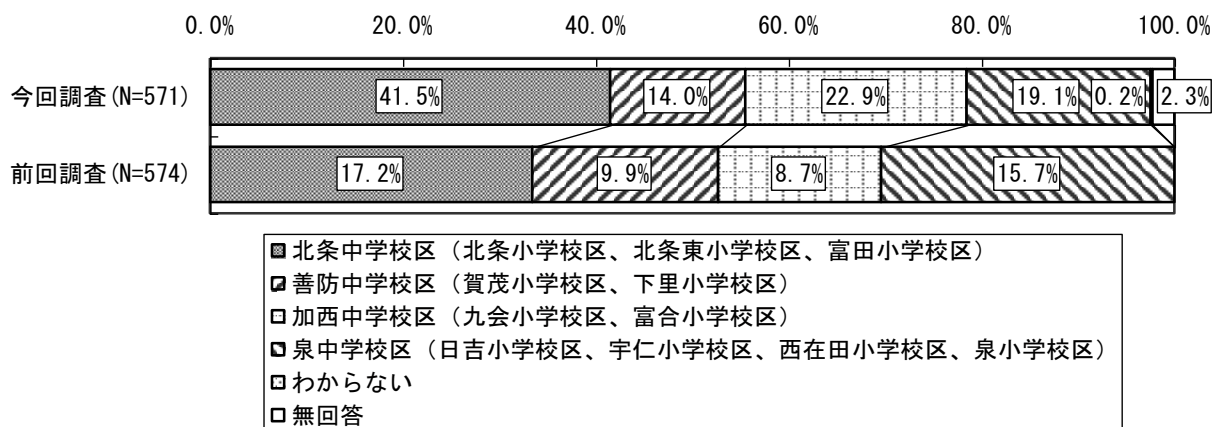
① 居住地域について

【居住地域】

問1 あなたのお住まいの地域をお答えください。(〇は1つ)

居住地域をみると、「北条中学校区」(41.5%)が最も多く、次いで「加西中学校区」(22.9%)、「泉中学校区」(19.1%)となっています

図 居住地域



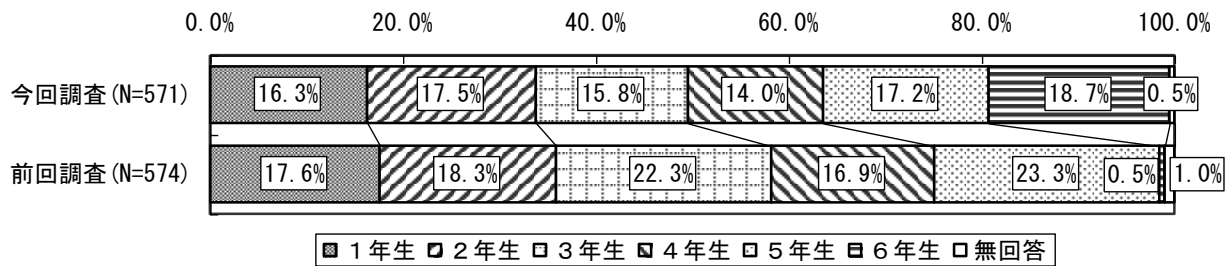
②子どもと家族の状況について

【子どもの学年】

問2 宛名のお子さんの生年月を口で数字でご記入ください。

宛名の子どもの生年月から学年を算出したところ、「6年生」(18.7%)が最も多く、次いで「2年生」(17.5%)、「5年生」(17.2%)となっています。

図 子どもの学年



【子どもの人数及び末子の年齢】

問3 お子さんは何人いますか。2人以上いる場合は、いちばん下のお子さんの生年月を口にご記入ください。

子どもの人数をみると、「2人」(50.4%)が最も多く、次いで「3人」(24.7%)、「1人」(20.1%)となっています。また、末子の生年月から末子の年齢を算出したところ、「9～11歳」(61.4%)が最も多く、次いで「6～8歳」(34.2%)となっています。

図 子どもの人数

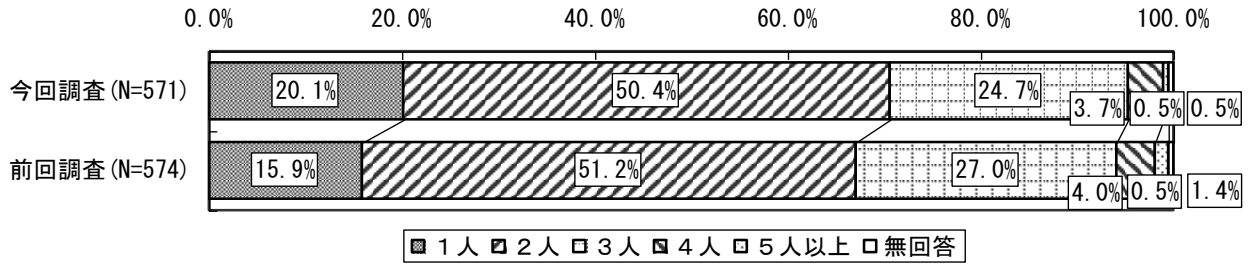
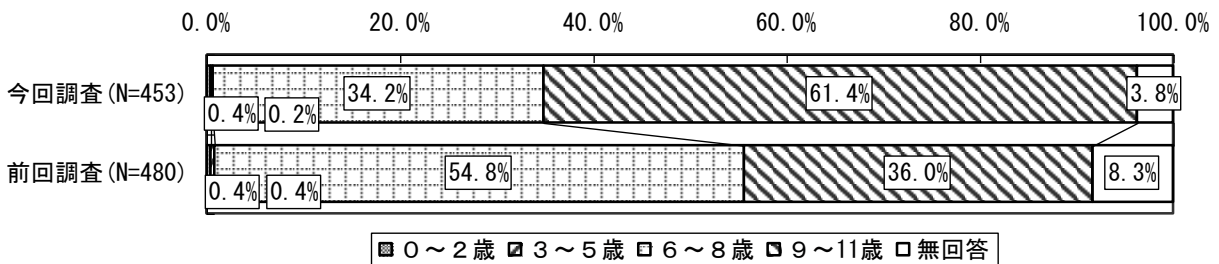


図 末子の年齢

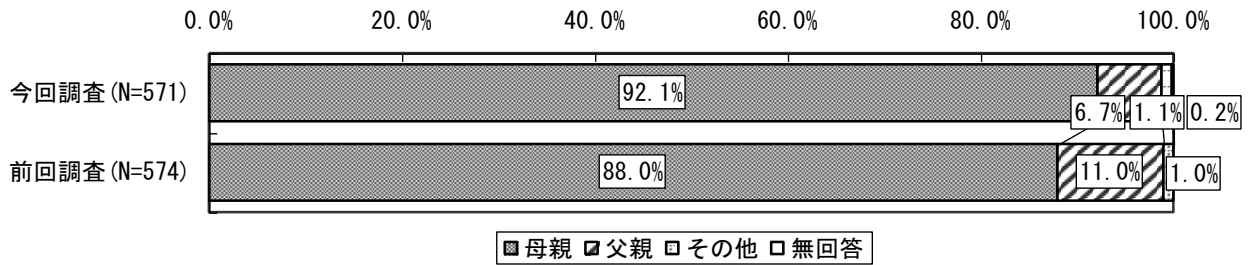


【回答者】

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。(〇は1つ)

回答者を見ると、「母親」(92.1%)が最も多くなっています。

図 回答者

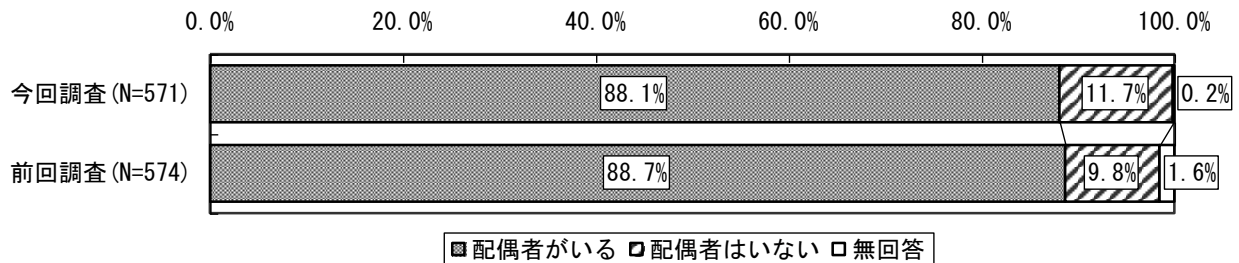


【回答者の配偶関係】

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶者についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の配偶関係をみると、「配偶者がいる」が88.1%、「配偶者はいない」が11.7%となっています。

図 回答者の配偶関係

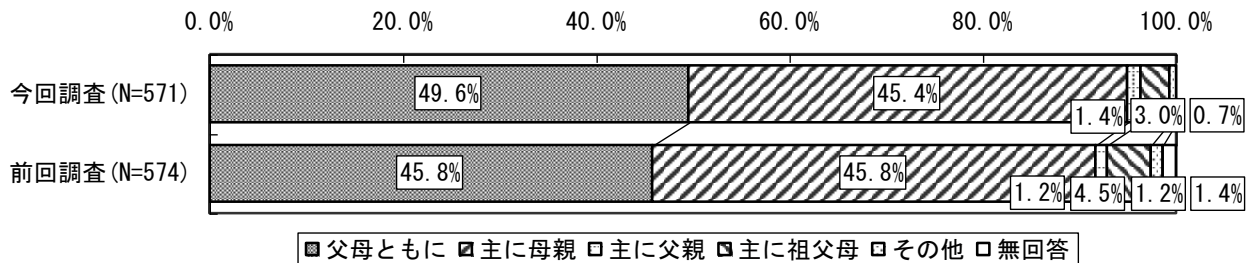


【主たる育児者】

問6 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。(〇は1つ)

子どもの主たる育児者をみると、「父母ともに」(49.6%)が最も多く、次いで「主に母親」(45.4%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 主たる育児者



③子どもの育ちをめぐる環境について

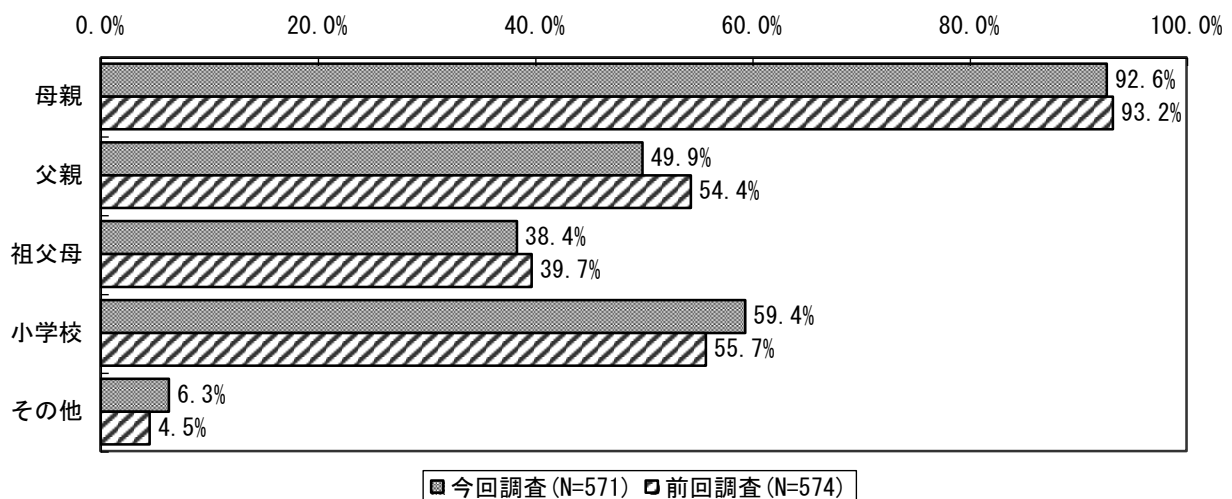
【子育て（教育）に日常的に関わっている人（施設）】

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。（〇はいくつでも）

子どもの子育て（教育）に日常的に関わっている人をみると、「母親」（92.6%）が最も多く、次いで「小学校」（59.4%）、「父親」（49.9%）となっています。

前回調査より、「父親」が4.5ポイント減少しています。

図 子育て（教育）に日常的に関わっている人（施設）

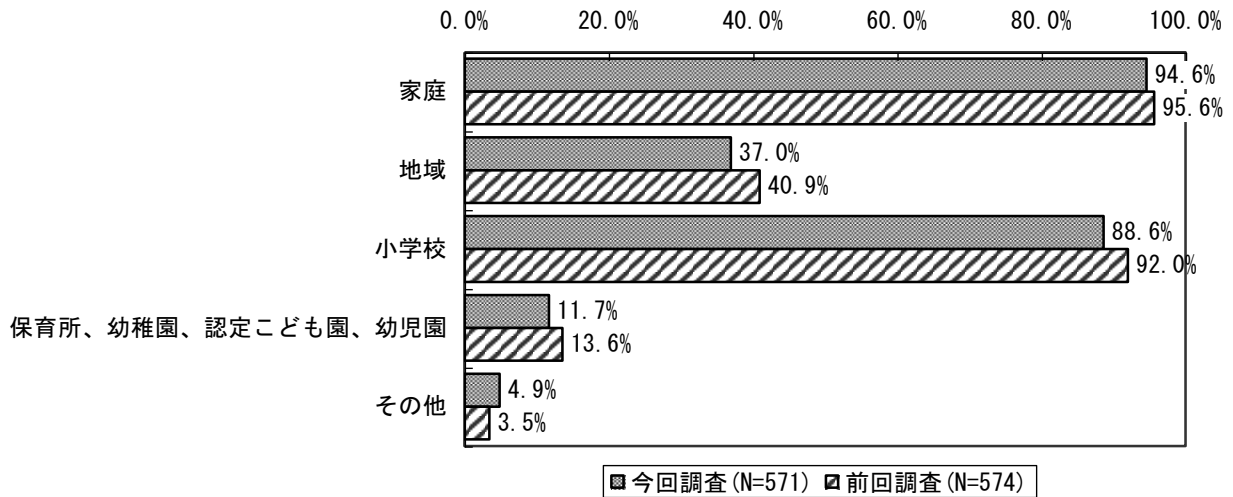


【子育て（教育）に影響する環境】

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、大きく影響すると思われる環境はどれですか。
（〇はいくつでも）

子どもの子育て（教育）に大きく影響すると思う環境をみると、「家庭」（94.6%）が最も多く、次いで「小学校」（88.6%）、「地域」（37.0%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 子育て（教育）に影響する環境



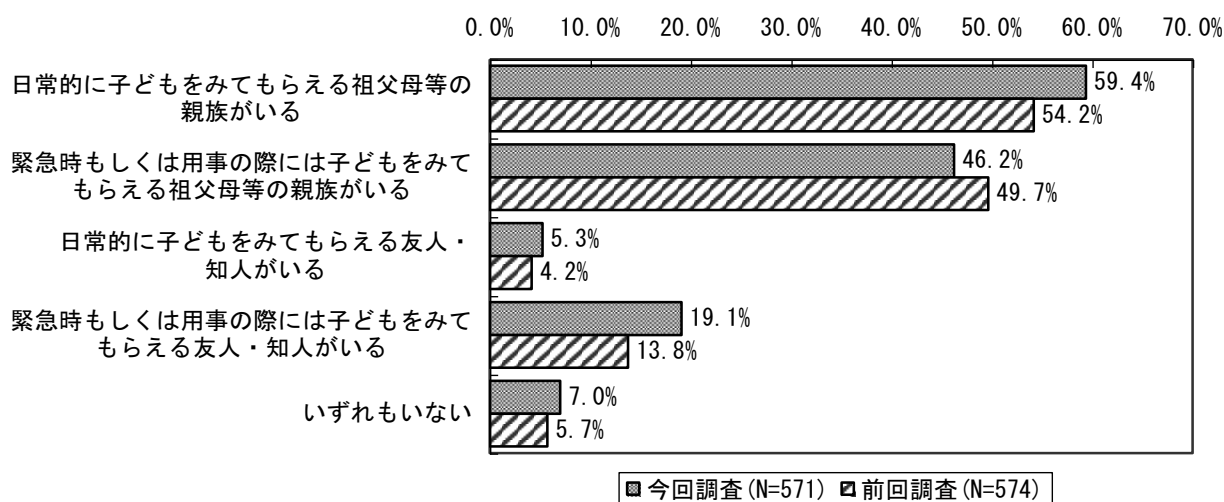
【親族・知人による子育ての協力状況】

問9 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(〇はいくつでも)

子どもをみてもらえる親族・知人の有無をみると、「日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」(59.4%)が最も多く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」(46.2%)、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(19.1%)となっています。

前回調査より、「日常的に子どもをみてもらえる祖父母等の親族がいる」は5.2ポイント、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は5.3ポイント増加しています。「いずれもない」はやや増加しています。

図 親族・知人による子育ての協力状況



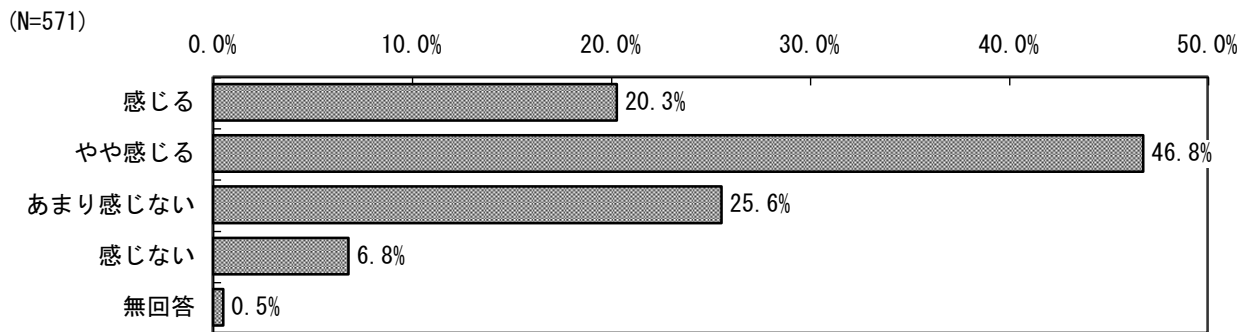
【子育てをされていて地域に支えられている感覚の有無】

問10 日頃、子育てをされていて地域の人に「支えられている」と感じることはありますか。(〇は1つ)

子育てをされていて地域の人に「支えられている」という感覚の有無をみると、「やや感じる」(46.8%)が最も多く、次いで「あまり感じない」(25.6%)、「感じる」(20.3%)となっています。「感じる」と「やや感じる」を合計すると(以下、子育てをされていて地域に支えられていると感じる人)、67.1%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 子育てをされていて地域に支えられている感覚の有無



【子育ての楽しさ・不安の程度】

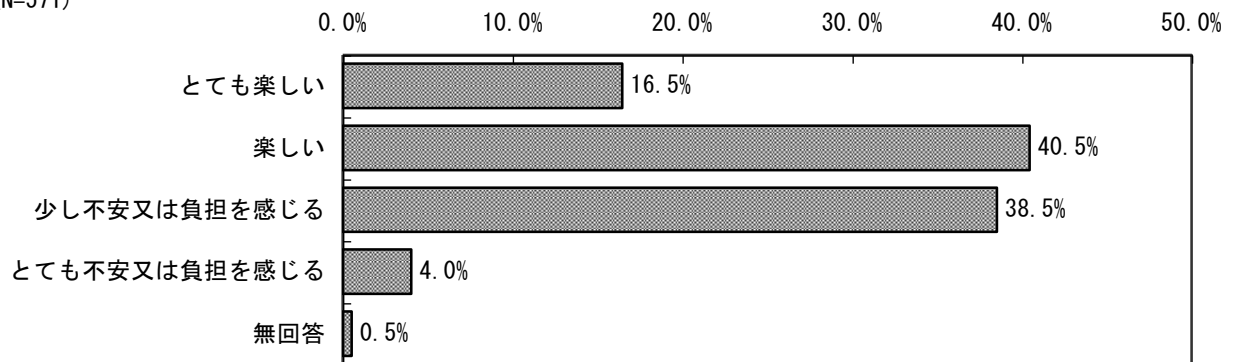
問11 子育ては、楽しいときもあれば、不安又は負担を感じるときもありますが、一番近いお気持ちを教えてください。(〇は1つ)

子育ての楽しさや不安・負担をみると、「楽しい」(40.5%)が最も多く、次いで「少し不安又は負担を感じる」(38.5%)、「とても楽しい」(16.5%)となっています。「とても楽しい」と「楽しい」を合計すると(以下、子育てが楽しい人)57.0%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 子育ての楽しさ・不安の程度

(N=571)



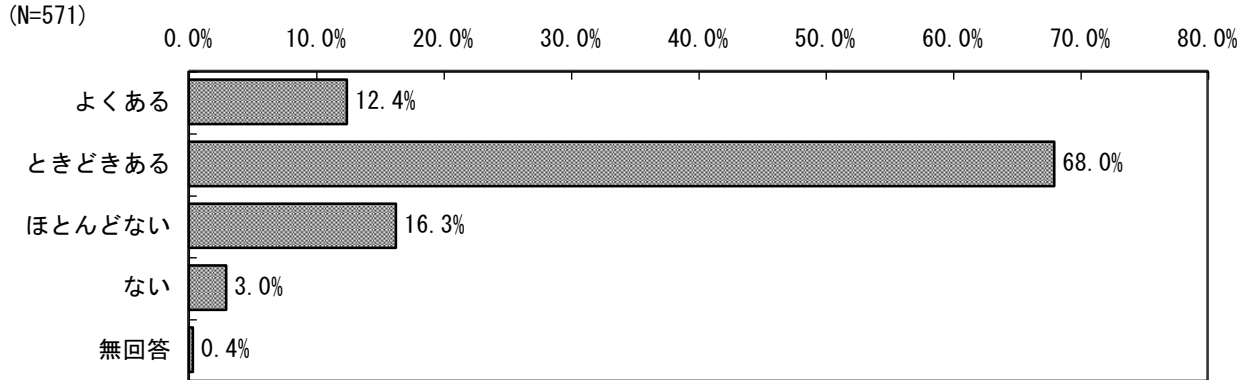
【不安等の感情を子どもに向けてしまうこと】

問12 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことはありますか。(○は1つ)

不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことの有無をみると、「ときどきある」(68.0%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(16.3%)、「よくある」(12.4%)となっています。「よくある」と「ときどきある」を合計すると(以下、不安等の感情を子どもに向けてしまうことがある人)、80.4%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 不安等の感情を子どもに向けてしまうこと



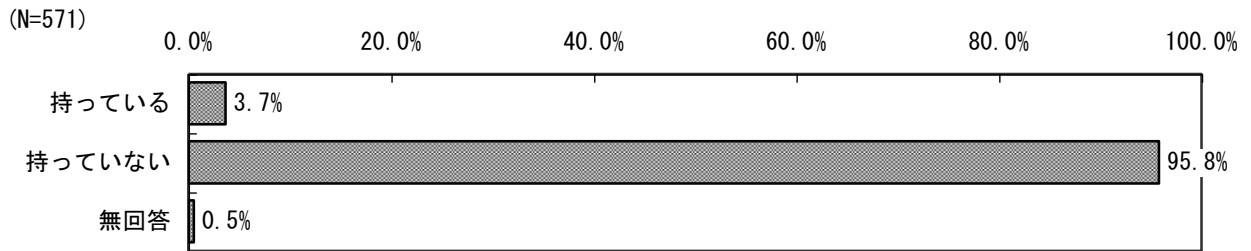
【障害者手帳の所持状況】

問13 お子さんは療育手帳や身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

子どもの障害者手帳の所持状況を見ると、「持っている」が3.7%、「持っていない」が95.8%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 障害者手帳の所持状況

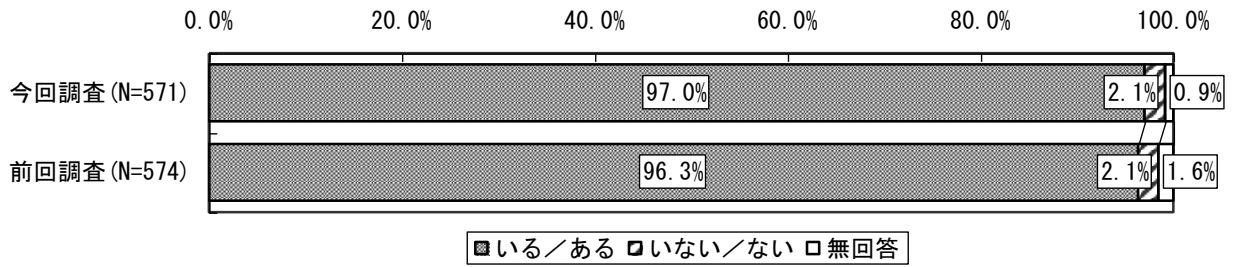


【子育てについて相談できる人・場所の有無】

問14 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

子育てについて相談できる人や場所の有無をみると、「いる／ある」が 97.0%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 子育てについて相談できる人・場所の有無



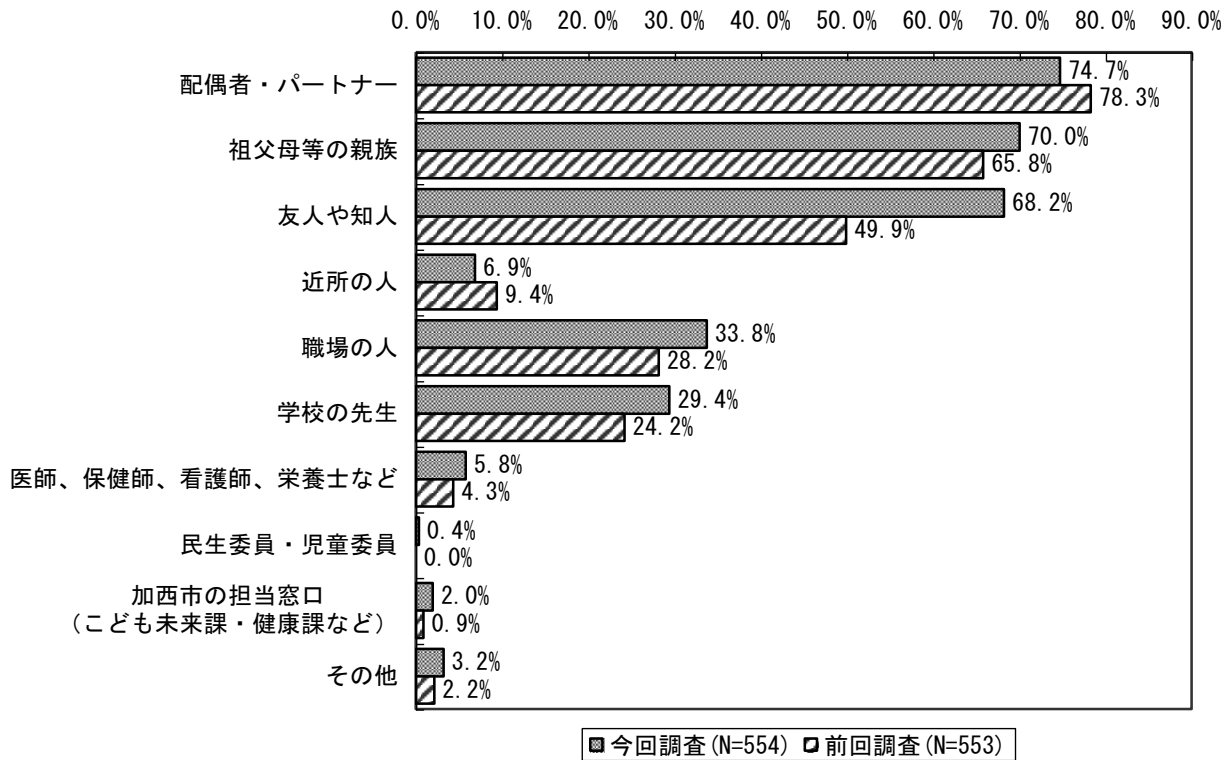
【子育ての相談相手（場所）】

問14-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（〇はいくつでも）

子育てについて相談できる人・場所がある人について、その具体をみると、「配偶者・パートナー」（74.7%）が最も多く、次いで「祖父母等の親族」（70.0%）、「友人や知人」（68.2%）となっています。

前回調査より、「友人や知人」が18.3ポイント増加しています。「加西市の担当窓口（こども未来課・健康課など）」は前回調査からやや増加しましたが、大きな変化はみられません。

図 子育ての相談相手（場所）



☆集計中【子育てに必要な周囲からのサポート】

問15 子育てをする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。自由にお書きください。

④保護者の就労状況について

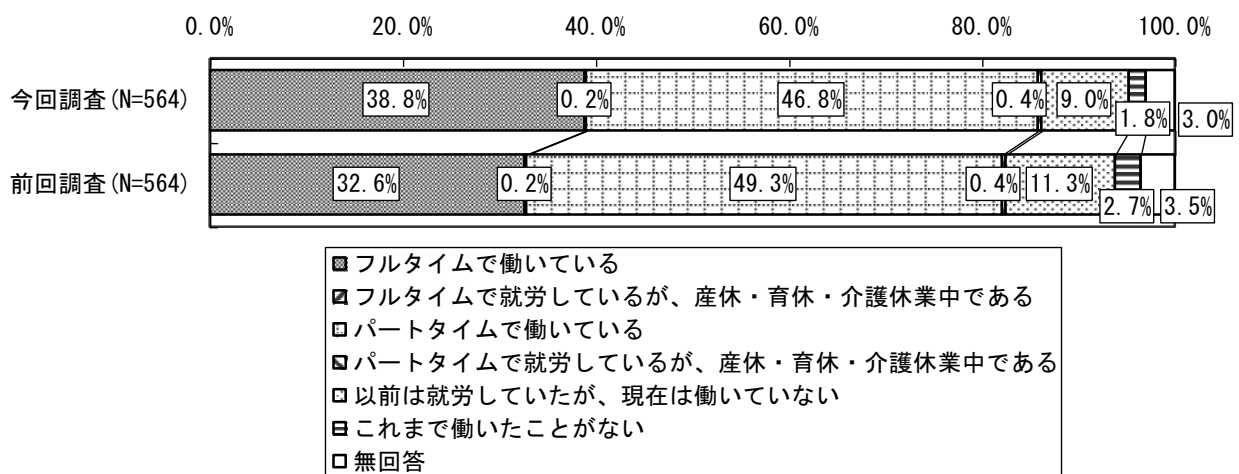
【母親の就労状況】

問16 【母親】お子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。
（○は1つ）

母親の就労状況を見ると、「パートタイム（「フルタイム以外」）で働いている」（46.8%）が最も多く、次いで「フルタイムで働いている」（38.8%）、「以前は就労していたが、現在は働いていない」（9.0%）となっています。フルタイムで働いている人は39.0%、パートタイムで働いている人は47.2%となっており、働いている人は86.2%となっています。また、働いていない人は10.8%となっています。

前回調査より、「フルタイムで働いている」が6.2ポイント増加しています。

図 母親の就労状況



【と就労時間】

問16-1-(1) 【母親】 1週間の就労日数、1日の就労時間（残業時間を含む）を口にご記入ください。

【母親の就労日数】

働いている母親について、1週間の就労日数をみると、「5日」（67.5%）が最も多く、次いで「4日」（13.6%）、「6日」（7.8%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【母親の就労時間】

上記の母親について、1日の就労時間をみると、「8～9時間」（27.8%）が最も多く、次いで「5～6時間」（18.9%）、「6～7時間」（16.3%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 母親の就労日数

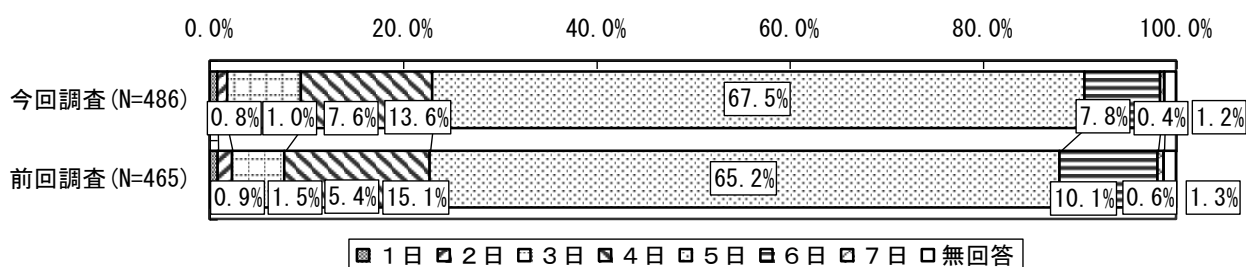
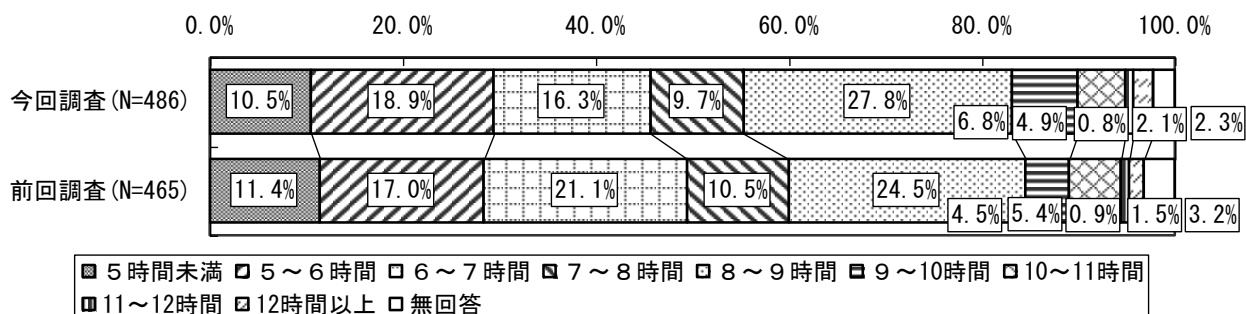


図 母親の就労時間



【母親の家を出る時刻と帰宅時刻】

問16-1-(2) 【母親】家を出る時刻と帰宅時刻を口にご記入ください。

【家を出る時刻】

働いている母親について、家を出る時刻をみると、「8時台（52.1%）」が最も多く、次いで「7時台」（20.6%）」、「9時台」（15.6%）」となっています。

前回調査より、「7時台」が7.3ポイント増加し、「9時台」が6.8ポイント減少しています。

【帰宅時刻】

上記の母親について、帰宅時刻をみると、「18時前（53.5%）」が最も多く、次いで「18時台」（25.5%）」、「19時台」（10.5%）」となっています。

前回調査より、「18時台」が5.3ポイント増加しています。

図 母親の家を出る時刻

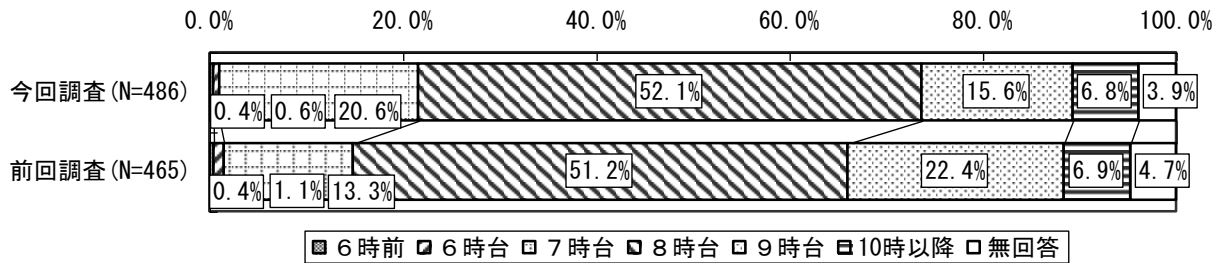
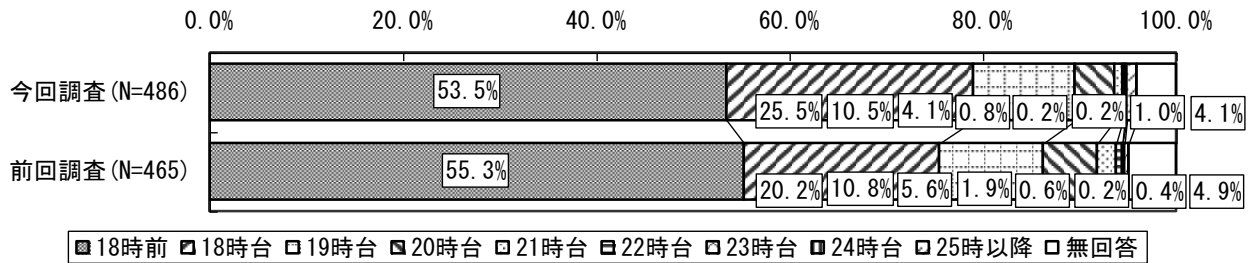


図 母親の帰宅時刻



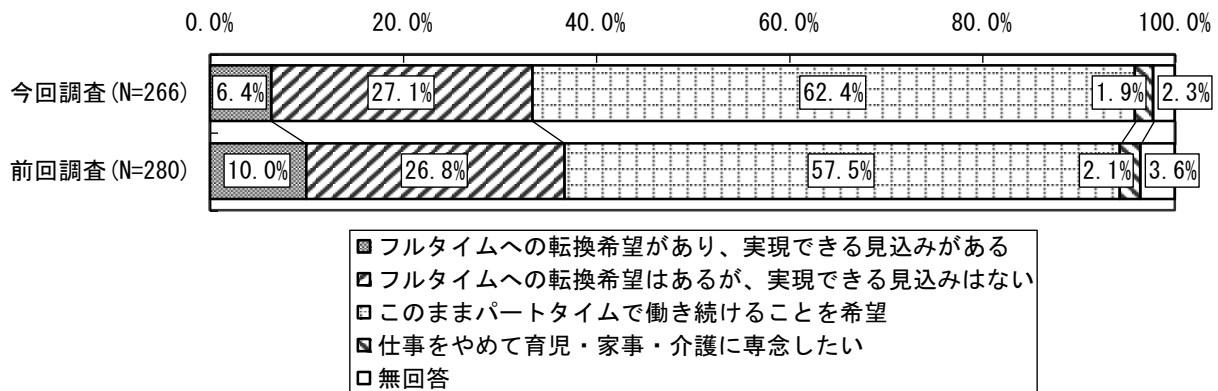
【母親のフルタイムへの転換希望】

問17 【母親】フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（○は1つ）

パートタイムで働いている母親について、フルタイムへの転換希望をみると、「このままパートタイムで働き続けることを希望」（62.4%）が最も多く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」（27.1%）、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」（6.4%）となっています。

前回調査より、「このままパートタイムで働き続けることを希望」が4.9ポイント増加しています。「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は3.6ポイント減少し、1割未満となっています。

図 母親のフルタイムへの転換希望



【母親の就労希望】

問18 働きたいという希望はありますか。(○は1つ) また、□に数字でご記入ください。

働いていない母親について、就労希望をみると、「育児・家事・介護などに専念したい（就労の予定はない）」(52.5%)が最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(24.6%)、「一番下の子どもが大きくなったら働きたい」(19.7%)となっています。

また、「一番下の子どもが大きくなったら働きたい」と回答した人(12件)について、就労を希望する時の子どもの年齢をみると、「12～13歳」が7件となっています。

前回調査より、無回答が大きく減少したため、全ての選択肢で割合が増加しています。無回答を除いて構成比を算出すると、「育児・家事・介護などに専念したい（就労の予定はない）」が9.8ポイント増加、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は7.9ポイント減少しています。

図 母親の就労希望

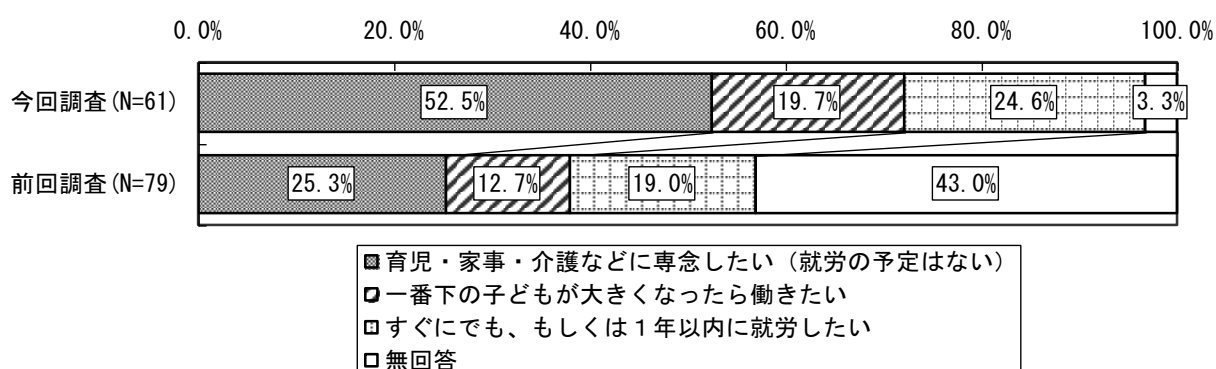
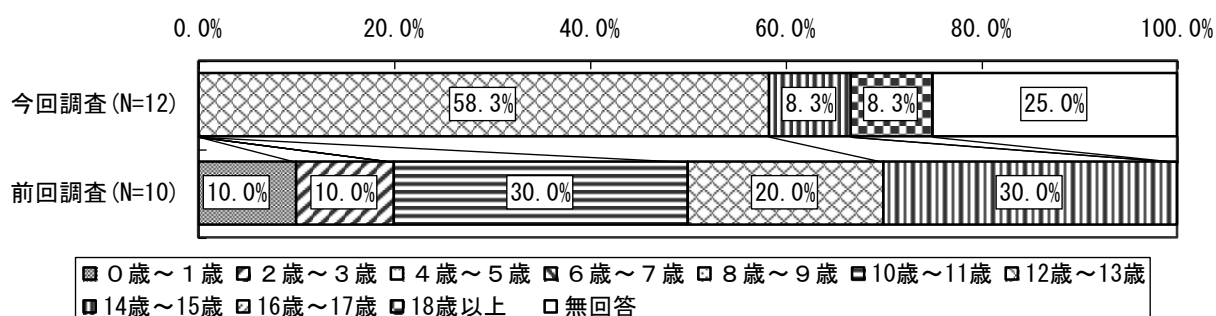


表 母親の就労希望

	今回調査		前回調査	
	回答数	構成比	回答数	構成比
育児・家事・介護などに専念したい（就労の予定はない）	32	54.2%	20	44.4%
一番下の子どもが大きくなったら働きたい	12	20.3%	10	22.2%
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	15	25.4%	15	33.3%
合計	59	100.0%	45	100.0%

図 母親の就労希望時期の子どもの年齢



【母親の希望の就労形態】

問18-1 【母親】希望する就労形態をお答えください。（〇は1つ）

【就労形態】

問 18 で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人（15 件）について、希望の就労形態をみると、「フルタイム」が3件、「パートタイム」が12件となっています。

【就労日数】

上記の人のうち、パートタイム希望者（12 件）の希望の就労日数をみると、「3日」、「5日」、「4日」の順に多くなっています。

【就労時間】

上記の人のうち、パートタイム希望者（12 件）の希望の就労時間をみると、「5時間」、「4時間」の順に多くなっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 母親の希望の就労形態

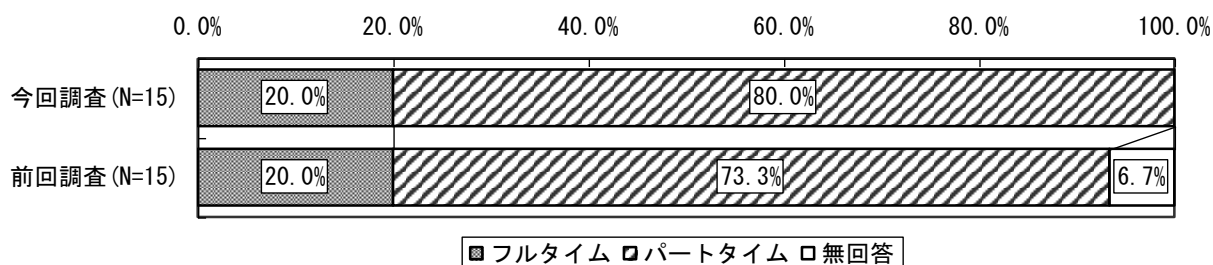


図 母親の希望の就労日数

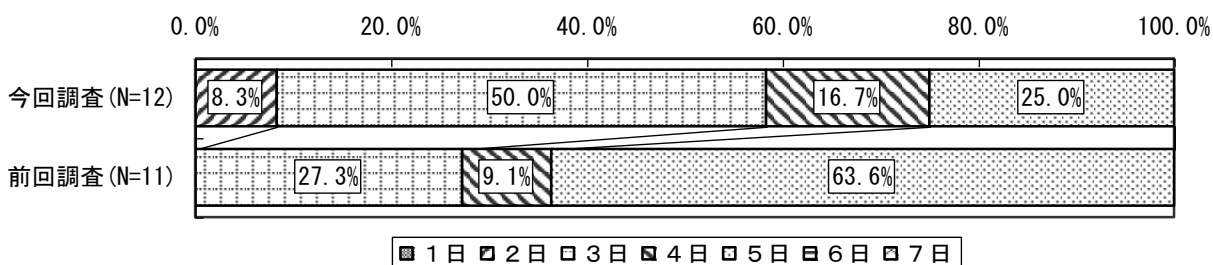
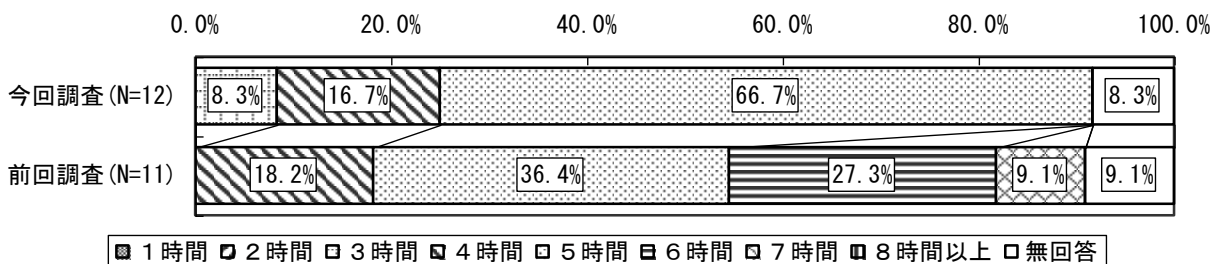


図 母親の希望の就労時間

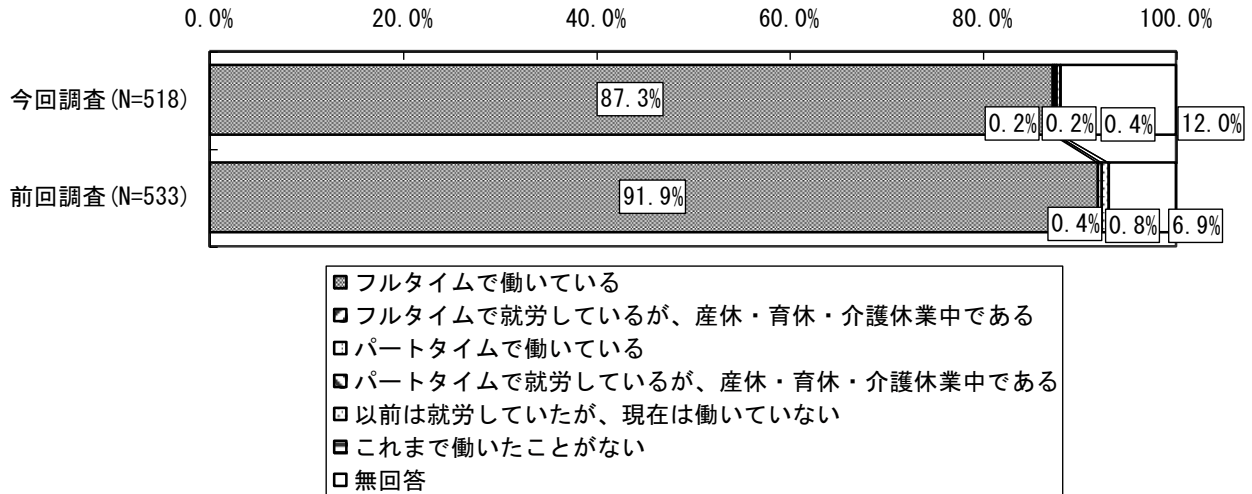


【父親の就労状況】

問19 お子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（〇は1つ）

父親の就労状況を見ると、「フルタイムで働いている」（87.3%）が最も多くなっています。フルタイムで働いている人とパートタイムで働いている人を合わせると、働いている人は87.7%となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の就労状況



【父親の就労日数と就労時間】

問19-1-(1) 【父親】 1週間の就労日数、1日の就労時間（残業時間を含む）を口にご記入ください。

【父親の就労日数】

働いている父親について、1週間の就労日数をみると、「5日」（63.9%）が最も多く、次いで「6日」（30.4%）となっています。

前回調査より、「5日」が5.4ポイント増加しています。

【父親の就労時間】

上記の父親について、1日の就労時間をみると、「8～9時間」（30.6%）が最も多く、次いで「10～11時間」（28.9%）、「12時間以上」（15.4%）となっています。

前回調査と比べて、10時間以上の割合は変化がみられませんが、「12時間以上」が6.1ポイント減少し、「10～11時間」が8.8ポイント増加しています。

図 父親の就労日数

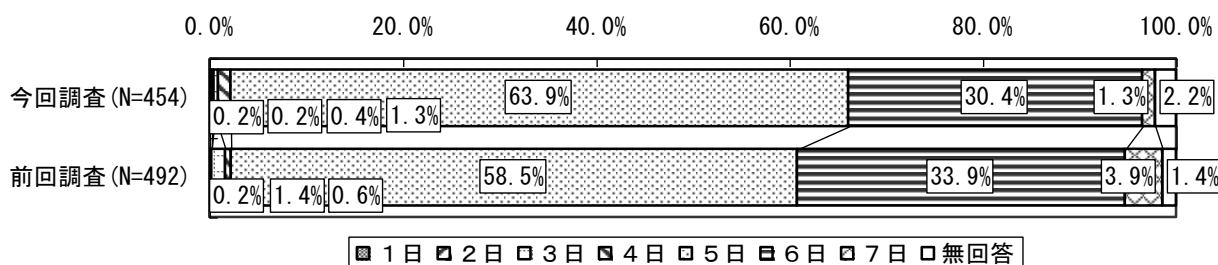
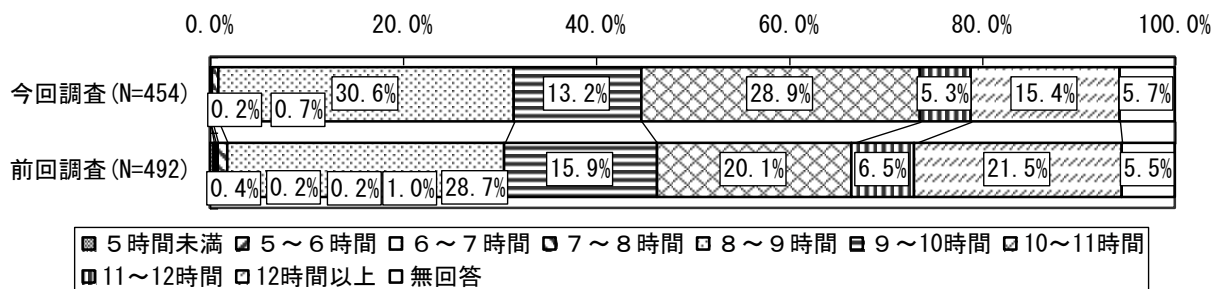


図 父親の就労時間



【父親の家を出る時刻と帰宅時刻】

問19-1-(2) 【父親】家を出る時刻と帰宅時刻を口にご記入ください。

【父親の家を出る時刻】

働いている父親について、家を出る時刻をみると、「7時台」(45.2%)が最も多く、次いで「8時台」(26.9%)、「6時台」(13.2%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

【父親の帰宅時刻】

上記の父親について、帰宅時刻をみると、「20時台」(24.2%)が最も多く、次いで「18時台」(21.1%)、「19時台」(20.0%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 父親の家を出る時刻

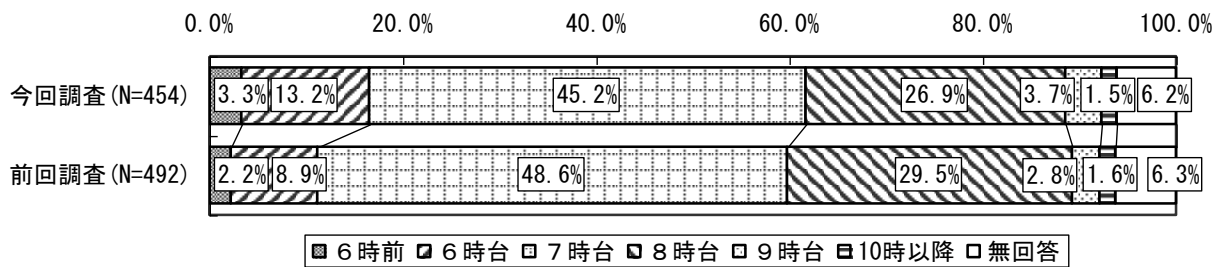
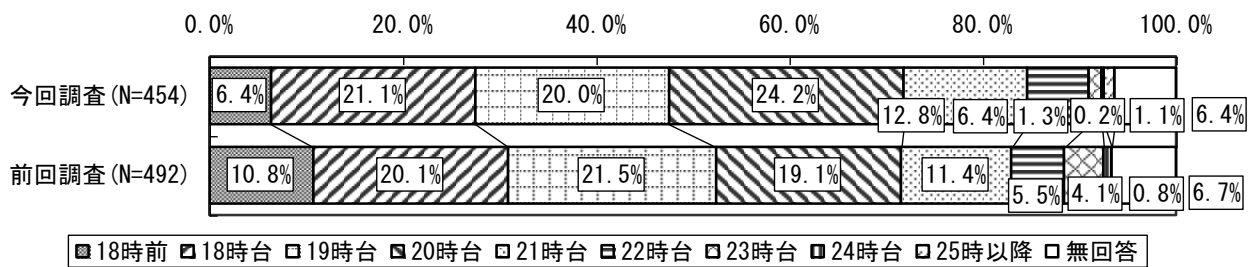


図 父親の帰宅時刻



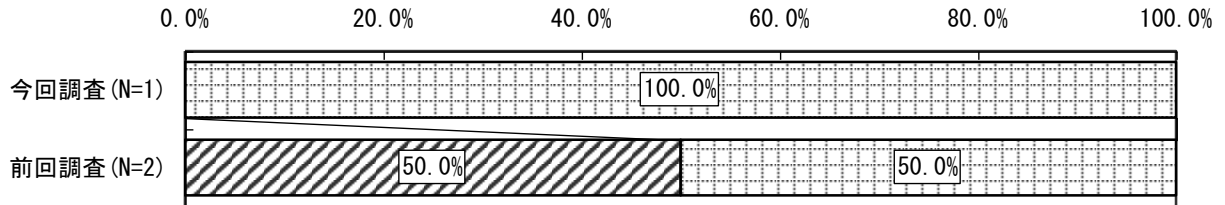
【父親のフルタイムへの転換希望】

問20 フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（○は1つ）

パートタイムで働いている父親（1件）について、フルタイムへの転換希望をみると、「このままパートタイムで働き続けることを希望」となっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 父親のフルタイムへの転換希望



- フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- ▣ フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- このままパートタイムで働き続けることを希望
- 仕事をやめて育児・家事・介護に専念したい

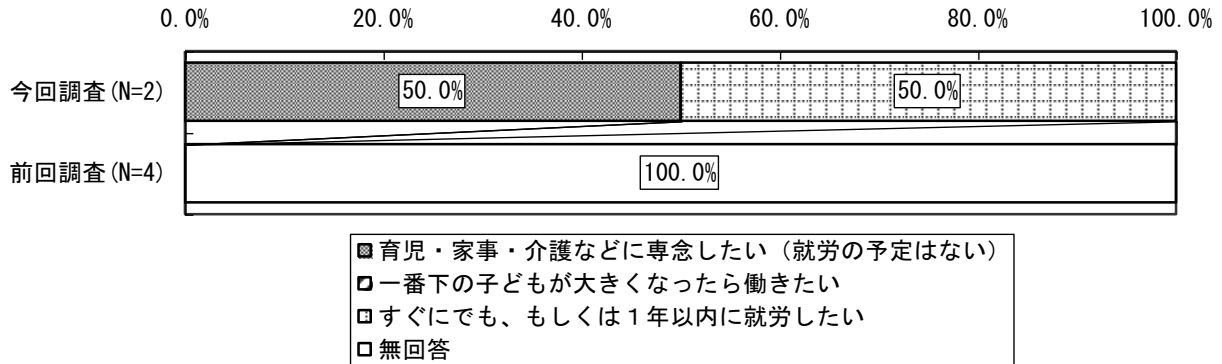
【父親の就労希望】

問21働きたいという希望はありますか。(○は1つ) また、□に数字でご記入ください。

働いていない父親(2件)について、就労希望をみると、「育児・家事・介護などに専念したい(就労の予定はない)」と「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」がそれぞれ1件ずつとなっています。

※回答数が少ないため、前回調査との比較コメントは省略します。

図 父親の就労希望



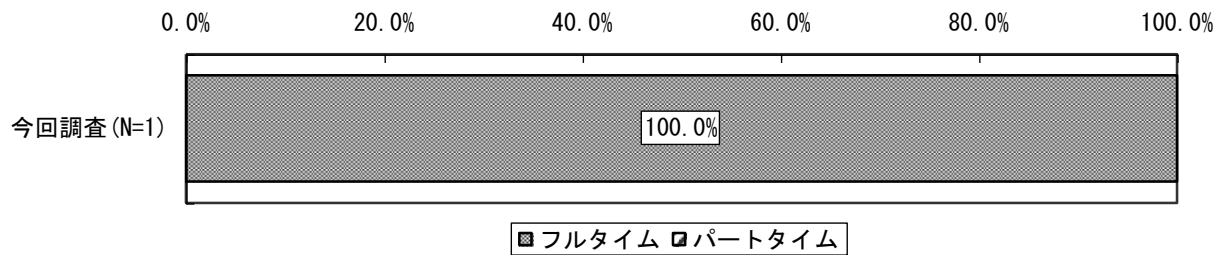
【父親の希望の就労形態】

問21-1 希望する就労形態をお答えください。(〇は1つ)

問 21 で「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人(1件)について、希望の就労形態をみると、「フルタイム」となっています。

※前回調査では、該当者はありません。

図 父親の希望の就労形態



⑤学童保育の利用状況について

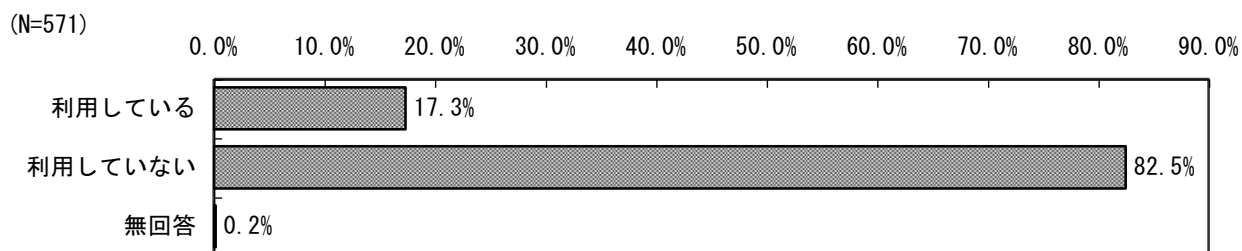
【学童保育の利用状況】

問22 宛名のお子さんは、現在、学童保育を利用していますか。(○は1つ)

子どもの学童保育の利用状況をみると、「利用している」が17.3%、「利用していない」が82.5%となっています。

※前回調査では、「学童と放課後子ども教室」の利用状況を尋ねており、設問が異なるため前回調査との比較はありません。

図 学童保育の利用状況



【学童保育を利用していない理由】

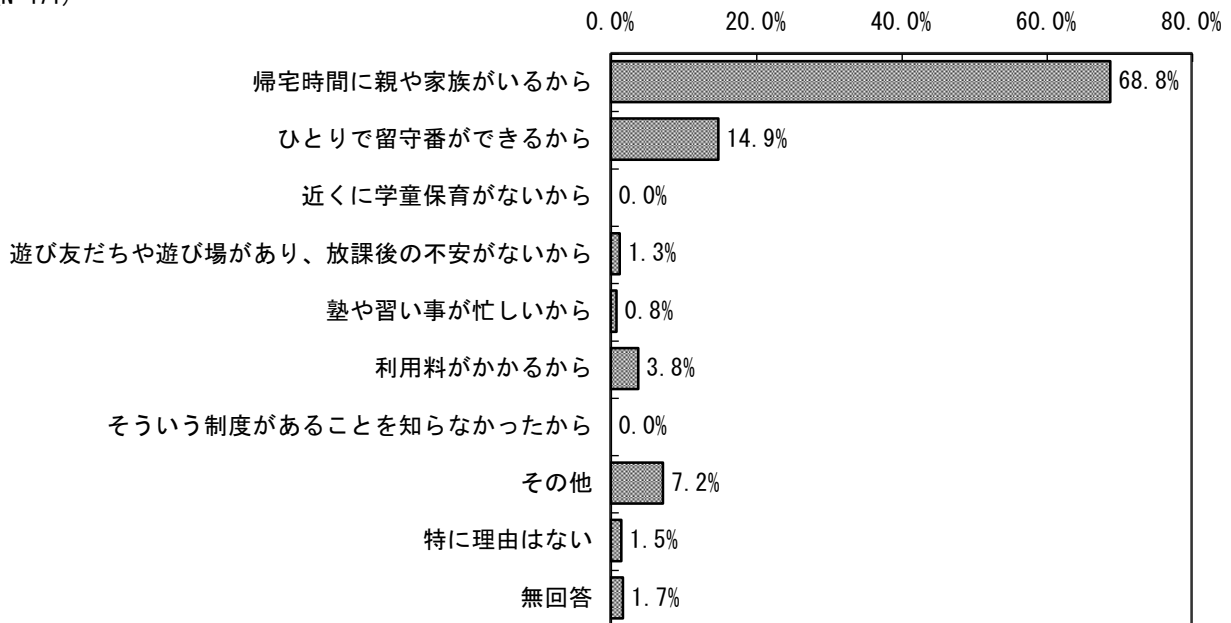
問22-1 学童保育を利用していない理由は何ですか。(○は1つ)

学童保育を利用していない理由をみると、「帰宅時間に親や家族がいるから」(68.8%)が最も多く、次いで「ひとりで留守番ができるから」(14.9%)となっています。

※問22の理由により、前回調査との比較はありません。

図 学童保育を利用していない理由

(N=471)



⑥学童保育の利用希望について

【学童保育の利用希望】

問23 現在の利用状況の有無に関わらず、宛名のお子さんについて、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期の休み（夏休みなど）それぞれに学童保育の利用希望はありますか。また、利用したい日数、時間帯を口にご記入ください。

※それぞれ「1」または「2」に○をした方は、利用したい日数、時間帯をお答えください。
（口）に数字で記入）

【平日の学童保育の利用希望】

平日の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」（67.3%）が最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（13.7%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（8.6%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

平日の学童保育の利用希望がある人について、1か月の希望利用日数をみると、「20日以上」（61.4%）が最も多く、次いで「10～19日」（15.0%）となっています。また、希望利用時間をみると、開始時間の希望は「15時台」（40.2%）が最も多く、次いで「15時より前」（33.1%）となっており、終了時間の希望は「18時台」（52.0%）が最も多く、次いで「19時台」（19.7%）、「17時台」（17.3%）となっています。

図 平日の学童保育の利用希望

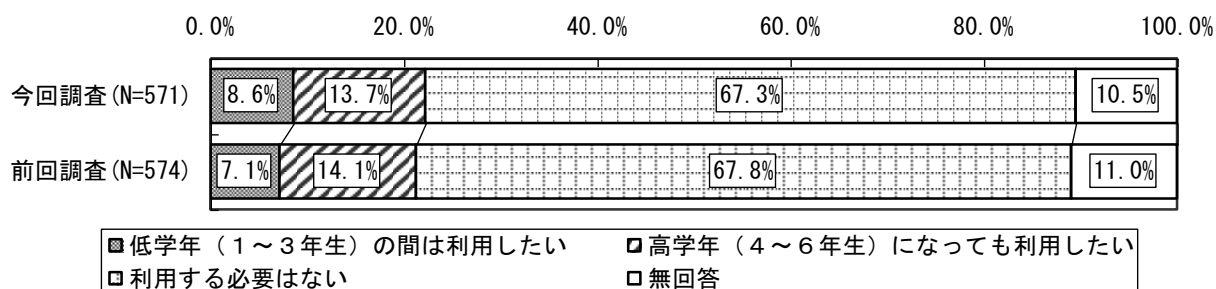


図 平日の学童保育の利用希望日数（1月あたり）

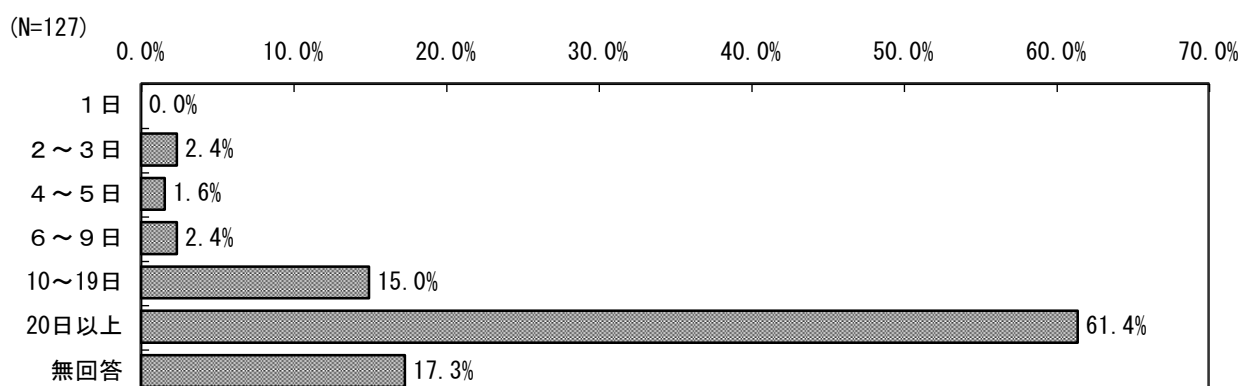


図 図 平日の学童保育の利用希望開始時間

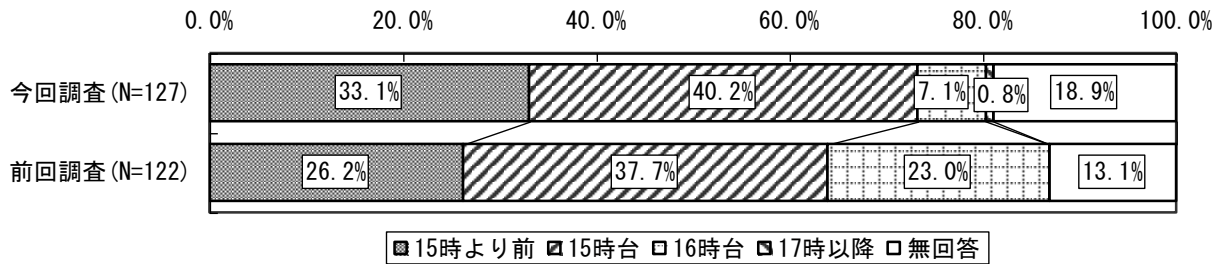
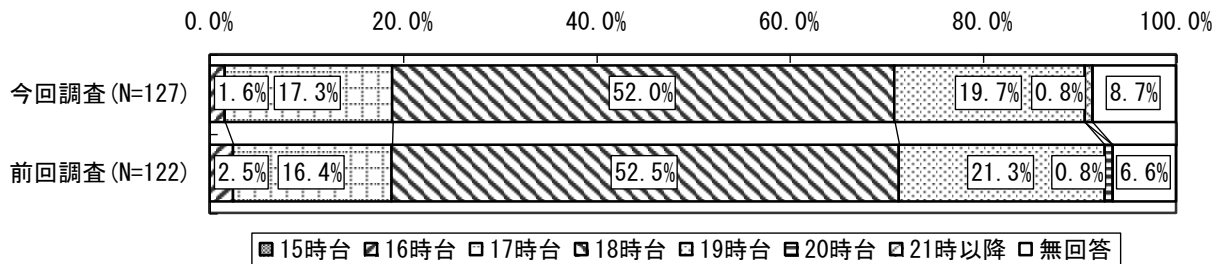


図 図 平日の学童保育の利用希望終了時間



【土曜日の学童保育の利用希望】

土曜日の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」（80.6%）が最も多く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」（5.3%）、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」（2.5%）となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

土曜日の学童保育の利用希望がある人について、1か月の希望利用日数をみると、「4日」（38.6%）が最も多く、次いで「2日」（27.3%）、「3日」（9.1%）となっています。また、希望利用時間をみると、開始時間の希望は「8時台」（45.5%）が最も多く、次いで「7時台」（29.5%）、「9時台」（11.4%）となっており、終了時間の希望は「18時台」（40.9%）が最も多く、次いで「19時台」（15.9%）、「16時台」及び「17時台」（共に11.4%）となっています。

図 土曜日の学童保育の利用希望

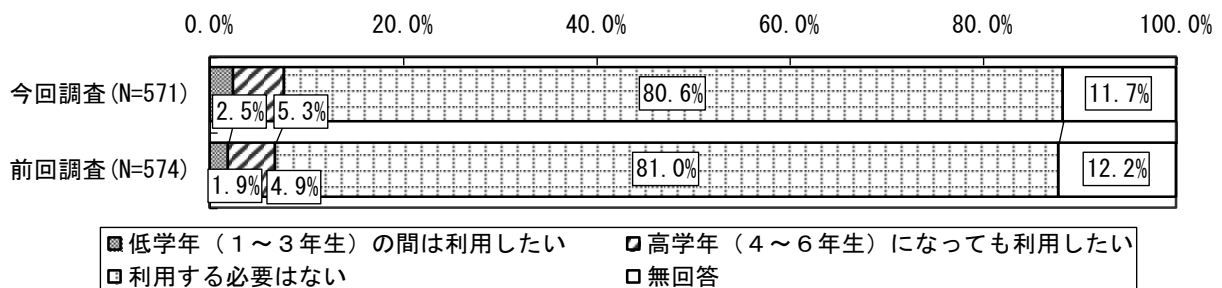


図 土曜日の学童保育の利用希望日数

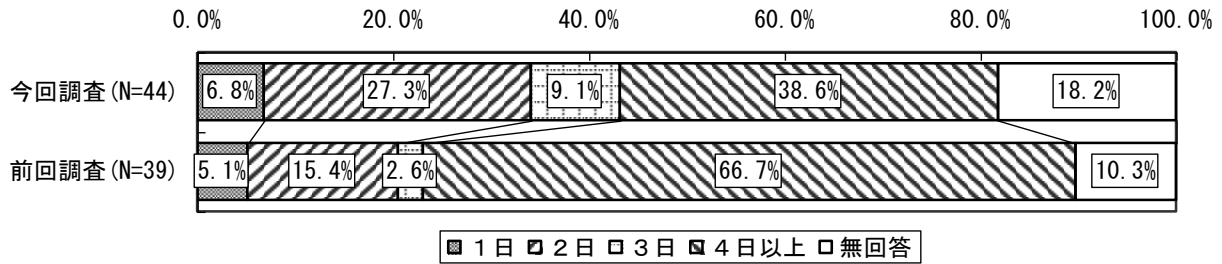


図 土曜日の学童保育の希望利用開始時間

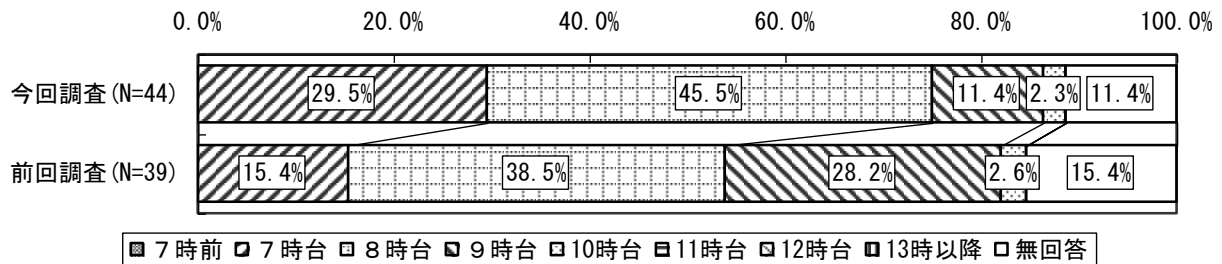
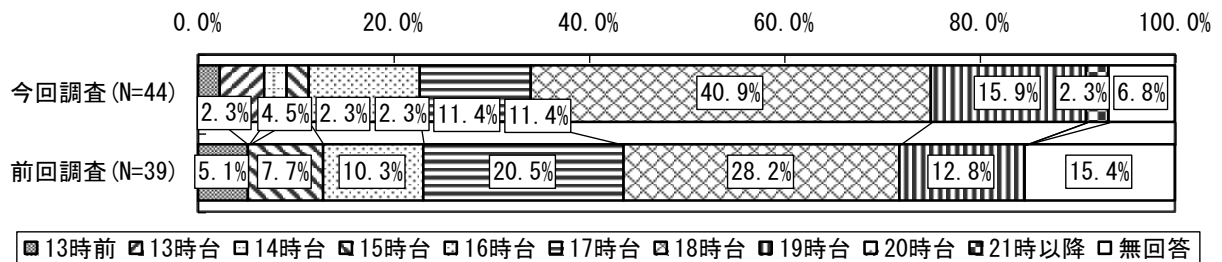


図 土曜日の学童保育の希望利用終了時間



【日曜日・祝日の学童保育の利用希望】

日曜日・祝日の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(84.6%)が最も多く、次いで「高学年(4～6年生)になっても利用したい」(2.5%)、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」(1.1%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

日曜日・祝日の学童保育の利用希望がある人(20件)について、1か月の希望利用日数をみると、「2日」、「4日以上」、「1日」の順に多くなっています。また、希望利用時間をみると、開始時間の希望は「7時台」、「8時台」の順に多く、終了時間の希望は「18時台」、「19時台」の順に多くなっています。

図 日曜日・祝日の学童保育の利用希望

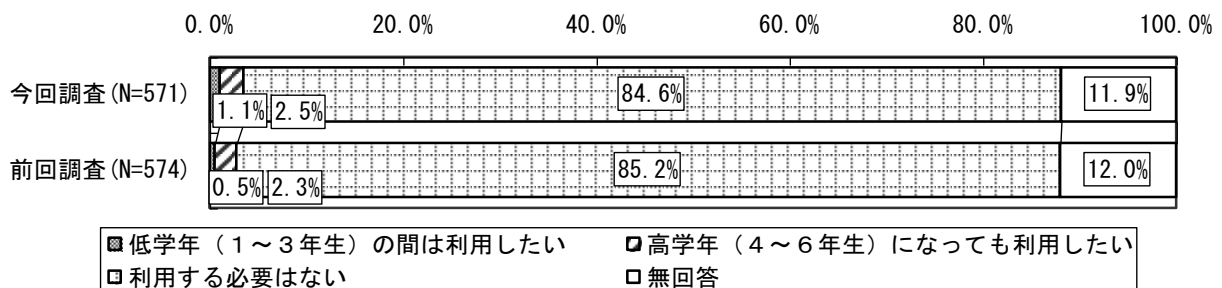


図 日曜日・祝日の学童保育の利用希望日数

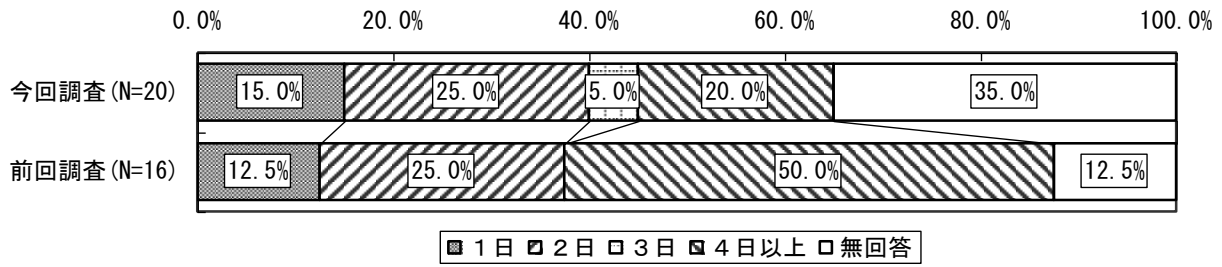


図 日曜日・祝日の学童保育の希望利用開始時間

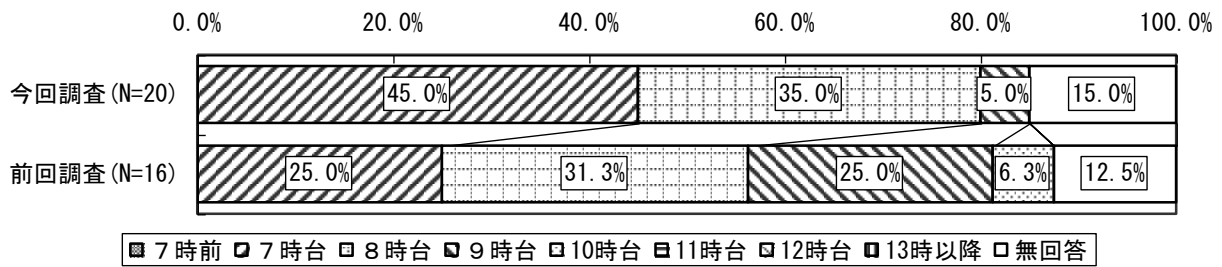
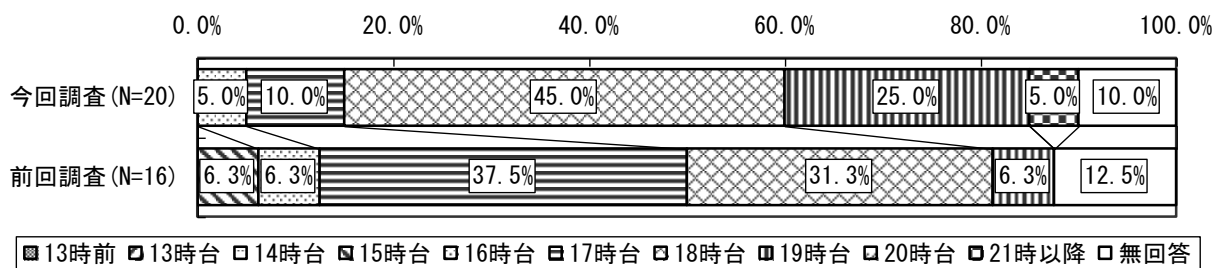


図 日曜日・祝日の学童保育の希望利用終了時間



【長期休暇中の学童保育の利用希望】

長期休暇中の学童保育の利用希望をみると、「利用する必要はない」(56.6%)が最も多く、次いで「高学年(4~6年生)になっても利用したい」(21.7%)、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」(10.9%)となっています。前回調査より、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」が6.4ポイント増加しています。

長期休暇中の学童保育の利用希望がある人について、1週間の希望利用日数をみると、「5日」(64.5%)が最も多く、次いで「3日」及び「2日」(共に8.6%)となっています。また、希望利用時間をみると、開始時間の希望は「8時台」(57.5%)が最も多く、次いで「7時台」(17.2%)、「9時台」(16.1%)となっており、終了時間の希望は「18時台」(38.2%)、「17時台」(20.4%)、「19時台」(13.4%)となっています。

図 長期休暇中の学童保育の利用希望

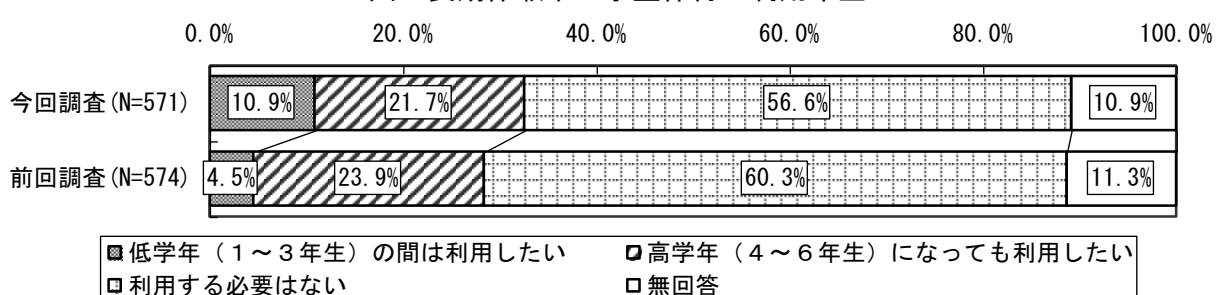


図 長期休暇中の学童保育の希望利用日数

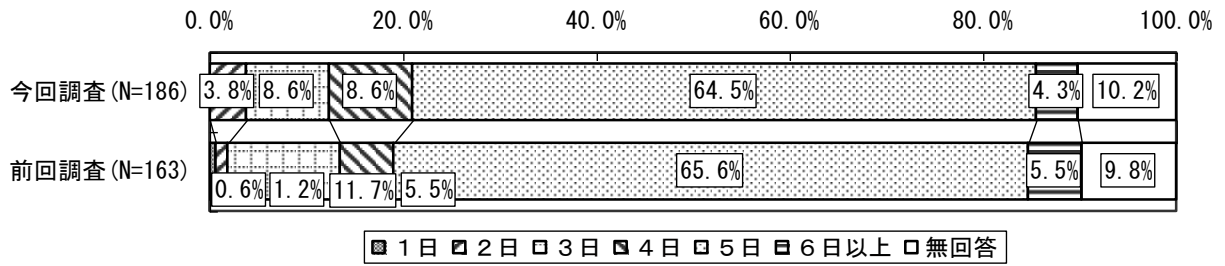


図 長期休暇中の学童保育の希望利用開始時間

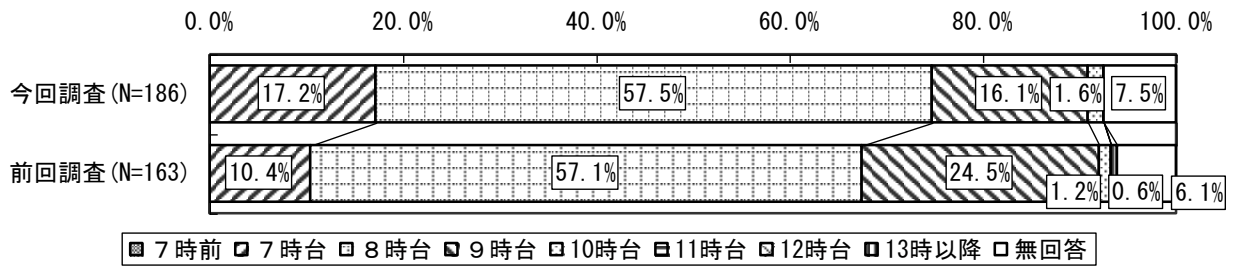
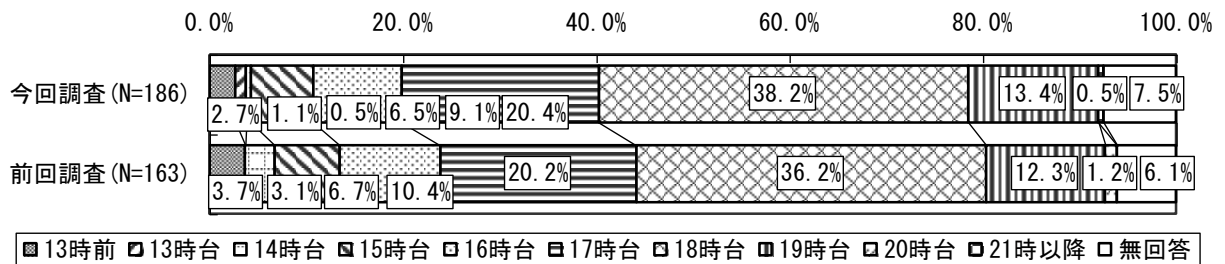


図 長期休暇中の学童保育の希望利用終了時間



【放課後の過ごし方の希望】

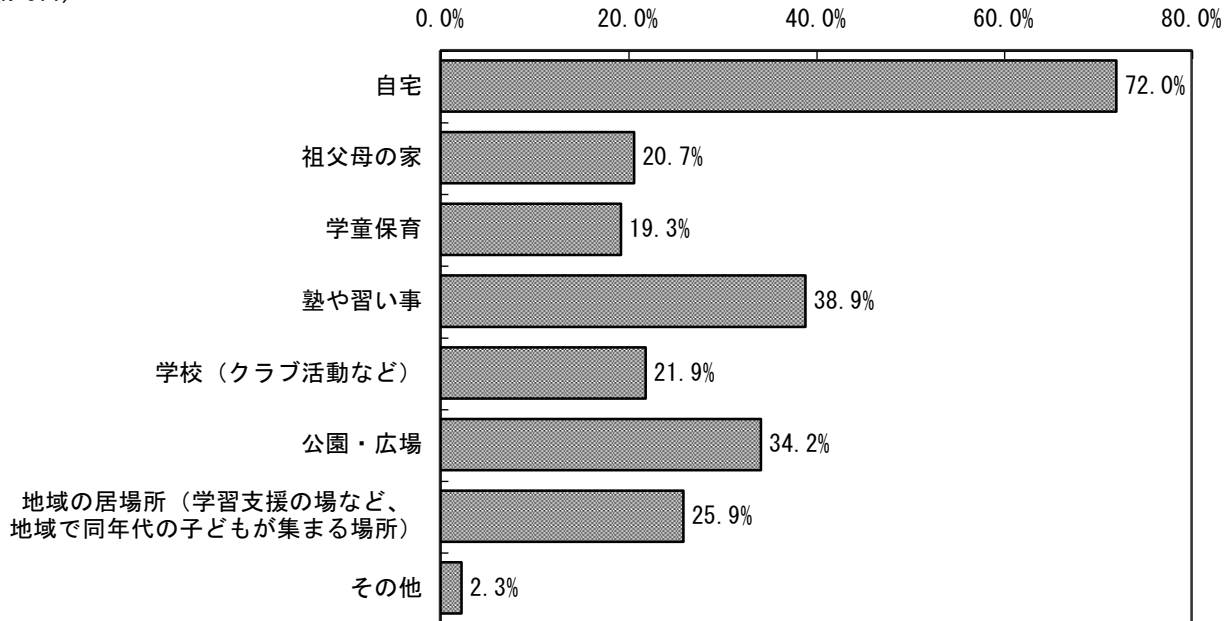
問23-1 お子さんについて、放課後の時間をどのような場所や環境で過ごさせたいと思いますか。(〇はいくつでも)

子どもの放課後の過ごし方の希望をみると、「自宅」(72.0%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(38.9%)、「公園・広場」(34.2%)となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 放課後の過ごし方の希望

(N=571)



⑦障害児通所支援事業の利用状況について

【放課後等デイサービスの利用日数】

問24 放課後等デイサービスの利用日数はどれくらいですか。また、土曜日の利用はありますか。
希望としてはどのくらい利用したいですか。

【現在の放課後等デイサービスの利用状況】

現在、放課後等デイサービスを利用している人（12件）について、平日の利用日数をみると、「3日」、「2日」、「4日」及び「5日」の順に多くなっています。また、土曜日の利用が「ある」と回答した人は10件となっています。

【希望の放課後等デイサービスの利用状況】

現在、放課後等デイサービスを利用している人（12件）について、平日の希望利用日数をみると、「3日」、「5日」、「6日」がそれぞれ3件ずつとなっています。また、土曜日の利用希望が「ある」と回答した人は9件となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 平日の放課後等デイサービスの利用日数

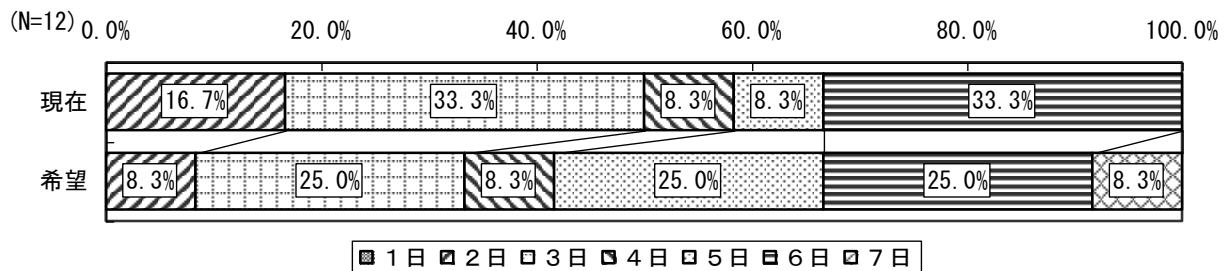
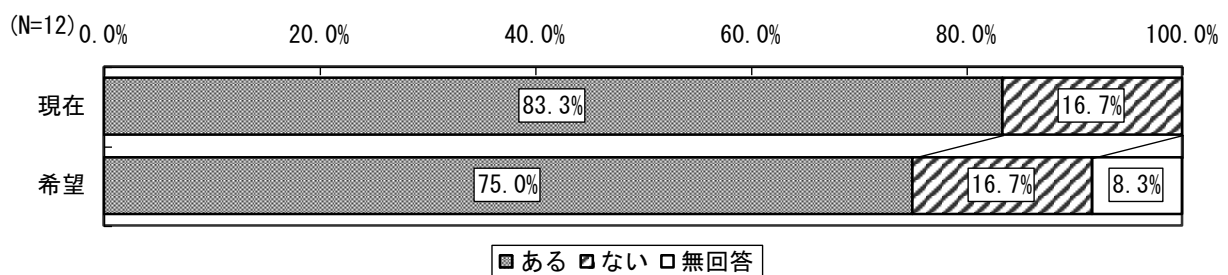


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用



【放課後等デイサービスの利用時間】

問25 放課後等デイサービスは、何時から何時まで利用していますか。また、希望としては何時から何時まで利用したいですか。なお、利用時間は送迎サービスの時間を含めてお答えください。

【現在の放課後等デイサービスの利用時間】

現在、放課後等デイサービスを利用している人（12件）について、平日の利用開始時間は「15時台」が10件、「16時台」が1件となっており、利用終了時間は「18時台」が8件、「17時台」が3件となっています。また、土曜日の利用開始時間は「9時台」、「8時台」の順に多く、利用終了時間は「16時台」、「17時台」、「18時台」の順に多くなっています。

【希望の放課後等デイサービスの利用時間】

現在、放課後等デイサービスを利用している人（12件）について、平日の希望の利用開始時間をみると、「15時台」が10件となっており、利用終了時間「18時台」、「17時台」の順に多くなっています。また、土曜日の希望の利用開始時間は「8時台」、「9時台」、の順に多く、利用終了時間は「16時台」、「17時台」、「18時台」が3件ずつとなっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 平日の放課後等デイサービスの利用開始時間

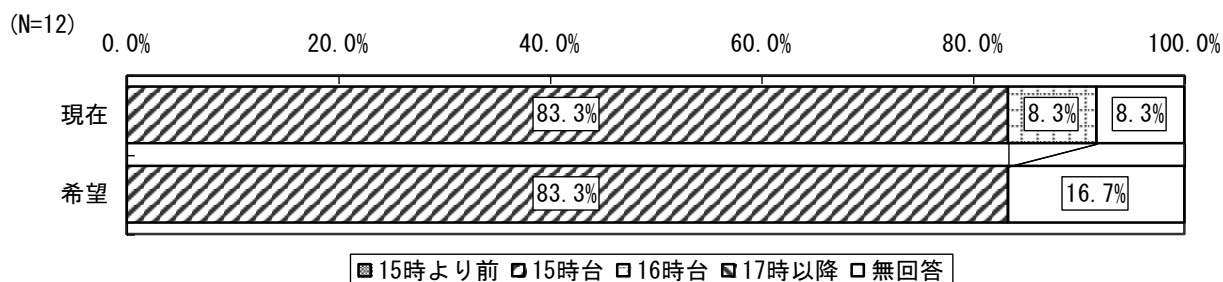


図 平日の放課後等デイサービスの利用終了時間

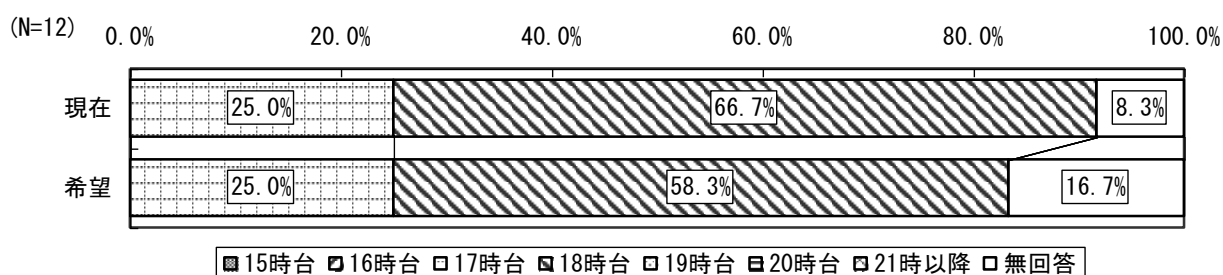


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用開始時間

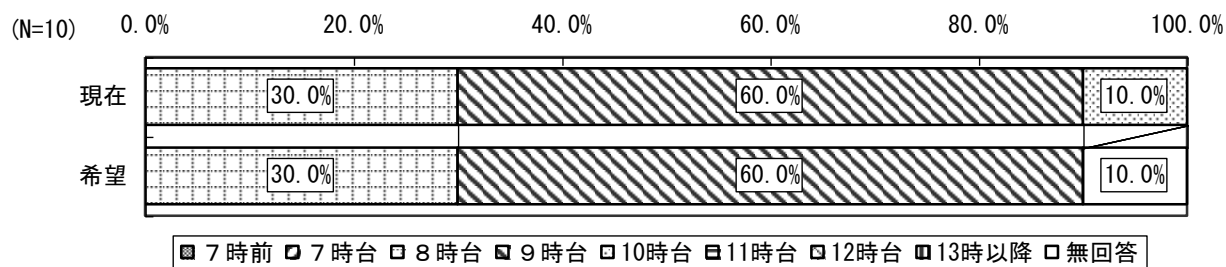
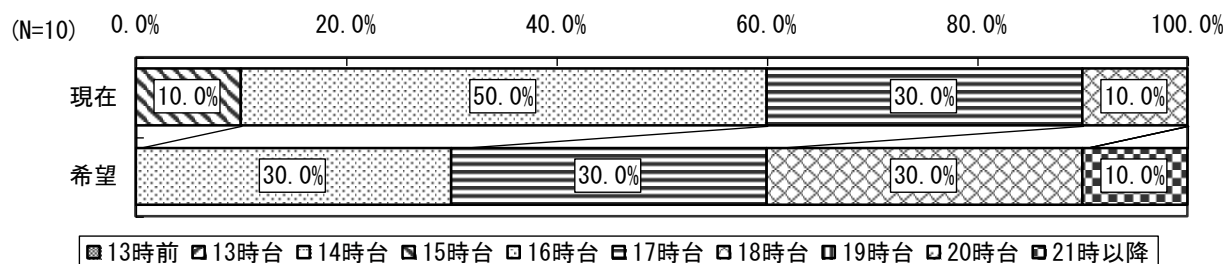


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用終了時間



【放課後等デイサービスを利用している理由】

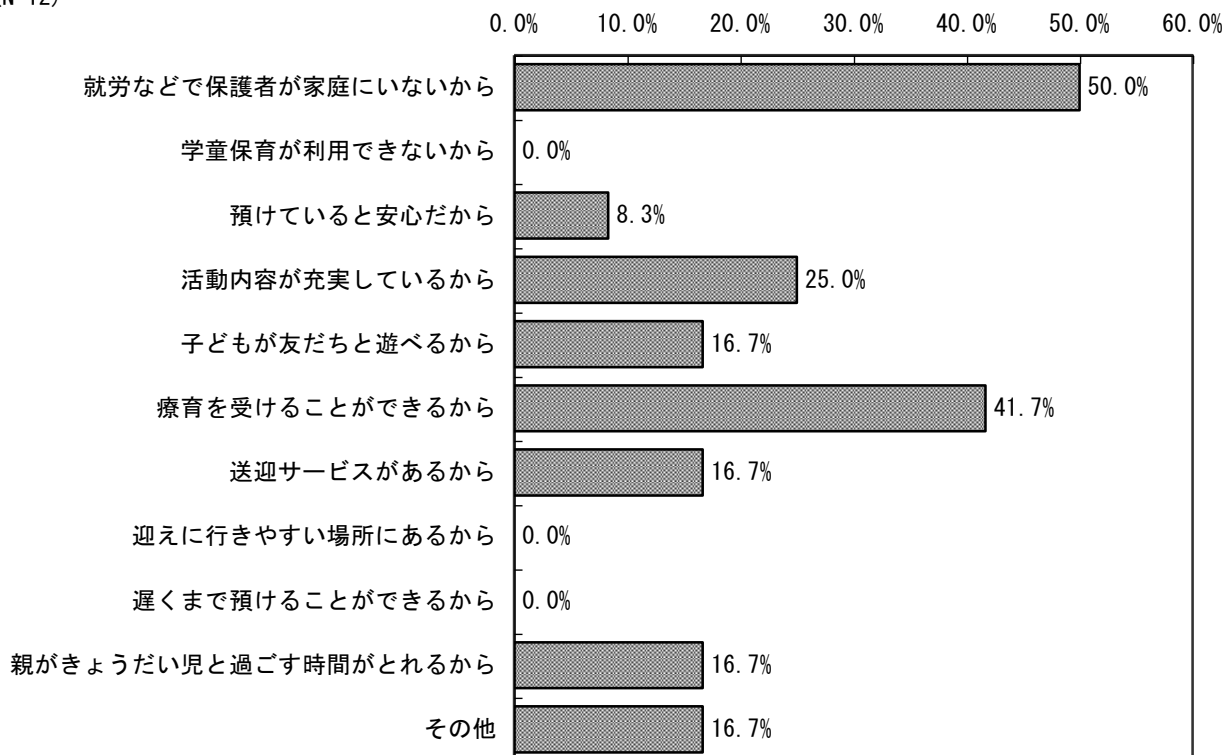
問26 放課後等デイサービスを利用している理由は何ですか。(〇は2つまで)

放課後等デイサービスを利用している人(12件)について、その理由をみると、「就労などで保護者が家庭にいないから」、「療育を受けることができるから」、「活動内容が充実しているから」(25.0%)の順に多くなっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 放課後等デイサービスを利用している理由

(N=12)



【放課後等デイサービスの利用希望】

問27 現在、放課後等デイサービス事業を利用されていない方に、ご利用希望を伺います。週あたりどのくらい利用したいですか。また、何時まで利用したいですか。

【放課後等デイサービスの利用希望】

現在、放課後等デイサービスを利用していない人の利用希望をみると、「放課後等デイサービス事業の利用希望がある」が4.0%、「放課後等デイサービス事業の利用希望がない」が96.0%となっています。

【放課後等デイサービスの利用頻度】

放課後等デイサービスの利用希望がある人（14件）について、平日の1週間の希望利用日数をみると、「2日」、「5日」の順に多くなっています。また、土曜日の利用希望が「ある」と回答した人は7件となっています。

平日の希望の利用時間をみると、利用開始時間は「13時以降」が7件となっており、利用終了時間は「18時台」が6件となっています。また、土曜日の利用希望がある人（7件）について、希望の利用時間をみると、利用開始時間は「9時台」、「10時台」の順に多く、利用終了時間は「18時台」が4件となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 放課後等デイサービスの利用希望

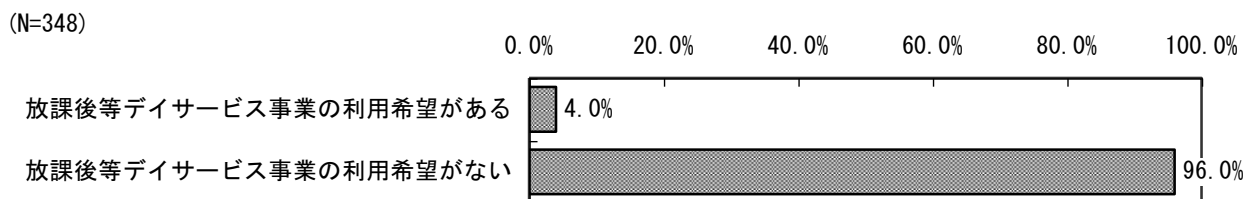


図 放課後等デイサービスの利用希望日数（1週あたり）

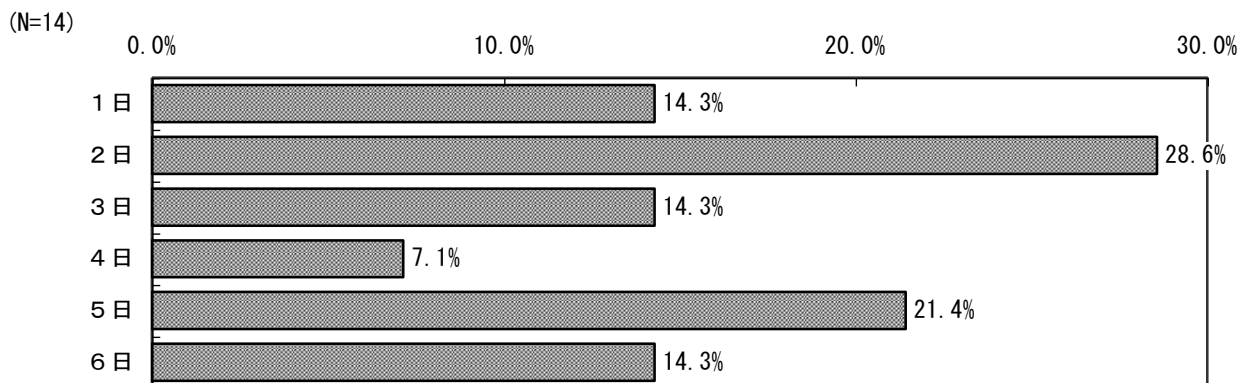


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用希望

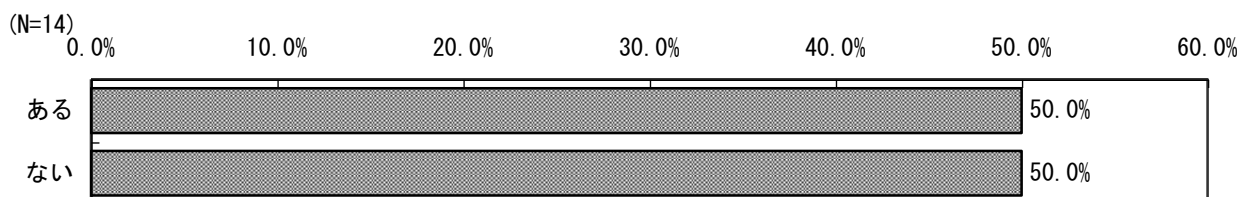


図 平日の放課後等デイサービスの利用開始時間

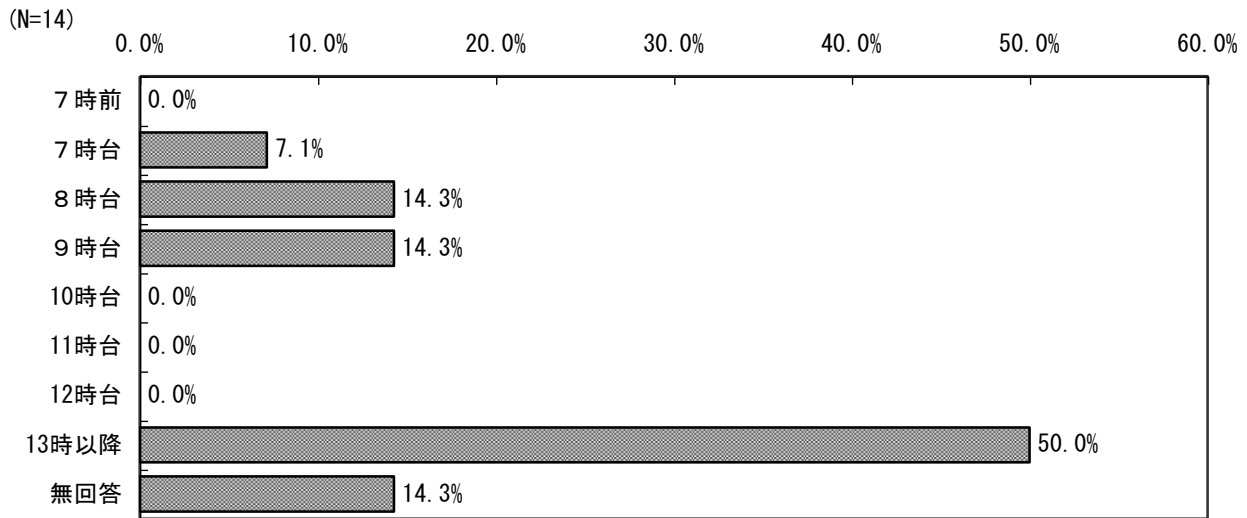


図 平日の放課後等デイサービスの利用終了時間

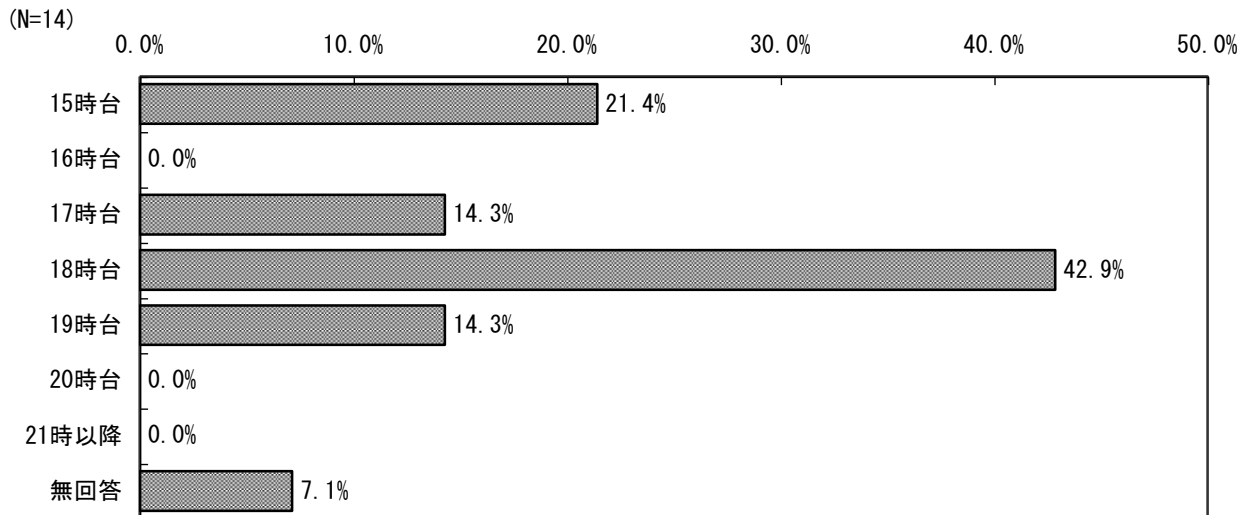


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用開始時間

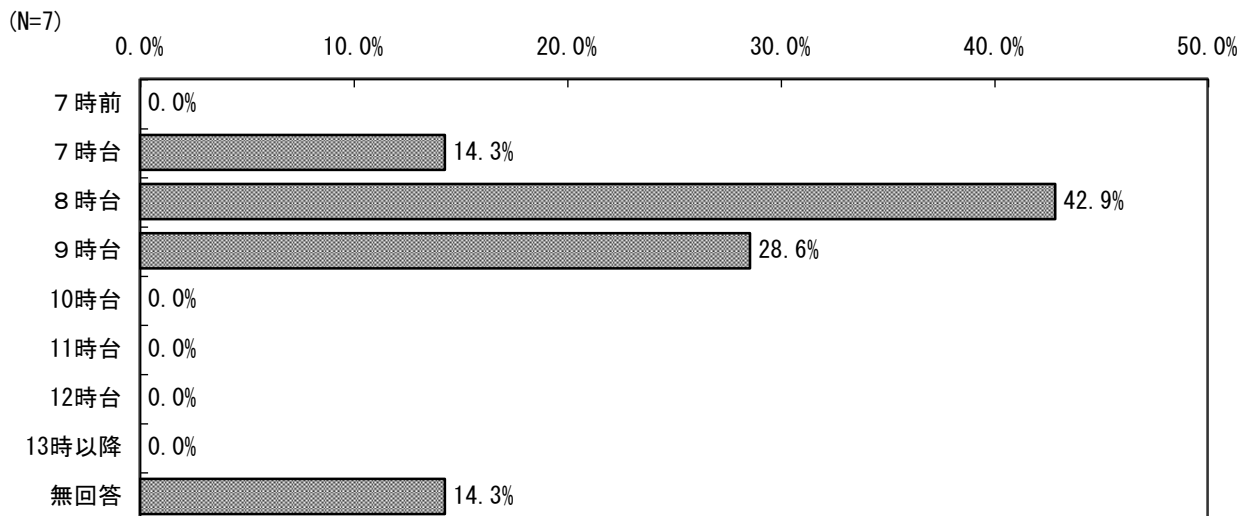
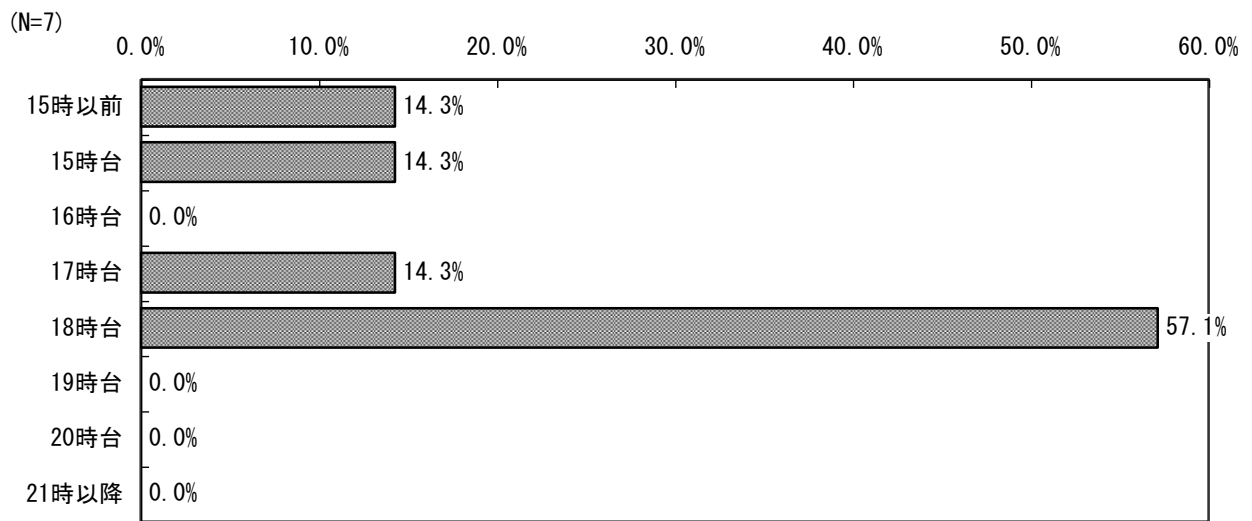


図 土曜日の放課後等デイサービスの利用終了時間



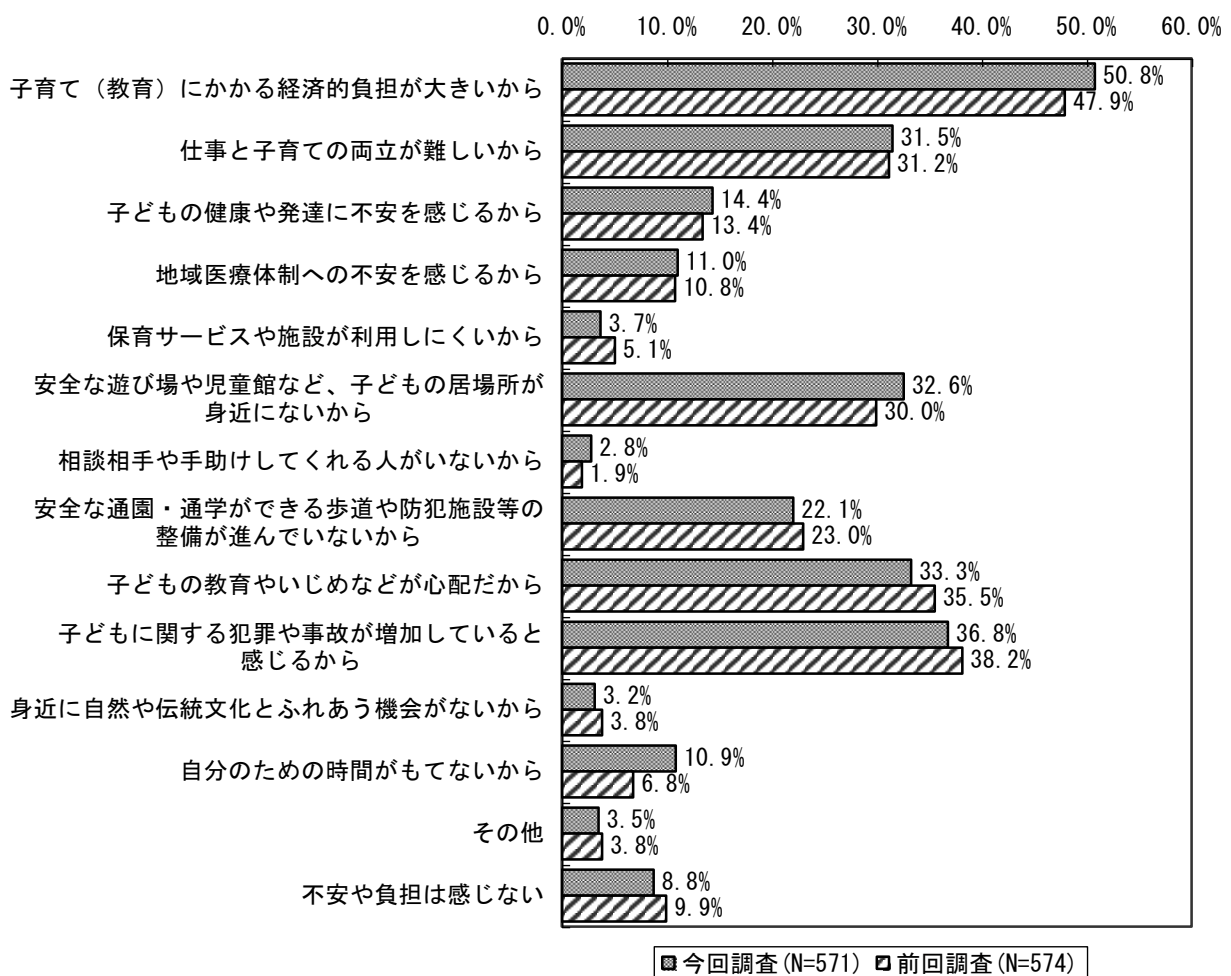
⑧加西市の子育て支援について

【子育てについて感じる不安や負担】

問28 あなたは、子育てについて不安や負担を感じますか。(〇はいくつでも)

子育てについて感じる不安や負担をみると、「子育て(教育)にかかる経済的負担が大きいから」(50.8%)が最も多く、次いで「子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じるから」(36.8%)、「子どもの教育やいじめなどが心配だから」(33.3%)となっており、前回調査と概ね同様の傾向が表れています。

図 子育てについて感じる不安や負担



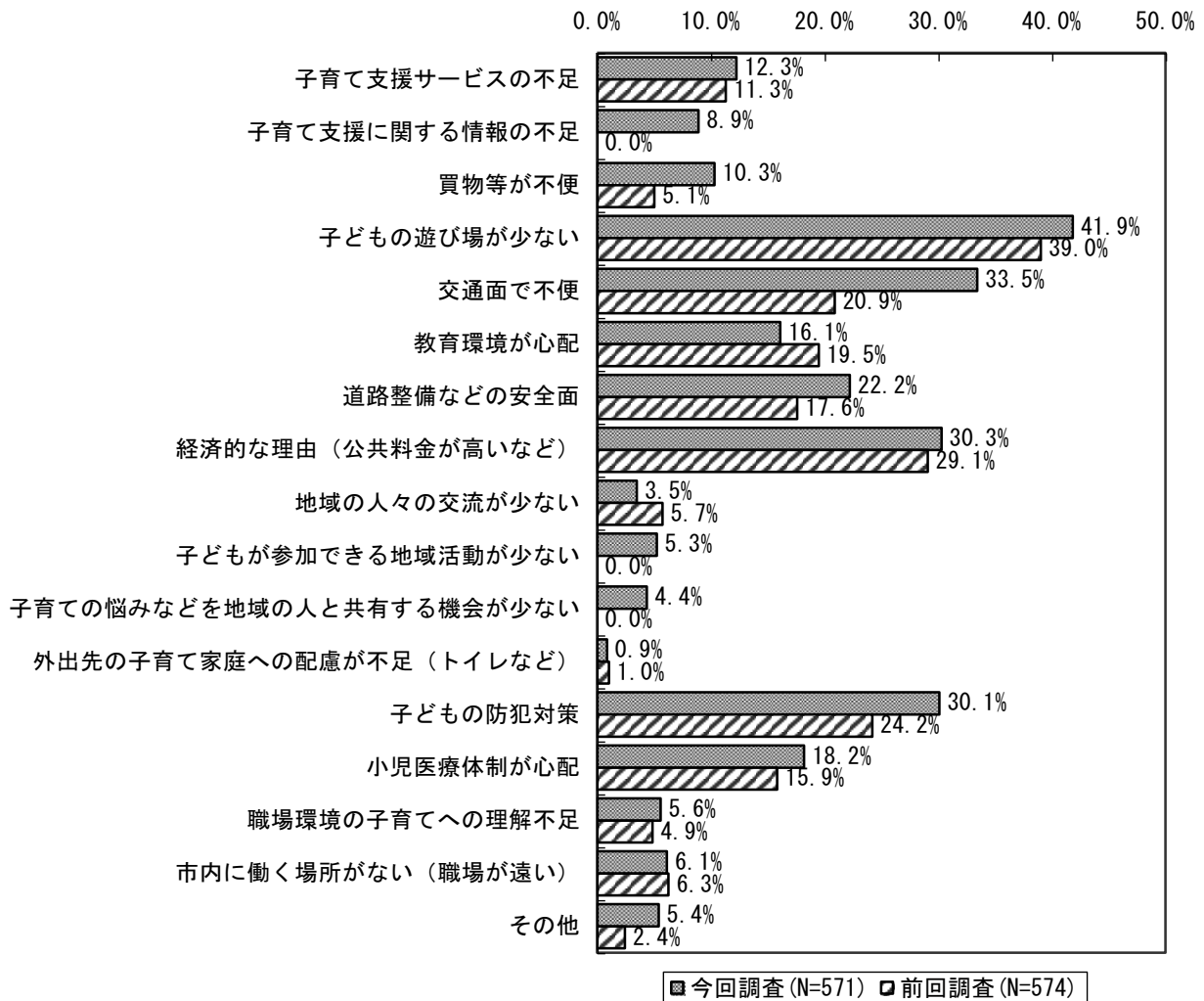
【子育てをする上で不便に思うこと】

問29 子育てをする上で不便に思うことは何ですか。（〇は3つまで）

子育てをする上で不便に思うことをみると、「子どもの遊び場が少ない」（41.9%）が最も多く、次いで「交通面で不便」（33.5%）、「経済的な理由（公共料金が高いなど）」（30.3%）となっています。

前回調査より、「交通面で不便」は12.6ポイント、「子どもの防犯対策」は5.9ポイント増加しています。

図 子育てをする上で不便に思うこと



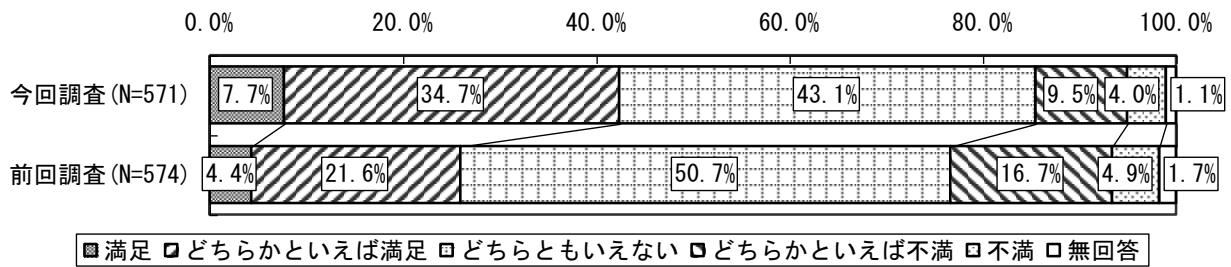
【加西市での子育ての満足度】

問30 加西市での子育てに満足していますか。(○は1つ)

加西市での子育ての満足度をみると、「どちらともいえない」(43.1%)が最も多く、次いで「どちらかといえば満足」(34.7%)、「どちらかといえば不満」(9.5%)となっています。「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は(以下、加西市での子育てに満足している人)、42.4%となっています。

前回調査より、加西市での子育てに満足している人が16.4ポイント増加しています。

図 加西市での子育ての満足度



【加西市での今後の子育ての意向】

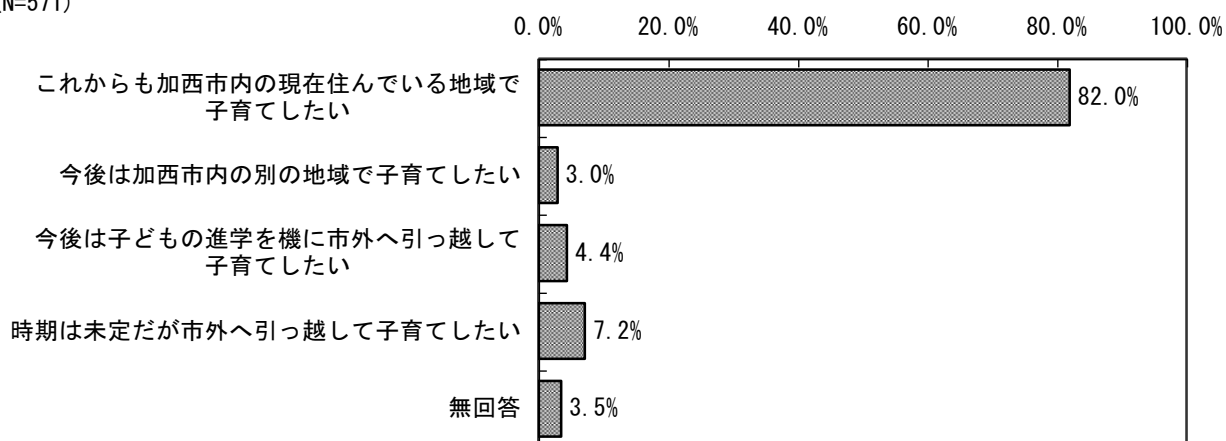
問31 加西市での今後の子育ての意向をお聞かせください。(〇は1つ)

加西市での今後の子育ての意向をみると、「これからも加西市内の現在住んでいる地域で子育てしたい」(82.0%)が最も多く、次いで「時期は未定だが市外へ引っ越して子育てしたい」(7.2%)、「今後は子どもの進学を機に市外へ引っ越して子育てしたい」(4.4%)となっています。市外での子育ての意向がある人は11.6%となっています。

※新規設問のため、前回調査との比較コメントはありません。

図 加西市での今後の子育ての意向

(N=571)



☆集計中【子育ての環境や支援に関してのご意見】

問32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。